（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業

建築主体工事

実施設計図

2022年3月

（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業

建築主体工事

実施設計図

表紙共 77 枚

L a S
Laboratory of Architectural Science
有限会社 建築科学研究所 一級建築士事務所

	NO.	図面名称	縮尺(A1)		NO.	図面名称	縮尺(A1)
A:建築	00	図面リスト		S:構造	01	構造特記仕様書（1）	
	01	工事区分表			02	構造特記仕様書（2）	
	02	特記仕様書（共通事項）			03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	
	03	特記仕様書（その1）			04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	
	04	特記仕様書（その2）			05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（3）	
	05	特記仕様書（その3）			06	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（4）	
	06	付近見取図・敷地求積図・平均地盤算定図	1/5000 1/150		07	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（5）	
	07	建物面積求積図	1/100		08	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（6）	
	08	仕上表	-		09	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（7）	
	09	配置図	1/150		10	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（8）	
	10	平面図	1/100		11	鉄骨構造標準図（1）	
	11	屋根伏図1（中間下屋）	1/100		12	QLデッキ標準図	
	12	屋根伏図2	1/100		13	ベースパック標準図（1）	
	13	立面図-1	1/100		14	ベースパック標準図（2）	
	14	立面図-2	1/100		15	ベースパック標準図（3）	
	15	断面図-1	1/100		16	ボーリング柱状図	
	16	断面図-2	1/100		17	基礎伏図	1/100
	17	平面詳細図-1	1/50		18	低い屋根レベル伏図	1/100
	18	平面詳細図-2	1/50		19	高い屋根レベル伏図	1/100
	19	平面詳細図-3	1/50		20	軸組図1	1/100
	20	断面詳細図-1	1/50		21	軸組図2	1/100
	21	断面詳細図-2	1/50		22	軸組図3	1/100
	22	展開図-1	1/50		23	軸組図4	1/100
	23	展開図-2	1/50		24	軸組図5	1/100
	24	展開図-3	1/50		25	基礎・基礎梁・土間・床版リスト	1/30
	25	展開図-4	1/50		26	柱・基礎柱リスト	1/30
	26	展開図-5	1/50		27	鉄骨部材リスト	-
	27	展開図-6	1/50		28	鉄骨継手リスト	-
	28	天井伏図-1	1/100		29	鉄骨詳細図1	1/30
	29	天井伏図-2	1/100		30	鉄骨詳細図2	1/30
	30	建具配置図-1	1/100		31	鉄骨詳細図3	1/30
	31	建具配置図-2	1/100		32	鉄骨詳細図4	1/30
	32	建具表-1	1/50				
	33	建具表-2	1/50				
	34	建具表-3	1/50				
	35	建具表-4	1/50				
	36	建具表-5	1/50				
	37	家具・ブラインド・サイン配置図	1/150				
	38	家具・ブラインド・サインリスト	-				
	39	家具図-1	1/30				
	40	家具図-2	1/30				
	41	部分詳細図	1/10				
	42	移動間仕切詳細図	-				
	43	法規チェック図	1/150				

項	工 事 施 工 区 分	建築	電気	給排水	空調	別途	備 考
1	コンクリート躯体貫通スリーブ取付		○	○	○		
2	同上周囲補強	○					
3	天井切込 み（天井下地含 む）	○	○	○	○		
4	同上補強及 び補修仕上 げ	○					
5	床及 び壁面 の切込 み開口 （躯体がらみ 設備工事 に関係 のもの ）		○	○	○		
6	同上補強及 び補修仕上 げ（ 同 上 ）	○					
~~7~~	~~床下トレンチ 及びピット~~						
~~8~~	~~同上換気口~~						
9	床下点検用 ハッチ （蓋・枠・蓋仕上共 ）	○					
10	天井点検口 （ 同 上 ）	○					
11	パイプシャフト 点検用ハッチ （ 同 上 ）	○					
12	発電機及 びキュービクル 基礎工事 （補強筋共 ）	○					
13	同上アンカーボルト 箱入れ・穴あけ		○				
14	屋内各機器基礎工事 （補強筋共 ）	○					
15	同上アンカーボルト 箱入れ・穴あけ		○				
16	屋外機器設置用基礎工事 （補強筋共 ）	○					
17	同上アンカーボルト 箱入れ・穴あけ		○	○	○		
18	機械室内消音断熱材仕上げ	○					
~~19~~	~~シャッター （操作盤・スイッチ・ 操作線共 ）~~						
~~20~~	~~同上電源供給及 び操作盤への 接続工事~~						
21	煙感知器連動 による 防煙スクリーン自動開閉装置	○					
22	同上配管配線 ・リレーズ 取付接続 ・受信盤取付		○				
~~23~~	~~煙感知器連動 によるシャッター 自動閉鎖装置~~						
~~24~~	~~同上配管配線 ・リレーズ 取付接続 ・受信盤取付~~						
~~25~~	~~液面電極棒 （支持固定装置共 ）~~						
~~26~~	~~同上用 リレー （制御盤内蔵 ）~~						
~~27~~	~~液面電極棒 とリレーとの 配管配線接続工事~~						
~~28~~	~~屋内消火栓 ボックス~~						
~~29~~	~~同上表示 ランプ・ 組込ベル・ 発信機とその 取付工事~~						
30	雨水樋及 び養生管 ・ルーフドレン	○					
31	雨水竪樋末端 と側溝又 は雨水桝 との 接続工事			○			
32	雨水会所桝及 び雨水排水工事	○		○			
33	雑排水桝 ・汚水桝及 び排水工事			○			
34	側溝最終桝 と排水会所桝 との 接続工事	○					
35	ステンレス 製流 し台・ガス 台	○					
36	一般陶器製流 し台			○			
37	吊戸棚	○					
~~38~~	~~タオル掛、雑巾掛~~						
39	紙巻 き器			○			
40	特殊カガミ	○					
41	カーテンボックス・ブラインドボックス	○					
42	カーテンレール	○					
43	カーテン 及ブラインド	○					
44	外部に面する給排気 ガラリ				○		
45	同上ダクト 接続用金具				○		
46	ドアガラリ・ 換気口 （内部）	○					
47	外部に面する換気口				○		
48	一般フード （厨房 ・調理 ・湯沸室等 ）				○		
49	外気に面するウェザーカバー				○		
50	壁付け換気扇類				○		

項	工 事 施 工 区 分	建築	電気	給排水	空調	別途	備 考
51	壁付け換気扇類取付枠				○		
52	外気に面する換気扇取付後 の防水シーリング				○		
53	天井埋込換気扇及 びダクト・ヘッドキャップ				○		
54	エアコン室外機、室内機間の渡り配線		○				
55	エアコン室内機、リモコンの渡り配線		○				
56	電話交換台 ・試験台 ・ＭＤＦ 類		○				
57	同上用直流電源装置 ・充電器 ・蓄電池類		○				
58	同上配管入線接続工事		○				
~~59~~	~~電話機~~						
~~60~~	~~エレベーター （扉共 ）~~						
~~61~~	~~同上用 3 方枠~~						
~~62~~	~~同上電源供給及 び操作盤との接続工事~~						
~~63~~	~~同上用インターホン 及び入線エレベーター 内配管配線~~						
~~64~~	~~避難器具~~						
65	身障者用各手摺			○			
66	洗面カウンター（造作）			○			
67	化粧蓋 （汚水 ・雨水 ・小口径桝類 ） 工事			○			
~~68~~	~~ユニットシャワー~~						
~~69~~	~~同上用配管配線~~						
~~70~~	~~プロパンガス 転倒防止 チェーン 設置~~						
71	ミニキッチン	○					
72	同上 配管接続			○			
73	衛生器具			○			
74	小便隔板 （陶器既製品以外 で建築図 に図示 のもの ）	○					
75	造付流 し本体 ・排水金物 および 器具 ・金物用穴 あけ	○					
76	同上 給水金具			○			
77	カウンター 埋込み器具 および 取付			○			
78	同上 給排水配管接続			○			
79	カウンター 本体取付 け および穴あけ	○					
80	消火器用 ボックス （埋め込み型とし 標識板付 ）	○					
81	同上 （ 壁掛け型または 床置型とし 標識板付 ）	○					
82	各種銘板 （建築関係 ）	○					
83	各種銘板 （電気、機械設備関係 ）		○	○	○		
84	室名札 ・黒板 ・掲示板類	○					
85	ガス漏警報機取付			○			
~~86~~	~~グリストラップ~~						
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95	受電通水後竣工引渡 し迄の電気 ・ガス ・ 上下水道使用料金	○	○	○	○		
96	同上の基本料金 （電気）	○	○	○	○		
~~97~~	~~工事負担金 、引込み分担金 （電気）~~						
~~98~~	~~工事負担金 、引込み分担金 （ガス）~~						
~~99~~	~~工事負担金 、引込み分担金 （上下水道）~~						
100							

Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称 （仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業 建築主体工事

図面名称 工事区分表

Scale (A1版)： (A3版)：

Date 2022.03

管理建築士

一級建築士 登録第182130号 原 英高

A-01

仕 様 書

Ⅰ 工事概要

1．工事名称　(仮称)魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

2．工事場所

地名	魚津市友道地内	敷地面積	2293.53 m2
都市計画区域	⊙内（・市街化区域　・市街化調整区域　・その他）　・外		
用途地域	第一種住居地域	防火地域	指定なし
構造	鉄骨　造	階数	1 階建
建築面積	1023.97 m2	延べ面積	985.79 m2
屋根仕上	ｶﾗｰSGL鋼板　t=0.4　立平葺		
外壁仕上	ｶﾗｰSGL鋼板　t=0.4　立平張		
建築物の用途（建築基準法）	交流センター(集会場)		
耐火建築物等の別	⊙耐火建築物　・準耐火建築物（・イ　・ロー１　・ロー２）　・その他		
最高高さ 7.010ｍ	最高軒高さ 6.180 ｍ	居室床高さ	28 cm
基礎形式　独立基礎		地盤の設計長期許容支持力度	300 KN/㎡
垂直積雪量 1.5 ｍ			
耐震安全性の分類（官庁施設の総合耐震計画基準）	構造体　・Ⅰ類　・Ⅱ類　・Ⅲ類　（重要度係数　・1.5　⊙1.25　・1.0）		
	建築非構造部材　・Ａ類（出入口扉除く）　・Ｂ類		

4．工事範囲　建築主体工事一式

Ⅱ 建築工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」（以下「標仕」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」（以下「改修標仕」という。）による。

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
　ⓧ印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　ⓧ印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の（　.　.　）内表示番号は標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の〔　.　.　〕内表示番号は改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。、また（　）内は製品名等を示す。

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	① 適用基準等	※　建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　平成25年版) ※　工事写真の撮り方(改訂第３版)建築編(国土交通大臣官房官庁営繕部監修) ・　建築物解体工事共通仕様書・同解説　　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成24年版） ・ ISO9001適用　建築工事施工管理要領（公共建築協会）
	② 工事実績情報の登録	※　適用する　（「工事カルテ受領書」の写しを提出）　(1.1.4)
	③ 品質計画等	(1.2.2) 建築基準法に基づき指定する条件 ⊙地区の区分に応じた風速（Vo(m/sec)）　⊙３０　・３２ ⊙地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ ⊙多雪区域の指定　積雪区分　建告示第1455号　別表(28)
	④ 電気保安技術者	※　適用する　(1.3.3)
	⑤ 施工条件	施工時間、工程、安全対策、工事用道路、仮設設備等は監督職員と協議する。　(1.3.5)
	⑥ 発生材の処理等	※発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理するものとする。　(1.3.8) ・　現場説明書による ※　運搬、処分委託契約書の写しの提出 ※　マニフェスト管理一覧表の提出 ・　マニフェスト（A票、B2票、D票、E票）の写しの提出 ・　引渡しを要するもの（　　） ・　再利用を図るもの（　　） ・　特別管理産業廃棄物の種類（　　） ・　同上処理方法（　　） ・　分別を図るもの（　　） ・　再資源化を図るもの（　　）
	⑦ 建築材料等	※　本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上のものとする。 但し、同等以上とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 使用する建築材料等に「富山県グリーン購入調達方針」で定めるものがある場合には、それに適合するものとする。 ・　本工事で使用する下記の品目については、公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針において優先利用グループに区分されている製品を利用する。 工種 ｜ 品目 ｜ 規格 ただし、その製品の入手が困難な場合は、監督職員と協議し、通常製品（新材で製造された製品）へ変更できるものとする。 ※　公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針に基づくグループ区分一覧は、富山県のホームページを参照すること。 URL:http://www.pref.toyama.jp/ｃｍｓ_sec/1510/kj00001978.html ・本工事は、「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」に基づき、パイロット工事として、下記の製品を利用する。 工種 ｜ 品目 ｜ 規格 ｜ 製品名
	⑧ 地場産品の優先使用等	※　地場産品の優先使用 受注者は、工事に使用する資材等について、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地場産品（建設資材又は製品等で、県内で最終製造工程が施されたもの又は県内に本社・本店を置く取扱業者から調達したものをいう。）を使用するものとする。 ※　県内企業の優先選定等 受注者は、工事に係る下請契約又は資材等納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は富山県内に本社・本店を置くものの中から選定するよう努めなければならない。 ・　不採用調書の提出 受注者は、工事の施工に関する下請契約において富山県内に本社・本店を置くもの中から選定しない場合又は工事に使用する資材等について県内地場産品を使用しない場合は、あらかじめ、「下請契約における県内企業及び県内地場産品の不採用調書」を監督員に提出しなければならない。
	⑨ 環境への配慮	揮発性有機化合物を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし次の１）から５）の事項を満たすものとする。 １）　合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ２）　保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ３）　接着剤はフタル酸ｼﾞｎ－ブチル及びフタル酸ｼﾞ－２－エチルヘキシンを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ４）　塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ５）　１），３）及び４）の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ※規制対象外 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるＪＡＳ規格品 ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ．接着剤等不使用 ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 ｆ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ・第三種 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の７第３項による国土交通大臣認定品 ③旧ＪＩＳのＥｏ規格品 ④旧ＪＡＳのＦｃｏ規格品 アスベスト含有建材 「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行令について」（厚生労働省労働基準局長通達　平成18年8月11日　基発第0811002号）に基づき、本工事に使用する材料については、アスベスト含有建材を使用しないこと。 化学物質等安全データシート（MSDS）等により確認を行った場合は、その写しを監督職員に提出すること。
	⑩ 材料の品質等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次の１）から６）の事項を満たすものとする。 １）　品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ２）　生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ３）　安定的な供給が可能であること。 ４）　法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。 ５）　製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ６）　販売保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出し承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等以上を使用するものとし、同等以上を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑪ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。 (1.5.2)
	⑫ 技能士	適用工事種別 ｜ 技能検定の職種 仮設工事 ｜ ⊙とび 鉄筋工事 ｜ ⊙鉄筋施工(鉄筋組立て作業) コンクリート工事 ｜ ⊙型枠施工　⊙コンクリート圧送施工 鉄骨工事 ｜ ⊙とび　⊙鉄工 ﾌﾞﾛｯｸ･ALCﾊﾟﾈﾙ工事 ｜ ・ブロック建築 防水工事 ｜ ・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ⊙改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ熱工法防水工事作業　・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 石工事 ｜ ・石材施工(石張り施工) タイル工事 ｜ ・タイル張り 木工事 ｜ ⊙建築大工 屋根及びとい工事 ｜ ⊙建築板金(内外装板金作業)　・スレート施工 金属工事 ｜ ⊙内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） 左官工事 ｜ ⊙左官　・樹脂接着剤注入施工 建具工事 ｜ ⊙サッシ施工　⊙ガラス施工 カーテンウォール工事 ｜ ⊙カーテンウォール施工 ⊙ガラス施工 塗装工事 ｜ ⊙塗装(建築塗装作業) 内装工事 ｜ ⊙プラスチック系床仕上げ工事作業 ⊙ボード仕上げ工事作業　・表装(壁装作業) 排水工事 ｜ ⊙建築配管作業 植栽工事 ｜ ・造園 解体工事 ｜ ・解体工事施工技士
	⑬ 技術検査	・土木部建築工事監督要領による。　(1.6.2)
	⑭ 化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物等の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告書を提出する。 室内濃度測定対象物質 ※ホルムアルデヒド　※トルエン　※キシレン　※エチルベンゼン　※スチレン ※パラジクロロベンゼン（学校施設について測定） ・フタル酸ジ-n-ブチル　・アセトアルデヒド ※測定する箇所数　9箇所、測定対象室は監督職員の指示による 測定方法 採取 ｜ ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド：ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法 ｜ その他の揮発性有機化合物：固相吸着/溶媒抽出法 分析 ｜ 高速液体クロマトグラフ（ＨＰＬＣ） ｜ ガスクロマトグラフ法 ※採取法はパッシブ型採取機器により行う。
	⑮ 完成図等	※　着工時製本　⊙原図版　1部　⊙縮小版　A3版　4部　(1.7.1～1.7.3)(表1.7.1) ※　完成図製本（黒表紙）　⊙原図版　1部　⊙縮小版　A3版　3部 ⊙　施工図　・保全に関する資料　⊙CADデータ ⊙　その他監督職員の指示によるもの
	⑯ 工事写真	撮影時 ｜ 規　格 ｜ 撮影箇所数 ｜ 部数 ｜ 備考 着工前 施工中 ｜ ⊙L版程度（3枚/頁）⊙サムネール版 ｜ 適正数 ｜ 1部 ｜ デジタルカメラは130万～300万画素 完成時 ｜ ※L版程度（3枚/頁） ｜ 適正数 ｜ 1部 ⊙　線工写真　アルバム製本（金文字）2冊、CD-R（専門業者撮影、ｶﾗｰｷｬﾋﾞﾈ版　外観5枚　内観20枚　計25枚程度）
	⑰ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
	⑱ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。
	⑲ 設計ＧＬ	※　図示　・　設計ＧＬ＝現状ＧＬ
	⑳ 電子納品	※電子納品対象工事 以下の示す書類を電子納品する。 ※工事写真　・施工計画書　※完成図(CADデータ)　・参考図(ラスターデータ) なお、電子納品の実施は「富山県電子納品運用ガイドライン（案）［建築工事編］」に基づいて行う。
	21 調査・試験に対する協力	公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。(富山県土木工事共通仕様書 1-1-13)
	22 解体工事等	・再資源利用計画書等作成及び提出(FD) ・建設リサイクル法対象工事 ・特定建設資材廃棄物の種類： ・再資源化施設の場所：
	23 施工機械	「富山県土木工事共通仕様書」1-1-34環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。
	㉔ 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間	次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。 (1)　契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 (2)　工事の全部の施工を一時中止している期間 (3)　上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等がおこなわれていない期間
	㉕ 安全教育・訓練の実施	労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり半日以上の頻度で実施するものとする。 「富山県土木工事共通仕様書」1-1-30　工事中の安全確保
	㉖ 下請関係の適正化	本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。
	27 個人情報の取扱い	「富山県土木工事共通仕様書」1-1-48個人情報取扱特記事項による。
	28 工事特性・創意工夫社会性等の実施	受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成時までに「富山県請負工事成績評定要領第4第7項に定める様式により提出することができる。
	29 総合評価方式	１　受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料（富山県公共工事総合評価方式試行要領様式第１号、２号）の内容を履行すること。 ２　受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料（富山県公共工事総合評価方式施行要領様式第４号）に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。 ３　なお、上記１、２を履行できない場合及び、受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料（富山県公共工事総合評価方式施行要領様式第１号から４号）に記載した内容に虚偽の報告があった場合においては、富山県公共工事総合評価方式施行要領に基づき工事成績の減点（標準型においては、工事成績の減点及び違約金の徴収）をすることがある。
	㉚ 暴力団関係者から不当な介入を受けた場合の措置	受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。
	31 低入札となった場合における技術者の増員等	１　工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることによる。 (1)　建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合 専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあっては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあっては主任技術者になり得る資格を有する者を１人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と３ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。 (2)　建設業法の規定による技術者の専任配置が義務づけられていない工事の場合 同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。 ２　１の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。
② 仮設工事	① 足場その他	内部足場　種別　⊙脚立、足場板等　[2.2.1] 外部足場　種別　⊙A種　・B種　・C種　・D種　[2.2.1][表2.2.1] 防護ｼｰﾄ等による養生 ※設置する　※ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ又は養生ｼｰﾄ　・防音ﾊﾟﾈﾙ　・ なお、出入口等の上部は必要に応じて防護棚を設ける。 ・設置しない 材料、撤去材等の運搬　・A種　※B種　・C種　・D種　・E種　[2.2.1][表2.2.2] ※　足場を設ける場合は「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省　基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。　(2.2.4)
	② 既存部分の養生（改修工事の場合）	既存部分の養生方法　※ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ等　[2.3.1] 既存家具等の養生方法　※ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ等　[2.3.1] 既存ブラインド、カーテン等の養生方法及び保管場所　・図示　[2.3.1] 固定された備品、机・ロッカー等の移動　・行う（図示）
	3 仮設間仕切り等（改修工事の場合）	仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1] 種　別 ｜ 下　地 ｜ 仕上げ材（厚さmm） ｜ 充填材（mm） ｜ 塗　装 ・A種 ｜ ※軽量鉄骨 ｜ ※せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（※9.5　・　） ｜ 厚さ（　） ｜ ※無し ※B種 ｜ ・木造 ｜ ・合板（※9　・　） ｜ ・片面 ・C種 ｜ 単管 ｜ 防炎シート 仮設扉 ｜ ※木製扉 ｜ 合板張り程度 ｜ ・行う（厚さ　） ｜ ※無し ・ ｜ ・片面
	4 監督職員事務所	・設ける（規模：50m2程度） ・
	⑤ 工事用水	構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（※有償　・無償）
	⑥ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）

③ 土工事

① 埋戻し、及び 盛土 (3.2.3)(表3.2.1)

② 建設発生土の処理 (3.2.5)

種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土

⊙ 現場内で処理

⊙ 構内指示の場所に堆積

・ 構内指示の場所に敷き均し

⊙ 場外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する。

なお、処理にあたっては「建設発生土情報交換システム」を活用する。

構外指定場所に搬出後 ※堆積 ・敷き均し

受入場所：

受入時間帯： 時 分～ 時 分

仮置き等：

搬出調書を監督職員に提出する

④ 地業工事

① 支持地盤の確認 (4.2.1～4.2.4)

杭の支持力、支持地盤の位置及び種類、及びこれらの確認のための試験の方法は、構造特記仕様書及び構造図による。

2 既製コンクリート杭地業 (4.3.1)

施工法 ・打込み工法

・セメントミルク工法

・特定埋込み杭工法

杭の種類 ・遠心力高強度コンクリートくい (4.3.2)

・外殻鋼管付きコンクリートくい

・プレストレスト鉄筋コンクリートくい

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 (4.3.2～4.3.7)

1) 杭の寸法、継手の箇所数と工法、杭先端部の形状、杭頭の処理等

2) 打込み工法における杭の設計支持力及び推定支持力の算定方法

3) 打込み工法におけるプレボーリングの掘削深さ及び径

4) セメントミルク工法におけるアースオーガーの掘削深さ及び杭の根入深さ

5) 杭の水平方向の位置ずれの精度

3 鋼杭地業 (4.4.1)

施工法 ・打込み工法

・特定埋込み杭工法

杭の種類 ・鋼管杭 (4.4.2)

・H型鋼杭

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 (4.4.2～4.4.6)

1) 杭の種類、寸法、継手の箇所数と工法、杭先端部の形状、杭頭の処理等

2) 打込み工法における杭の設計支持力及び推定支持力の算定方法

3) 打込み工法におけるプレボーリングの掘削深さ及び径

4) 杭の水平方向の位置ずれの精度

4 場所打ちコンクリート杭地業

堀削工法 ・アースドリル工法（・安定液使用 ・無水堀削） (4.5.1)

・リバース工法

・オールケーシング工法（孔内の水張 ・行う ・行わない）

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

・拡底杭工法（※安定液使用 ・ ）

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 (4.5.3～4.5.5)

1) 鉄筋の種類及び加工組立

2) コンクリートの種類及び設計基準強度

3) 支持地盤の位置及び種類

4) 杭の水平方向の位置ずれの精度

5) 孔壁測定の有無及び測定方法

⑤ 砂利地業に使用する砂利 (4.6.2)

※再生クラッシャラン ・ 切込砂利及び切込砕石

⑥ 床下防湿層 (4.6.5)

施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び名（mm）
⊙SD295A	※D16以下
⊙SD345	※D19以上
・	

② 溶接金網 (5.2.2)

種類の記号、網目の形状、寸法及び鉄線の径は、図示による。

③ 鉄筋の継手 (5.3.4)

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・重ね継手

④ 鉄筋の最小かぶり厚さ (5.3.5)

最小かぶり厚さは目地底から算定する。

・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※10

⑤ 各部配筋 (5.3.7)

※構造特記仕様書及び構造図による。

・各部配筋参考図による。

⑥ コンクリート工事

① コンクリートの種類 (6.1.3)

コンクリートの使用骨材による種類

※普通コンクリート ・軽量コンクリート

② コンクリートの使用材料施工条件、要求性能等による種類 (6.1.3)

コンクリートの使用材料、施工条件、要求性能等による種類

適用	種 類	適用箇所	特記事項
・	寒中コンクリート		適用期間（ ）(6.12.1)
・	マスコンクリート		セメントの種類（ ） 混和材料（ ） スランプ（ ） (6.13.2)(6.13.3)
・	無筋コンクリート		スランプ（ ） (6.14.3)
・	高い強度のコンクリート		混和材料（ ）(6.15.3)
・	流動化コンクリート		

③ コンクリートの設計基準強度

コンクリートの設計基準強度は、構造特記仕様書及び構造図による。 (6.1.4)

④ レディーミクストコンクリートの類別

※Ⅰ類 ・Ⅱ類 (6.1.5)(表6.1.1)

JIS表示認定工場の対象として、改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場（JISマーク表示認証工場）を含むものとする。

⑤ 普通コンクリートの品質

気乾単位容積質量 ※2.3t/m3 ・ (6.2.2)

⑥ 打放し仕上げ (6.2.5)(表6.2.3)

種別 ・A種 ※B種 ・C種

⑦ セメントの種類 (6.3.2)(表6.3.1)

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

・高炉セメントB種 （ ）

・フライアッシュセメントB種 （ ）

⑧ 骨材の品質 (6.3.3)(6.5.4)

アルカリシリカ反応性による区分

・A

・B（※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m3 以下）

※監督職員との協議による。

⑨ 混和材料の種別 (6.3.5)(6.4.8)

混和材料の種類は、構造特記仕様書及び構造図による。

⑩ 調合管理強度 (6.4.5)(6.8.2)(表6.4.1)

構造体強度補正値(S) ※表(6.4.1) による。

ただし、普通ポルトランドセメントを用いるコンクリートでは、以下の補正値適用期間を使用することができる。

打設日	7月19日～8月30日	3月15日～7月18日 8月31日～11月15日	11月16日～3月14日
補正値	6N/mm2	3N/mm2	6N/mm2

⑪ 型枠 (6.9.2)

以下の事項は、図示による。

1) 外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ

2) ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法

せき板の材料は、次による。

※合板（※12mm ・ mm） ・床型枠用鋼製デッキプレート ・メッシュ型枠 (6.9.3)

・断熱材兼用型枠（適用個所及び品質等は19章9節断熱・防露による）

⑦ 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場 (7.1.3)

・監督職員の承諾する製作工場(標仕7.1.1以外の適応範囲に限る)

・建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び㈱全国鉄骨評価機構（旧(社)全国鐵構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準に定める「 R グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

② 施工管理技術者 ※適用する (7.1.3)(7.1.4)(7.6.2)(7.12.2)

③ 鋼材 鋼材の材質、形状及び寸法は、構造特記仕様書及び構造図による。 (7.2.1)（表7.2.1）

④ 高力ボルト 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 (7.2.2)(7.3.2)(7.4.1～7.4.9)

1) ボルトの区分及び径

2) ボルトの縁短距離、ボルト間隔、ゲージ等

3) すべり係数試験の実施、試験方法等

⑤ 普通ボルト 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 (7.2.3)(7.3.2)

1) ボルトの径

2) ボルトの縁短距離、ボルト間隔、ゲージ等

6 溶融亜鉛めっき高力ボルト 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。

1) ボルトの縁短距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.2)(7.3.2)

摩擦面の処理 (7.12.4)

※ ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)

・ リン酸塩処理（すべり耐力等の確認方法は、図示による）

⑦ アンカーボルト 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 (7.2.4)(7.3.2)

1) ボルトの材質・種類、ねじの種類・等級の規格、仕上げの程度、縁短距離、ボルト間隔、ゲージ等

2) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法 (7.10.3)

3) 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法

⑧ デッキプレート 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。

1) デッキプレートの材質、形状及び寸法 (7.2.7)

2) 開口部補強要領

3) 鉄骨部材への溶接方法 (7.7.8)

4) 耐火認定の有無

⑨ 工作図 増築工事等を含め、既存建築物と取合う箇所がある場合は、現場実測の上作成を行う。 (7.3.2)

⑩ 鉄骨の仮組 ・行わない ・行う (7.3.10)

仮組を行う範囲及び確認方法等は、図示による。

⑪ 溶接接合 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。

1) 開先の形状 (7.6.4)

2) スカラップの形状 (7.6.7)

3) エンドタブの切除の有無及び適用箇所 (7.6.7)

⑫ 溶接条件 入熱、パス間温度の溶接条件

適用箇所 ・ 図 示

・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

・

鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入 熱（KJ/cm）	パス間温度（℃）
400 N 級鋼	JIS Z 3211, 3212	40 以下	350 以下
	YGW－11, 15		
	YGW－18, 19		
	JIS Z 3214		
	YGA－50W, 50P		
490 N 級鋼	JIS Z 3212	40 以下	350 以下
	YGW－11, 15	30 以下	250 以下
	YGW－18, 19	40 以下	350 以下
	JIS Z 3214		
	YGA－50W, 50P		
520 N 級鋼	YGW－18, 19	30 以下	250 以下

ただし、

400N級鋼のSTKR・BCR及びBCPの作業条件は、YGW-11, 15で入熱30KJ/cm以下、パス間温度250℃以下、YGW-18, 19での作業条件は入熱40KJ/cm以下、パス間温度350℃以下とする。

490N級鋼のSTKR・BCPの作業条件は、YGW-18, 19で入熱30KJ/cm以下、パス間温度250℃以下とする。

上記の溶接条件以外による場合は、監督職員と協議する。

⑬ 溶接部の試験 完全溶込み部の超音波探傷試験 ※行う ・行わない (7.6.11)

・工場溶接の場合

AOQL ※4.0% ・2.5%

検査水準 ※第6水準 ・図示 (7.6.11)(表7.6.2)(表7.6.3)

・工事現場溶接の場合

AOQL ※4.0% ・2.5% (7.6.11)(表7.6.4)

⑭ 鉄面錆止め塗料塗り (7.8.3)(表18.3.1)(表18.3.3)

塗料 屋外 ※A種（JISK5674 1種） ・B種

屋内 ※A種（JISK5674 1種） ・B種

工程 見掛かり（※A種 ・B種） 見隠れ（・A種 ※B種）

⑮ 耐火被覆 (7.9.2～7.9.7)

種 別		適用箇所	所要性能
・ラス張りモルタル塗り			
⊙耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	⊙半乾式吹付けロックウール	柱、梁	1時間耐火構造
	・湿式ロックウール		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		

⑯ 柱底均しモルタル

⑰ 軽量形鋼構造

18 溶融亜鉛めっき

工法の種別 ※A種（モルタル厚50） ・B種(モルタル厚30) (7.10.3)(表7.10.2)

ボルトの接合方法は構造特記仕様書及び構造図による。 (7.11.2)

(7.12.3)(表14.2.2)

亜鉛めっきの種別	材 料	適用部位
※A種	最低板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	
・B種	最低板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
・C種	最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 普通ボルト、ナット類、アンカーボルト類	

素地ごしらえは、JIS H9124溶融亜鉛めっき作業標準による。

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

2 コンクリートブロック帳壁及び塀

※空洞ブロック16 ・空洞ブロック16－W (8.2.2)

各部の配筋は、構造特記仕様書及び構造図による。 (8.2.5)

※表8.3.1及び下表による。 (8.3.2)

適 用 箇 所	ブロックの種類	厚さ（mm）
・	・	
・	・	
・		

3 ALCパネル

※各部の配筋は、構造特記仕様書及び構造図による。 (8.3.3)

(8.4.2～8.4.6)(表8.4.2～表8.4.4)

種 類	単位荷重（N/m2）	厚さ（mm）	取付け工法種別等
・外壁パネル ※平パネル ・意匠パネル	・1180 ・1960	・100 ・120 ・	・A種 ・B種 ・C種 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する
・間仕切壁パネル ※平パネル	―	・80 ・100 ・	・B種 ・C種 ・D種 ・E種
・屋根パネル	・980	・100	※F種 耐火性能 ・有り （・1時間 ・2時間）
・床パネル	・2350 ・3530	・100 ・150	

外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅（mm） ※ 20 ・図示による (8.4.3)

4 押出成形セメント板（ECP）

(8.5.2～8.5.5)(表8.5.1)(表8.5.2)

種 類	表面形状	厚さ（mm）	ﾛｯｸｳｰﾙ充てん	取付工法・種別	備考
・外壁パネル	※F	・50 ・60	・有 ・無	・A種	
	・D	・50 ・60	・有 ・無	・B種	
	・T	・60	・有 ・無		
・間仕切パネル	※F	・50 ・60	・有 ・無	・B種	
	・D			・C種	
	・T				

表面形状はJIS規格に基づく

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～表9.2.8)

種 類・種 別	施工箇所
※AI－2	
・A－2	
・D－2	
・BI－2	床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ
・	

断熱工法の断熱材 ・材質（※JIS A 9511 ・ ）・厚さ（mm）（※25 ・ ） (9.2.2)

防水層保護のれんが ※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。 (9.2.2)

乾式保護材の材料 (9.2.2)

種 類		寸法（mm）：厚さ×幅	適 用
・押出成形ｾﾒﾝﾄ板（窯業系ﾊﾟﾈﾙ）	※ Ⅰ類 ・ Ⅱ類	・約15×300 ・約26×600 ・	※無石綿に限る
・金属複合版		※約12×900	

乾式保護材の品質は、図示による。

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)

種 別	施工箇所
⊙ASー T3	屋根
・	
・ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ熱工法（複層・絶縁工法） 仕上げ塗料塗り(ｼﾙﾊﾞｰ) ｱｽﾌｧﾙﾄは低煙・低臭ﾀｲﾌﾟとし、改良型無煙釜を使用する。	

3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2～9.4.3)(表9.4.1)

種 別	ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの厚さ（mm）	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
・S－F1	※1.2		・ｼﾙﾊﾞｰ ・ｶﾗｰ	※軽歩行
・S－F2	※2.0			・非歩行
・S－M1	※1.5		・ｼﾙﾊﾞｰ ・ｶﾗｰ	※非歩行
・S－M2	※1.5			
・S－M3	※1.2			

4 塗膜防水 (9.5.2)(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種 別	施工個所	備 考
・X－1		仕上げ塗料塗り
・X－2		・シルバー ・カラー
・Y－1	地下外壁防水	Y－2工法の保護シート
・Y－2		※適用する ・適用しない

⑤ 脱気装置 ※設ける ・設けない (9.2.3)(9.5.3)

種 類	材 質	設置数量
・平面部脱気型	※ 製造所標準仕様（立上がり型） ・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ｱﾙﾐ製又はｱﾙﾐ鋳物	・ 製造所指定数量 ・1箇所／約50m2当たり
・立上がり部脱気型	※ 製造所標準仕様 ・	・ 製造所指定数量 ・1箇所／約10m間隔

⑤ シーリング 下表以外は、表9.6.1による (9.6.2)(表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
サッシ・アルミパネル	MS-2
内部建具廻り	PU-2
ガラス廻り	SR-1

(9.6.5)

接着性試験

※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 （施工対象部位 ）

⑩ 石工事

① 天然石張り

石の種類・表面仕上げ (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	品質の種類	産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類
汚垂石	御影石	中級程度	30	本磨き

2 テラゾ張り

種石の種類 ※大理石 (10.2.1)

表面仕上げ ※本磨き (表10.2.2)

ﾃﾗｿﾞﾌﾞﾛｯｸ及びﾃﾗｿﾞﾀｲﾙの区分及び寸法等は、図示による。 (10.2.1)

3 壁の石張り工法

外壁石張り (10.2.2)(10.3.2)(10.3.3)(10.5.2)(10.5.3)(表10.2.4)

工法

・外壁湿式工法（※流し筋工法 ・ ）

・乾式工法 （・スライド方式 ・ロッキング方式）

石裏面処理 ・行う（・小口共） ・行わない

裏打ち処理 ・行う ・行わない

ドレインパイプ ※樹脂ネット製パイプ （クロスメッシュ巻き） ・ステンレスSUS304

内壁石張り (10.2.2)(10.4.2)(10.4.3)(10.5.2.)(10.5.3)

工法

・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法）

・乾式工法 （・スライド方式 ・ロッキング方式）

石裏面処理 ・行う（・小口共） ・行わない

裏打ち処理 ・行う ・行わない

4 床及び階段の石張り

床石張りの石裏面処理 ・行う (10.6.2)(10.6.3)

屋内のワックス掛け ・行う (10.1.5)

⑪ タイル工事

① 陶磁器質タイル張り (11.2.1)

タイルの種類

形状寸法（mm）	再生材の適用	吸水性による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 あり	なし	色 標準	特注	耐凍害性 あり	なし	備考
150×150		○			○		○		○				
300×300		○			○		○		○				
300×600		○			○		○		○				

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする

タイルの見本焼き ※行わない ・行う（※外壁タイル ・ ）

タイルの試験張り ※行わない ・行う（※外壁タイル ・ ） (11.2.1)

既製調合モルタルの品質及び性能 (11.2.3)

項 目	単位容積質量（kg/l）	保水率（%）	接着強さ(N/mm2) 標準時	温冷繰返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N/mm2）
品質・性能	1.8以上	70.0以上	0.6以上	0.4以上	0.2以下	4.0以上

2 壁タイル張りの工法

内装タイル ・壁タイル接着剤張り ・改良積上げ張り (11.3.3)(表11.3.2)

外装タイル ・密着張り ・マスク張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り

・モザイクタイル張り

下地モルタル塗り ※標仕15.2.2～15.2.5

3 コンクリート素地面の処理

※MCR工法又は目荒らし工法 (11.3.3)(6.9.3)(15.2.4)

施工範囲 ※図示

4 陶磁器質タイル型枠先付け工法 (11.2.2)(11.4.2)(表11.4.1)

適用タイル	種 別	タイル型枠先付け面のせき板
小口タイル 二丁掛タイル	※タイルシート法 ・目地桝工法	※標仕6.9.3［材料］(b)(2)又は金属製タイル先付け用パネル
大形タイル	桟木法	・

⑫ 木工事

① 木材の品質等

保存処理木材 ・使用しない ・使用する（適用箇所 ） (12.2.1)

樹種 (12.2.1)(表12.2.3)

※標仕表12.2.3による

・代用樹種を適用しない箇所（ ）

間伐材等 ・使用する（使用箇所 ）

② 集成材等 (12.2.2)

品 名	規格・品質	特記事項
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	品名、強度等級、接着性能、樹種名、寸法
・構造用単板積層材	・特級 ・1級 ・2級	接着性能、樹種名、厚さ、曲げ性能
⊙造作用集成材	※1等 ・2等	樹種名、寸法
⊙化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	樹種名、厚さ、寸法
・単板積層材		表面の品質、防虫処理、厚さ

※上記集成材を適用した場合の表の右欄の特記事項は、図示による。

(12.2.3)

厚 さ	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理等
・5.5mm ・12mm ・15mm	杉			

④ 接着剤 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (12.2.6)

⑤ 防腐・防蟻処理

防腐処理 ※行う （適用範囲 ※標仕12.2.8(c)による ・図示） (12.2.8)

防蟻処理 ・行う （適用範囲 ） (12.2.9)

防虫処理 ・行う （適用範囲 ） (12.2.10)

防腐・防蟻剤は、クロルピリホス等を含有しない非有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督職員に提出し承諾を受ける。

防腐・防蟻処理材を現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。

⑬ 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺 (13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

屋根葺形式・工法	長尺金属板の種類	板厚（mm）
立平葺	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ・カラーステンレス鋼板	※0.4 ・

2 折板葺 (13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

形 式	・重ね形 ※はぜ締め形 ・かん合形
形状（mm）	山高（ 88 ） 山ピッチ（ ） 板厚※0.6 ・0.8
材 料（規格等）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ・
軒先面戸板	※有り ・無し
断 熱 材	※有り（種別： 厚さ： mm） ・無し
耐火 性能	※30分耐火 ・無し

材料はJIS規格に基づく

3 粘土瓦葺 (13.4.2)

形状による区分	寸法による区分	製法による区分	備 考
※J形	※53A	・ゆう薬がわら	色調（ ）
・S形	・49A ・49B	・いぶしがわら	
・F形	・40	・無ゆうがわら	役物瓦（図示）

④ とい ・配管用鋼管 ※塩ビ製 ステンレス隠し吊金物 ⊙アルミ製 (13.5.2)(表13.5.1)

⑭ 金属工事

1 あと施工アンカーの引抜き耐力試験

※適用する。 (14.1.3)

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種　別	色合い	施工箇所
※B－１種	無着色	
・B－２種	・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー	
・		

③ 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

表面処理方法	種　別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	⊙A種	外部構造用鉄骨
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

④ 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法 (14.4.3)(14.4.4)(表14.4.2)

※下表以外は、14.4.3及び表14.4.2による

施工箇所	下地材の間隔（mm）		
	野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ		野縁
	中央部	周辺部	

天井下地材における耐震性・耐風圧を考慮した補強　・行う　補強箇所　※図示 (14.4.4)
天井のふところが３ｍを超える場合の補強　※図示

⑤ 金属成形板張り

(14.6.2)(表14.2.1)

形　状	製　法	材　種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理	色合い
⊙スパンドレル形	⊙押出し ・ロール	※アルミニウム製 ・			・B－１種 ・B－２種 ・	無着色 ・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ
・パネル形	※プレス ・					

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示） (14.6.3)
※図示による
種類　・50型　⊙65型　・90型　⊙100型 (表14.5.1)

⑥ 軽量鉄骨壁下地

⑦ アルミニウム製笠木

オープン形式アルミニウム製笠木の種類 (14.7.2)(14.7.3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種　類	呼称肉厚（mm）	表面処理及び色合い	固定間隔・ 方法
・100形	1.5以上	※A－1又はB-1種（無着色）	建築基準法に基づき指定する条件により定める
・250形	1.6以上	・B-2種 ・ブラウン系 ・ブラック （・ステンカラー）	
・300形	1.8以上		
・325形	2.0以上		
⊙400形	2.0以上		

隅角部及び突当り部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

⑧ 手すり及びタラップ

(14.2.1)(14.8.2)(14.8.3)(表14.2.2)

種　類	材料の種別	表面処理
手すり	※ステンレスSUS304	※ＨＬ程度　・鏡面程度
	⊙鉄	亜鉛めっき　外部（※Ｃ種）　内部（※Ｅ種）
タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し　・
	⊙鉄	亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種

⑮ 左官工事

① モルタル塗り材料

既製目地材の適用　※図示 (15.2.5)

② 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による (表6.2.4)(15.3.1)(15.3.2)

施工箇所	平たんさ（mm）	備　考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（パネル構法）範囲	１mにつき１０以下	塗料塗りの場合も含む
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（溝構法）範囲	３mにつき７以下	

3 セルフレベリング材

・せっこう系　・セメント系 (15.4.2)

④ 仕上塗材仕上げ

(15.5.2)(表15.5.1)

種　類	呼び名	仕上げの形状等
⊙薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状　・さざ波状　・ゆず肌状
	・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状　・さざ波状　・ゆず肌状
	⊙外装薄塗材Ｅ	⊙砂壁状　・平坦コテ塗
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状　・さざ波形　・凹凸状
	・外装薄塗材Ｓ	・砂壁状
	・内装薄塗材Ｃ	・
	・内装薄塗材Ｌ	・
	・内装薄塗材Ｓｉ	・
	⊙内装薄塗材Ｅ	⊙エンシェントブリック
	・内装薄塗材Ｗ	・京壁状じゅらく
・複層仕上塗材	・可とう形複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸模様
	・複層塗材Ｓｉ	耐候性　・１種　・２種　※３種
	・複層塗材Ｅ	上塗材
	・複層塗材ＲＥ	溶媒　※水系　・溶剤系
	・防水形複層塗材ＣＥ	樹脂　※アクリル系　・ポリウレタン系
	・防水形複層塗材Ｅ	
	・防水形複層塗材ＲＥ	外観　※つやあり　・つやなし
	・	・メタリック
	・	防水形の増塗材　※行う
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

※ジョリパット　エンシェントブリック（アイカ工業）同等 (15.5.2)
防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

⑤ ロックウール吹付け

厚さ　25mm (15.7.3)

⑯ 建具工事

1 見本の製作等

・建具見本の製作　（建具番号：　　） (16.1.4)
・特殊な建具の仮組（建具番号：　　）
※防火戸の指定及び防犯建物部品の適用は、建具表による。 (16.1.3)(16.1.6)

② アルミニウム製建具

外部に面する建具の性能値等 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
⊙A種	S－4	※A－3	※W－4	⊙70	
・B種	S－5	・	・	⊙100	
・C種	S－6	A－4	W－5	100	

表面処理 (16.2.4)(表14.2.1)

施工箇所	種別	色合い等
外部建具	※ B-1種	無着色
	⊙ B-2種	※標準色（ ・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
	・	
内部建具	※ C-1種又はB-1種	無着色
	・ C-2種又はB-2種	※標準色（ ・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

防音ドアセット、断熱ドアセット、耐震ドアセットの適用及び等級は、建具表による。 (16.2.2)

③ 網戸

防虫網 (16.2.3)
網の種別　※合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）

④ 鋼製建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による (16.3.2)(表16.3.1)
外部に面する建具の耐風圧性（・S－4　・S－5　・S－6） (16.3.2)(表16.2.1)
鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効開口幅950mm、又は　有効高さ2,400mmを越える場合）
※　下表以外は表16.3.2による (16.3.4)(表16.3.2)

区　分		使用箇所	厚さ（mm）
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3
	戸	中骨	2.3

⑤ 標準型鋼製建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による (16.3.2)(16.3.6)(表16.3.1)
外部に面する建具の耐風圧性（・S－4　・S－5　・S－6） (16.3.2)(16.3.6)(表16.2.1)

⑥ 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による (16.4.2)

⑦ 標準型鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による (16.4.2)(16.4.6)

8 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による (16.3.2)(16.5.2)(表16.3.1)
外部に面する建具の耐風圧性（・S－4　・S－5　・S－6） (16.3.2)(16.5.2)(表16.2.1)
表面仕上げ　※ HL仕上げ　・　鏡面仕上げ (16.5.4)
曲げ加工　※　普通曲げ　・　角出し曲げ（補強あり） (16.5.5)

⑨ 木製建具

フラッシュ戸の表面材の種類 (16.6.2)(表16.6.2)(表16.6.6)
※天然木化粧合板
かまち戸の材種　かまち（　　）　鏡板（　　） (16.6.2)
ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度　⊙ 鳥の子 (表16.6.3)
縁仕上　・塗縁　⊙生地縁（ ・素地　⊙ウレタンクリア塗装 ） (16.6.4)
枠の材料　※ 木製　・ 鋼製 (16.6.2)
靴ずりの材料　⊙ 木製　・ ステンレス製

⑩ 建具用金物

建具用金物は、下記以外については、建具表による。 (16.7.2)(表16.7.1)
レバーハンドルのバックセット　※ 64mm
マスターキー　※製作する　・製作しない (16.7.4)

⑪ 自動ドア開閉装置

自動ドアの開閉機構 (16.8.2)(16.8.3)(表16.8.1)(表16.8.2)(表16.8.3)
※スライディングドア　・スイングドア
自動ドアの開閉方式、質量、センサーの種類については、建具表による。
凍結防止措置　※行わない　・行う（　　） (16.8.3)

12 重量シャッター

外部に面するシャッターの耐風圧強度　耐風圧性能（　　）N/m2 (16.10.2)
開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式 (16.10.2)(表16.10.1)
防火シャッター、及び防煙シャッターには、危害防止機構を設ける。 (16.10.2)
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない (16.10.2)

13 軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用） (16.11.2)(表16.11.1)
外部に面するシャッターの耐風圧強度　耐風圧性能（　　）N/m2 (16.11.2)
スラット　厚さ（mm）　・0.5　※0.8　・1.0 (表16.11.2)
材質　※ JISG3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）又は、 (16.11.3)
JISG3318（塗装溶融亜鉛－5%ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金めっき鋼板及び鋼帯）
形状　・ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形 (16.11.4)
ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm） (表16.11.2)

14 オーバーヘッドドア

(16.12.2)(16.12.3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 （SUS304）

耐風圧性能（　　）N/m2 (16.12.2)

⑮ ガラス

ガラスの種類、品質、厚さ等は、建具表による (16.13.2)

⑯ ガラス留め材

ガラス留め材 (16.13.2)(表9.6.1)

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

ただし、防火戸は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による

⑰ ガラス溝

板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.13.3)(表16.13.1)
※標仕表16.13.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

18 熱線反射ガラス

映像調整　※行わない　・行う（建具表による） (16.13.4)

19 ガラスブロック積み

ガラスブロック (16.13.5)

寸法（mm）		表面形状		防火性能等
呼び寸法	厚さ	色　調	パターン	
		※クリア ・		※無し ・

壁用金属枠及び補強材 (16.13.5)

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製 ・	※　標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による ・

化粧目地モルタルの色　※モルタル色

20 ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面	性能値
・日射遮へい・ガラス飛散防止フィルム	第１種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・ガラス飛散防止フィルム	第２種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・日射遮へいフィルム	第３種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1

品質　JIS A5759による

⑰ カーテンウォール工事

① メタルカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会ＪＡＳＳ14による。
カーテンウォール材料の種類 (17.2.2)

種　類	規格等
※アルミニウム製 ・	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による ・

カーテンウォール方式
⊙方立方式
・バックマリオン方式　（・単純２辺支持構法　・ＳＳＧ構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式　（・ノックダウン方式　・ユニット方式）
シーリング材及びガラス取付け材料
下表以外は標仕表9.6.1による (17.2.2)(9.6.2)(表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

構造ガスケット　※適用しない (17.2.2)
・適用する（施工箇所：　　）
断熱材　※適用しない (17.2.2)
・適用する（種類、厚さ、施工箇所は、図示による）
製品の寸法許容差　※標仕表17.2.1による (17.2.3)(表17.2.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による

アルミニウムの表面処理 (17.2.3)(表14.2.1)

種　別	色合い等
・A－１種　・B－１種	無着色
・A－２種　・B－２種	※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー　・
・着色塗膜　塗装材料（　　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク	

耐風圧性、耐震性、水密性、気密性、耐火性、耐温度差性、遮音性、断熱性等は図示による (17.1.3)

2 ＰＣカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会ＪＡＳＳ14による。
コンクリートの種類及び品質 (17.3.2)
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし下表以外は17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Ｆｃ）	所要スランプ（cm）

鉄筋　※ＳＤ２９５Ａ　・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質
下表以外はカーテンウォール製作所の仕様による (17.3.2)(14.2.3)(表14.2.2)

金物種類及び部位	内　部	外　部
ＰＣ版打込み金物	※E種	※Ａ種　・
ＰＣ版打込み取付けボルト	※E種	※ステンレスボルト
２次ファスナー	※E種	※Ａ種　・
取付けボルト	※E種	※Ａ種　・
レベル調整ボルト	※E種	※Ａ種　・
	・	・

シーリング材料
下表以外は標仕表9.6.1による (17.3.2)(9.6.2)(表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
カーテンウォール板間目地	

耐火目地材　※適用しない (17.3.2)
・適用する（種類、施工箇所は図示による。）
断熱材　※適用しない (17.3.2)
・適用する（種類、厚さ、施工箇所は図示による。）

製品の寸法許容差　※標仕表17.3.1による (17.3.3)(表17.3.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ　（　　）
耐風圧性、耐震性、水密性、気密性、耐火性、耐温度差性、遮音性、断熱性等は図示による (17.1.3)

⑱ 塗装工事

① 素地ごしらえ

せっこうボード及びその他のボード面の継ぎ目処理工法の場合 (18.2.7)(表18.2.7)
種別　※B種　・A種（施工箇所：　　）

② 仕上げ塗料塗り

※下表以外は、標仕（18.4～6,8～10）の種別による (18.4～18.6,18.8～18.10)

塗装名	種別	備考

③ 耐候性塗料塗り

適用範囲　外部鉄骨面 (18.7.4)(表18.7.3)
種別　・A種（旧記号2-FUE）　・B種（旧記号2-ASE）　・C種（旧記号2-UE）

4 マスチック塗材塗り

適用範囲（　　） (18.14.2)(表18.14.1)
種別　・A種　・B種

⑤ 耐火塗装

適用範囲　化粧柱鉄骨面
SKタイカコート1時間耐火（エスケー化研）同等品
参考塗膜厚　C31R:φ318.5×12.7　塗膜厚t=1.75mm
C21R:φ216.3×12.7　塗膜厚t=2.0mm
C14R:φ139.8×6.0　塗膜厚t=3.25mm
C11R:φ114.3×4.5　塗膜厚t=4.25mm　※1時間耐火認定塗膜厚とする。

⑲ 内装工事

① ビニル床シート張り

(19.2.2)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）	色　柄	備　考
※発泡層のないもの	※FS	※2.0	※無地　・マーブル柄	
⊙発泡層のないもの	⊙TS	⊙2.0	⊙柄物　・無地	

再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で 15%以上使用されていること。
（PFの場合を除く）
工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　） (19.2.3)

② ビニル床タイル張り

(19.2.2)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）	寸　法（mm）	備　考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）〔接着形〕	KT	・2.0 ※3.0	・300×300 ・450×450	
・複層ビニル床タイル（軟質）〔接着形〕	FT	※2.0 ・	・300×300 ・450×450	
・単層ビニル床タイル〔接着形〕	TT	※2.0 ・	・300×300 ・450×450	
・置敷きビニル床タイル〔置敷形〕	FDA	・ ・	・500×500 ・	

再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で 15%以上使用されていること。

3 帯電防止床材張り

(19.2.2)

種　類	厚さ（mm）	性　能
・コンポジションビニル床タイル	※２	体積抵抗値（JIS K6911による） 1.0X10^9　Ω以下、または、 漏洩抵抗値（JIS A1454による） 1.0X10^10　Ω未満
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は5.0	
・	・	
・	・	

④ 誘導用、注意喚起用床材

視覚障害者用タイル (19.2.2)

適用箇所	種　類	寸法（mm）	形　状
屋　内	⊙ステンレス表示鋲	※300×300	ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝは JIS T9251 による 色彩は黄色とする
	・磁器又はせっ器タイル	・	
屋　外	・コンクリート系 ・レジンコンクリート系	※300×300	
	⊙磁器又はせっ器タイル	※300×300	

⑤ ビニル幅木

高さ（mm）　※60　・75　・100 (19.2.2)

⑥ カーペット敷き

防炎性能は、消防法で定める防炎性能を有し、登録されているものとする。 (19.3.2)
・織じゅうたん (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.1)

種　別	織り方	パイル形状	帯電性	色　柄
・A種 ・B種 ・C種	・ｳｨﾙﾄｯｸｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙｽﾀｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	人体帯電圧 ※３kv以下 ・	※単一色（無地） ・柄物（標準品） ・

・タフテッドカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	帯電性
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	人体帯電圧 ※３kv以下 ・
・マルチレベルループ	※4～6　・		
・レベルループパイル	※4		
・カット、ループ併用	・		

⊙タイルカーペット (19.3.3)

種　別	パイル形状	施工箇所
※第一種	※ループパイル	事務室
・第二種	・カットパイル	

見切金物及び押さえ金物の材質、種類及び形状は、図示による。 (19.3.2)

7 合成樹脂塗り床

(19.4.2)(表19.4.1～表19.4.7)

種　別	仕上げの種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・防滑仕上げ

8 床用塗料塗り

材　質　ウレタン樹脂系塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ
塗布量　プライマー塗のうえ主剤２回塗りとし、総塗布量は 0.5kg/m2以上とする

⑨ 防塵用塗料塗り

材　質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤２回塗とし、総塗布量は 0.25kg/m2　以上とする。

⑩ フローリング張り

フローリング張りの品名、工法 (19.5.2～19.5.7)(表19.5.1～表19.5.4)

品　名	樹　種	工　法	種　別	仕上塗装等
※単層フローリング	※ｶﾊﾞｻﾞｸﾗ	※釘どめ工法		※塗装品 ・無塗装品
⊙複層フローリング	⊙ナラ	⊙釘どめ工法		⊙塗装品
・	・	・		・

※仕様は図示同等品による。

⑪ 畳敷き

畳の種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種（畳床の記号　・WR-2　） (19.6.2)(表19.6.1)

⑫ ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ（mm）　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ（mm）　⊙30（床暖房部分）　※80　・95

⑬ せっこうボードその他のボード張り

(19.7.2)(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
⊙硬質木毛セメント板	HW	・15　⊙20　・25
・普通木毛セメント板	NW	・15　・20　・25
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ	MDF	・
⊙パーティクルボード		・
⊙けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ２（無石綿）
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ（※9　・12　・　　） ・凹凸タイプ（※12　・15　・19　・　　）
・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）		※フラットタイプ 9（（個）不燃） ・凹凸タイプ（※12　・15）（（個）不燃）
⊙せっこうボード	GB-R	・9.5（⊙12.5(不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	・9.5(不燃)　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード	GB-S	・9.5　⊙12.5（（個）不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	※12.5（不燃）・15.0（不燃）・21.0（不燃）
⊙化粧せっこうボード	GB-D	・9.5(不燃)・12.5(不燃)幅440mm程度、専用下地付模様　※トラバーチン　⊙木征目　・木板目
・メラミン樹脂化粧板		JIS K6903による　厚さ1.2
・難燃合板		

再生ボードは、石膏ボードの適用範囲内とする。

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材　※適用する　・適用しない (19.7.2)(表9.6.1)

せっこうボードの目地工法等 (19.7.3)(表19.7.5)
目地工法の種類　⊙継目処理工法　・突付け工法　・目透し工法
エッジの種類　・テーパーエッジ　・ベベルエッジ　・スクェアエッジ

⑭ 吸音板張り

(表19.7.1)

種　類	記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード１号	RW-B	※25
※グラスウール吸音ボード２号32K	GW-B	※25

⑮ 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類						防火性能の級別	備　考
	紙製	繊維（織物）	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ（ﾋﾞﾆﾙ）		無機質製	その他		
							※不燃　・準不燃　・難燃	
							※不燃　・準不燃　・難燃	
							※不燃　・準不燃　・難燃	

⑰ 断熱材

断熱材は、原則として「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」における特定調達品目を使用する。 (19.9.2)(19.9.3)

種　類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
⊙押出法ポリスチレンフォーム保温板	※２種ｂ ・３種ｂ（ｽｷﾝ層付）	※一般部 ・接地部分 ・	※50 ※50 ・	難燃性※３級　・２級
		※断熱材補修部分	——	
⊙現場発泡断熱材		⊙基礎立上り及びﾃﾞｯｷｽﾗﾌﾞ屋根面	※30 ・	

※屋根・外壁ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材　t=30

⑳ ユニット及びその他工事

① フリーアクセスフロア鋼製床下地

※組床式二重床システム (20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高（mm）	許容水平力	耐荷重性能注（１）	表面仕上げ材注（２）
事務所	⊙パネル構法 ・溝構法	150	・1.0G ⊙0.6G	⊙3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ⊙タイルカーペット
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット

注 １．耐荷重性能(5,000Ｎ)については、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものは同等のものとする。

注 ２．表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による

スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様（ただし、構成材は共仕による）　・図示

コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様　（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数　※10～15m に１箇所程度

配線取出しパネル　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※20～30%
※配線取り出し開口：　40mm×80mm　程度の開口

空調用吹き出しパネル　※無し　・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

② 可動間仕切

構造形式、構成基材、パネル表面仕上げ、パネル内建具形状については、建具表による。(20.2.3)

遮音性能（JISによる記号）
・0　・12　・20　・28　・36

③ 移動間仕切

操作方法、パネル表面材及び仕上げ、厚さについては、建具表による。 (20.2.4)

遮音性能　⊙一般タイプ
⊙遮音タイプ（JIS A 1416による試験方法において、中心周波数500Hzの音の透過損失が36dB以上の性能を有するものとする。）

パネル圧接装置操作方法　※製造所標準仕様

④ トイレブース

パネル表面材、金物（脚部、ドアエッジ、笠木形状）については、建具表による。 (20.2.5)

⑤ 階段滑止め

材　種　ステンレスSUS304 (20.2.6)
形　状　ピニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り（※ビニル製　・ステンレス製）　・無し
幅（mm）　約35
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法
※図示による

6 階段手すり

種　別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ（市販品　径　約45mm、又は　約60mm）	
・ビニル製手すり（幅　約40mm）	

※図示による

7 黒板及び ホワイトボード (20.2.8)

種　類		寸法（mm）	備　考
・黒板	※焼付け		※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分
・ホワイトボード	※ほうろう		※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分

⑧ 表示

⊙衝突防止表示　※図示による　・SUS製　径30mm (20.2.10)
・法令に基づく表示（非常用進入口等）　※市販品による
⊙室名札、ピクトグラフ、案内板等　※図示による

9 煙突ライニング

適用安全使用温度　※400℃　・650℃ (20.2.11)

⑩ ブラインド (20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※横型	※ギア式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25
・縦型	・１本操作コード ※２本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

⑪ ブラインドボックス及びカーテンボックス

※市販品（アルミニウム製　押出し型材）　⊙図示

使用区分	溝幅×深さ（mm）
・横形ブラインド	※　120×150　・90×150　・
・縦形ブラインド	※　120×80　・150×80　・
・カーテン（又はレース共）	※　150×80　・180×80　・
・カーテン＋横形ブラインド	※　180×150

色彩　・Ｂ－１　・Ｂ－２（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

⑫ ロールスクリーン (20.2.13)

操作方法	スクリーンの種類	品質等
・プルコード式（ストッパー付）	・無地	
・ワンタッチチェーン式	・柄物	
⊙チェーン式	・遮光タイプ	
⊙電動式	・	

⑬ カーテンレール

以下の事項は、図示による。 (20.2.14)
・施工箇所、形式、開閉操作方式
・きれ地の種別、品質、特殊加工等 (表20.2.1)
・ひだの種類

⑭ ピクチャーレール

レール　材　質　アルミニウム製（シルバー）
形　式　先付け天井埋込型（見切縁兼用）
ランナー　材　質　本体：真鍮性　フック：ステンレス製（可動式）
耐荷重　25kg程度/個
個　数　2個/レール1m

⑮ 天井点検口

目地形状	適用箇所	寸法（mm）
額縁タイプ	下記以外全て	※　450×450
目地タイプ	※図示 ・天井仕上げ材がＤＲの範囲	・　600×600 ・

⑯ 床点検口

本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法（mm）
※　アルミ製	※ｱﾙﾐ　・　ステンレス　・　黄銅	下記以外全て	※　700×700
⊙　ステンレス製			・

⑰ 収納家具、書架・物品棚

	主要構造部材の材料	備　考（品　質）
・収納家具	・鋼製 ・木製	JIS S1033（ｵﾌｨｽ用収納家具）による
・書架 ・物品棚	・鋼製 ・	JIS S 1039（書架物品棚）による種類 書架　（・ 1種　・ 2種　・ 3種） 物品棚（・ 5種　・ 6種　・ 7種）
・移動式 書架・物品棚	・ 図示 ・	

形状、寸法は図示による

⑱ くつふきマット

材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）
・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも）
⊙ステンレス製（受枠とも）

⑲ 流し台ユニット

種　類	寸法（Ｌ＝　mm）	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200　・1500　・1800	トラップ付き	※優良住宅部品（ｾｸｼｮﾅﾙﾏｰｸﾌﾞﾛｰﾄﾞ Ⅰ 型）
・コンロ台	※600　・700	ﾊﾞｰﾅｳﾀﾞｰﾄﾞ　※有り	
・つり戸棚	※1200　・900　・600		・
・水切り棚	※1200　・900	ｽﾃﾝﾚｽ製　※１段式	※市販品

20 屋内掲示板

枠の材質　※木製
表面の材質　※掲示板用クロス貼

㉑ 洗面カウンター

材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石（仕様は図示）
奥行き（mm）　・約450　・約600
※図示による

㉒ 防煙垂れ壁

・固定式

材　質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備　考
※網入り磨板ガラス ⊙不燃シート	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ（mm）	備　考
⊙垂直降下式（巻取り型）	不燃シート（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）
品質、規格　（財）日本建築センターの防災性能評定品
※図示による

23 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し

目　地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※20×10	※20×10

24 止水板

形　状　・差込式　・据置式　・壁張り式
施行箇所　※図示

25 敷地境界石標

※コンクリートブロック製の市販品程度　・かこう岩（文字記号等入り）

26 旗竿

材　質　※アルミニウム合金製
形　式　※テーパー型　・同一断面型
地上高さ（m）　・6　・8　・10　・12
操作方法　※ハンドル式　・ロープ式
固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式
受金物　材　種　ステンレス製SUS304

㉗ フェンス

・耐雪型　・一般型　※図示
・ビニル被覆エキスパンドフェンス　・樹脂塗装メッシュフェンス　・鋼管フェンス

28 屋外掲示板

照明器具（ ※有り　・無し ）　施錠（ ※有り　・無し ）

29 車止め支柱

・ステンレス製（上下式鎖内蔵型、反射テープ付き、φ114.3mm、 t2.5mm、 H=GL＋700mm）
※スプリング付　・スプリング無し
・図示

㉚ 消火器BOX

⊙スチール焼付塗装　UFB-1F-2204HZB-PWH(参考品番)　専用ﾌﾞﾗｹｯﾄ付　7箇所

㉛ 電動バトン

⊙バトンパイプ　SUS303φ42.7 t1.5　L=4.200
最大ストローク　5.000
モーター　出力100W　単相100V
ボックス　5.000×300mm　スチール曲げ加工SOP塗り
バトン用吊下金具3個セット付き

㉑ 排水工事

① 排水管

排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)

材　種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※１種　・２種）	B形（ゴム接合）
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	※ＶＰ　・ＶＵ　・RS-VU	接着接合

② 排水枡及びふた

(21.2.2)

種　類		適用荷重
・水封形	・密閉形（テーパー・パッキン式）	・Ｔ－　２用
・簡易密閉形（パッキン式）	・中ふた付密閉形	・Ｔ－　６用 ・Ｔ－２０用

グレーチングふた (21.2.2)

材　質	形　式	種　類	適用荷重	ﾒｯﾊﾟｰﾋﾟｯﾁ	上面形状
・鋼製 ・ステンレス製	※受枠付き ・ ボルト固定 ※無し ・図示	・溝ふた用 ・桝ふた用 ・かさ上げ用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・Ｔ－　２用 ・Ｔ－　６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用	※細目 ※普通目 ・細目	※平形 ※凹凸形

㉒ 舗装工事

① 盛土に用いる材料

・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土 (22.2.3)(表3.2.1)

② 路床の構成

遮断層の適用　※なし　・あり（厚さ　mm） (22.2.2)(22.2.3)
凍上抑制層の適用　※なし　・あり（※再生砕石　・砕石　・切込み砂利）
路床安定処理の適用　※なし　・あり（※添加材による安定処理　・　）
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメント8種 (表22.2.2)
・高炉セメントB種　・生石灰（　）　・消石灰（　）
添加量　kg/m3（目標CBR　※5　・　）
・ジオテキスタイルによる安定処理　・行う　・行わない
ジオテキスタイルの品質
単位面積質量　60g/m2以上
厚さ（mm）　0.5～1.0
引張り強さ　98N/5cm（10kgf/5cm）以上
透水計数　1.5x10^-1　cm/sec以上

3 路床試験

・路床土の支持力比試験　※行う（※乱した土　・乱さない土）　・行わない (22.2.5)
・路床締固め度の試験　※行う　・行わない
・砂の粒度試験　※行う　・行わない

④ 路盤

材料　※再生クラッシャラン（ＲＣ－４０） (22.3.3)(表22.3.3)
・クラッシャラン鉄鋼スラグ（ＣＳ－４０）
厚さ　※図示による (22.3.2)(表22.3.1)
路盤の締め固め度試験　※行う　・行わない (22.3.5)

9 アスファルト舗装

・アスファルト舗装（表層及び基層の厚さは図示による） (22.4.2)(表22.4.1)
・カラー舗装（表層及び基層の厚さは図示による） (22.6.2)(表22.6.1)

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※加熱系	※無し　・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・常温系	※無し　・有り	・

・透水性アスファルト舗装（表層及び基層の厚さは図示による） (22.7.2)(表22.7.1)
・排水性アスファルト舗装（表層及び基層の厚さは図示による） (22.8.2)(表22.8.1)

材料　※再生アスファルト　・ストレートアスファルト (22.4.3)
配合（加熱アスファルト混合物の種類） (22.4.4)(表22.4.6)

区分	・一般地域	※寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（20）	

カラー舗装の着色骨材　・有色骨材（焼成）　・着色骨材（樹脂被覆） (22.6.3)

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　） (22.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.4.6)(22.6.6)(22.7.6)(22.8.6)

⑩ コンクリート舗装

舗装の厚さ（　mm） (22.5.2)(表22.5.1)
早強セメント　※使用しない　・使用する (22.5.3)
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3)
コンクリートのコア採取による試験　※行わない　・行う (22.5.6)

11 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 (22.9.2)(22.9.3)

種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材	表面加工
※普通平板（Ｎ） ・透水平板（Ｐ）	※300角 ・	※60	※砂 ・モルタル	・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

⊙インターロッキングブロック舗装 (22.9.2)(22.9.3)

種　類	曲げ強度	厚さ（mm）	表面加工及び色彩等
※普通タイプ ・誘導、注意喚起用タイプ	5MPa以上	車道部　※80　・ 歩道部　※60　・	※標準タイプ ・表面化粧タイプ 誘導、注意喚起用は黄色とする
・透水性タイプ	3MPa以上		
・植生タイプ	4MPa以上	※100　・80	

・舗石舗装 (22.9.2)(22.9.3)

種　類	厚さ（mm）	施工方法	基　層
※小舗石（花こう岩） ・	※80～100　・ ・	※うろこ張り ・	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装

12 区画線

路面表示用塗料

規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法（mm）	色彩
JIS K5665	・１種	常温	液状	幅　※150	※白
	・２種	加熱			・黄
	※３種１号	溶融	粉体状	厚さ　※1.0	

揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。

13 街きょ、縁石及び側溝

形状、寸法等は図示による (22.10.2)(表22.10.1)

23 植栽工事

1 植栽地の確認

・土壌の水素濃度試験(pH)　・行う　・行わない (23.1.3)
・水溶性塩類（EC）の試験　・行う　・行わない

2 樹木の植栽基盤整備

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。 (23.2.2)(表23.2.1)(表23.2.2)
暗渠、開渠、排水層、竪穴排水等の設置　※なし　・あり（位置及び工法は、図示による）

3 植込み用土

※現場発生土の良質土　⊙客土（※畑土　・黒土） (23.2.3)

4 土壌改良材

※適用する　（施工箇所　※　植栽範囲　・図示） (23.2.3～4)

	・バークたい肥	・発酵下水汚泥コンポスト（注１）
有機物の含有量（乾物）	：70%以上	35%以上
炭素窒素比（Ｃ/Ｎ比）	：30未満	20以下
陽イオン交換容量（乾物）	：70meq/100g以上	
ｐＨ	：5.5～7.5	8.5以下
水分	：55～65%	50%以下
幼植物試験の結果	：育成阻害その他の異常が認められない	
窒素全量（現物）	：0.5%以上	0.8%以上
りん酸全量（現物）	：0.2%以下	1.0%以上
加里全量（現物）	：0.1%以上	
アルカリ分（現物）		15%以下

注１）「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

5 屋上緑化

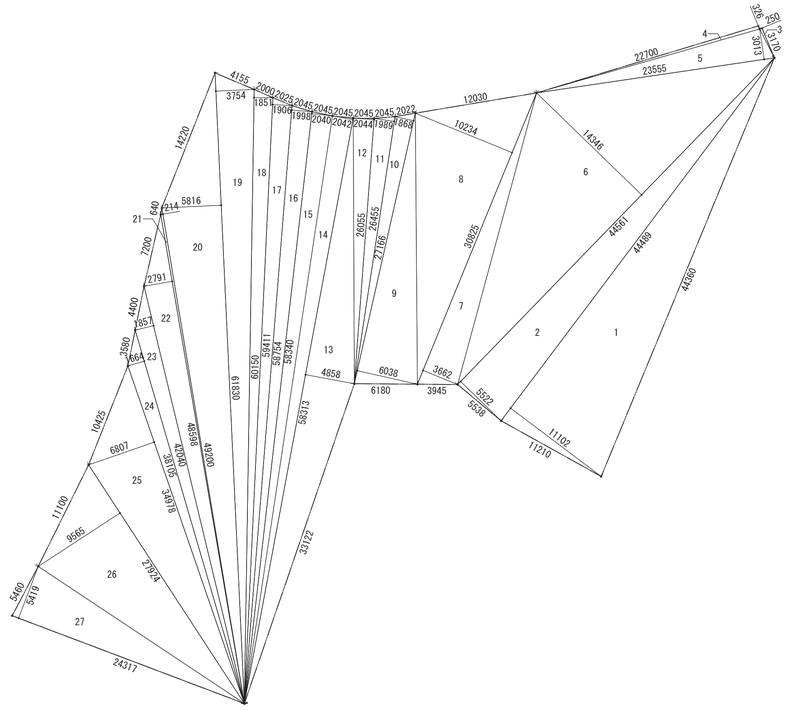
植栽基盤及び材料 (23.5.2)(23.5.3)

	土壌層の厚さ	保水・排水層	植込み用土	樹木、芝、地被類の種類、寸法、数量等
・屋上緑化システム	※図示	・軽量骨材（層厚：　） ・板状成型品	※改良土 ・人工軽量土	※図示
・屋上緑化軽量システム	※製作所仕様による			

支柱　・設置する（種類　・図示　・　）
かん水装置　・設置する（工事区分は図示による） (23.5.4)

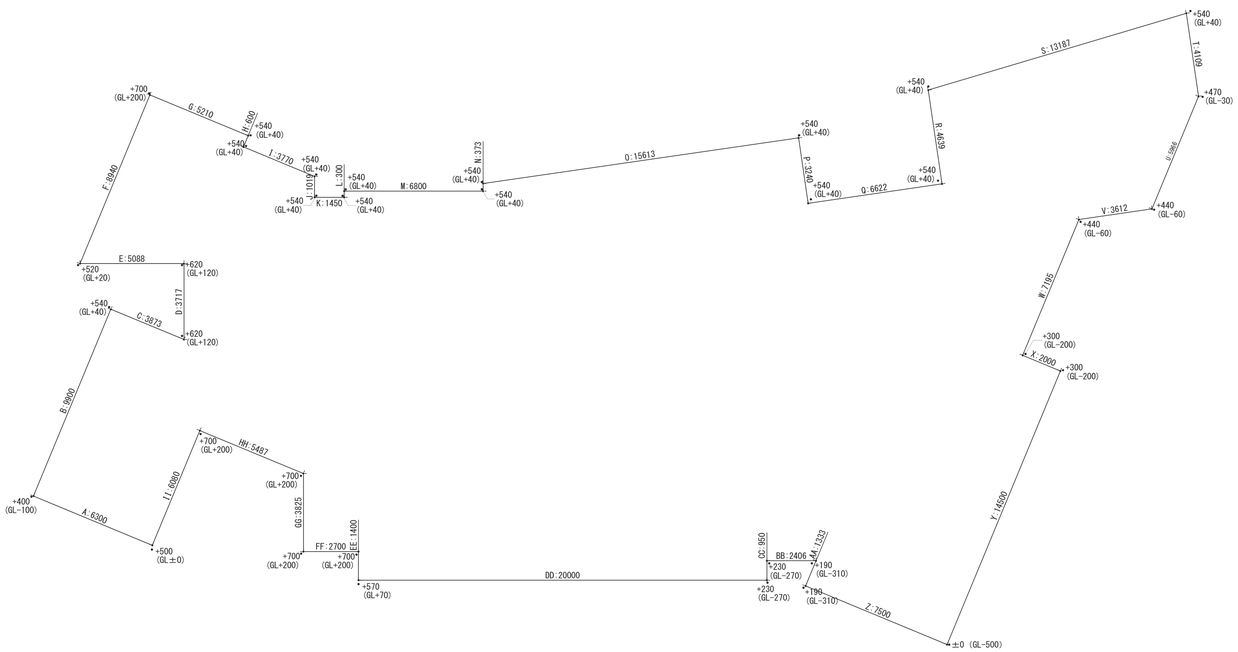
付近見取図　1/5000

敷地求積図　1/150



No	底辺	高さ	倍面積
1	44.489	11.102	493.917
2	44.561	5.522	246.066
3	3.170	0.250	0.793
4	22.700	0.326	7.400
5	23.555	3.013	70.971
6	44.561	14.346	639.272
7	30.825	3.662	112.881
8	30.825	10.234	315.463
9	27.166	6.038	164.028
10	27.166	1.868	50.746
11	26.455	1.989	52.619
12	26.055	2.044	53.256
13	58.313	4.858	283.285
14	58.313	2.042	119.075
15	58.340	2.040	119.014
16	58.754	1.998	117.390
17	59.411	1.906	113.237
18	60.150	1.851	111.338
19	61.830	3.754	232.110
20	61.830	5.816	359.603
21	49.200	0.214	10.529
22	48.598	2.791	135.637
23	42.040	1.857	78.068
24	38.105	1.664	63.407
25	34.978	6.807	238.095
26	27.924	9.565	267.093
27	24.317	5.419	131.774
		計	4587.068
		敷地面積	2293.534

平均地盤算定図　1/150

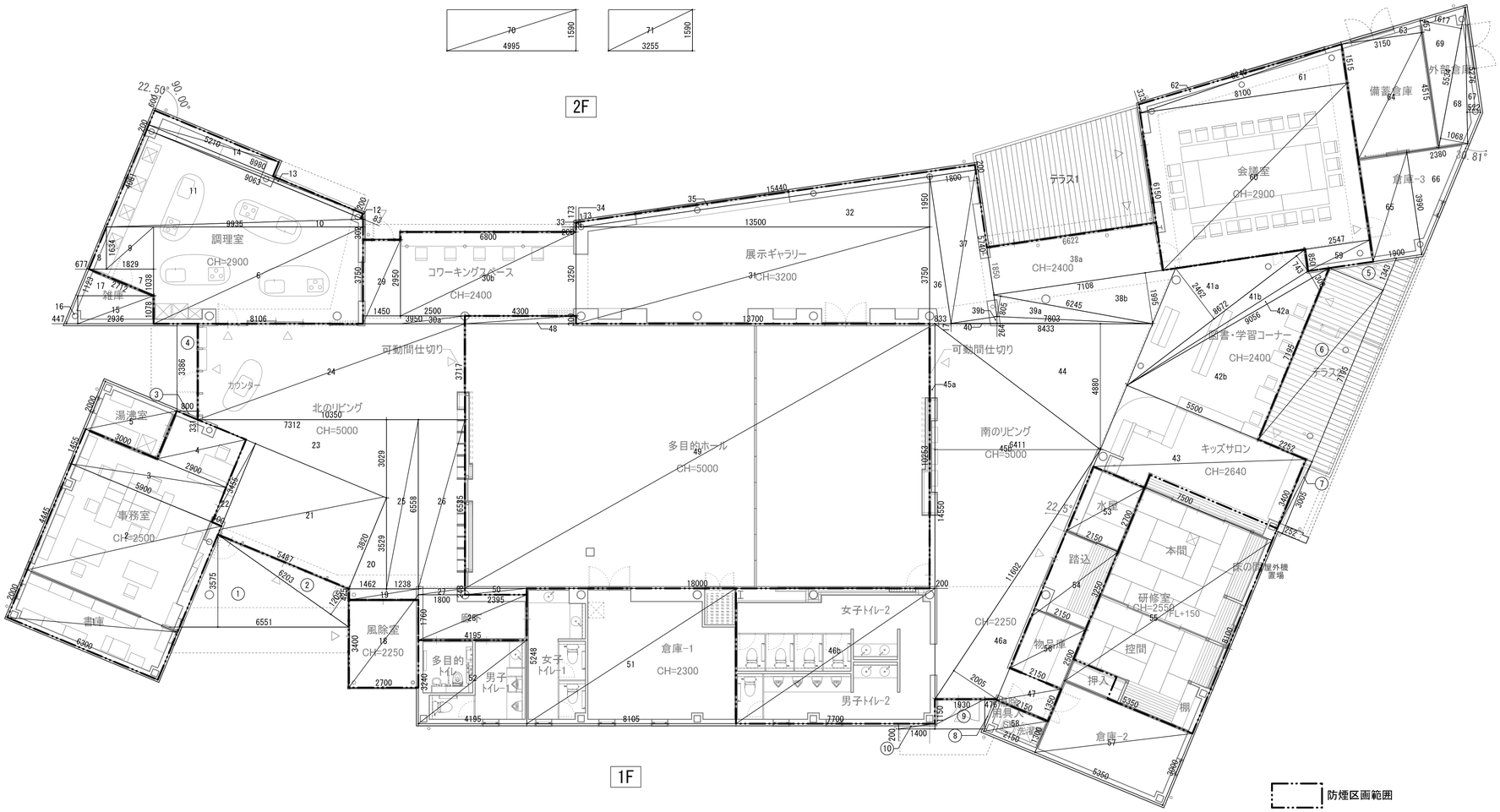


記号	L（m）	H1(m)	H2(m)	面積（㎡）	記号	L（m）	H1(m)	H2(m)	面積（㎡）
A	6.300	0.500	0.400	2.835	S	13.187	0.540	0.540	7.121
B	9.900	0.400	0.540	4.653	T	4.109	0.540	0.470	2.075
C	3.873	0.540	0.620	2.246	U	5.966	0.470	0.440	2.715
D	3.717	0.620	0.620	2.305	V	3.612	0.440	0.440	1.589
E	5.088	0.620	0.520	2.900	W	7.195	0.440	0.300	2.662
F	8.940	0.520	0.700	5.453	X	2.000	0.300	0.300	0.600
G	5.210	0.700	0.540	3.230	Y	14.500	0.300	0.000	2.175
H	0.600	0.540	0.540	0.324	Z	7.500	0.000	0.190	0.713
I	3.770	0.540	0.540	2.036	AA	1.333	0.190	0.190	0.253
J	1.019	0.540	0.540	0.550	BB	2.406	0.190	0.230	0.505
K	1.450	0.540	0.540	0.783	CC	0.950	0.230	0.230	0.219
L	0.300	0.540	0.540	0.162	DD	20.000	0.230	0.570	8.000
M	6.800	0.540	0.540	3.672	EE	1.400	0.570	0.700	0.889
N	0.373	0.540	0.540	0.201	FF	2.700	0.700	0.700	1.890
O	15.613	0.540	0.540	8.431	GG	3.825	0.700	0.700	2.678
P	3.240	0.540	0.540	1.750	HH	5.487	0.700	0.700	3.841
Q	6.622	0.540	0.540	3.576	II	6.080	0.700	0.500	3.648
R	4.639	0.540	0.540	2.505					
					小計	189.704			89.185
							㎡/L		0.470
							平均地盤面	GL-500+470＝	GL-30

有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

図面名称	付近見取図・敷地求積図・平均地盤算定図	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高	A－06
Scale	(A1版)：1:5000 1:150 (A3版)：1:10000 1:300	Date	2022.03	



室名	No.	W	D	1/2	面積
書庫	1	6.300	2.000		12.600
事務室	2	6.300	4.445		28.004
	3	5.900	1.445		8.526
	4	2.900	2.000		5.800
					42.329
湯沸室	5	3.000	2.000		6.000
調理室	6	8.106	3.750		30.398
	7	1.038	2.506	0.500	1.301
	8	0.677	1.634	0.500	0.553
	9	1.829	1.634		2.989
	10	9.935	0.302	0.500	1.500
	11	4.081	9.063	0.500	18.493
	12	0.083	0.200	0.500	0.008
	13	0.200	8.980		1.796
	14	0.600	5.210		3.126
					60.163
雑庫	15	2.936	1.078		3.165
	16	0.447	1.078	0.500	0.241
	17	1.123	2.712	0.500	1.523
					4.929
風除室	18	2.700	3.400		9.180

室名	No.	W	D	1/2	面積
北のリビング	19	2.700	0.425		1.148
廊下	20	1.462	3.529	0.500	2.580
ｺﾜｰｷﾝｸﾞｽﾍﾟｰｽ	21	5.487	3.820		20.960
展示ギャラリー	22	0.400	3.455		1.382
図書コーナー	23	3.029	7.312	0.500	11.074
キッズサロン	24	10.350	3.717		38.471
南のリビング	25	1.238	6.558		8.119
男女トイレ-2	26	1.800	6.535		11.763
	27	1.800	0.248		0.446
	28	4.195	1.760		7.383
	29	1.450	2.950		4.278
	30a	3.950	0.300		1.185
	30b	6.800	3.250		22.100
	31	13.700	3.750		51.375
	32	13.500	1.950	0.500	13.163
	33	0.2	0.173	0.500	0.017
	34	0.173	0.2	0.500	0.017
	35	15.440	0.200		3.088
	36	0.833	5.700	0.500	2.374
	37	1.800	5.740		10.332
	38a	6.622	1.85		12.251
	38b	7.108	1.995	0.500	7.090
	39a	6.245	0.805	0.500	2.514
	39b	7.803	0.264	0.500	1.030
	40	0.017	7.803	0.500	0.066
	41a	8.672	2.462	0.500	10.675
	41b	8.672	0.743	0.500	3.222
	42a	9.056	0.308	0.500	1.395
	42b	5.500	7.195	0.500	19.786
	43	7.500	3.400		25.500
	44	8.433	4.880	0.500	20.577
	45a	0.200	10.253		2.051
	45b	14.550	6.411	0.500	46.640
	46a	11.602	2.005	0.500	11.631
	46b	7.700	5.248		40.410
	47	2.150	1.350		2.903
					418.993

室名	No.	W	D	1/2	面積
多目的ホール	48	4.300	0.300		1.290
	49	18.000	10.253		184.554
	50	2.395	0.248		0.594
					186.438
男女トイレ-1	51	8.105	5.248		42.535
多目的トイレ	52	4.195	3.240		13.592
倉庫-1					56.127
水屋	53	2.150	2.700		5.805
踏込	54	2.150	3.250		6.988
本間、控間	55	5.350	8.100		43.335
					56.128
物品庫	56	2.150	2.500		5.375
倉庫-2	57	5.350	3.000		16.050
掃除用具入れ	58	2.150	1.300		2.795
会議室	59	0.85	2.547		2.165
	60	8.1	6.15		49.815
	61	8.1	1.515	0.500	6.136
	62	8.24	0.333	0.500	1.372
					59.488
備蓋倉庫	63	3.15	0.457	0.500	0.72
	64	3.15	4.515		14.222
					14.942
倉庫-3	65	1.9	3.99		7.581
	66	2.38	3.99	0.500	4.748
					12.329

室名	No.	W	D	1/2	面積
外部倉庫	67	5.276	0.522	0.5	1.377
	68	5.534	1.068	0.5	2.955
	69	5.534	1.617	0.5	4.474
					8.806
機械室	70	4.995	1.59		7.942
機械室	71	3.255	1.59		5.175
①		6.551	3.575	0.500	11.710
②		6.203	1.205	0.500	3.737
③		0.331	0.800	0.500	0.132
④		0.800	3.386	0.500	1.354
⑤		1.343	2.252	0.500	1.512
⑥		7.195	2.252		16.203
⑦		3.005	0.252		0.757
⑧		0.476	1.150	0.500	0.274
⑨		1.930	1.150		2.220
⑩		1.400	0.200		0.280
					38.180

設計概要書

工事名称	工事名称	（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事
	建設地	富山県魚津市友道地内
	主要用途	集会場
	工事種別	新築
敷地状況	用途地域	第一種住居地域
	防火地域	指定なし
構造・規模	構造	鉄骨造
	階数	平屋建

外部仕上表

場所	部位	仕上	下地
A	屋根-1	ｶﾗｰSGL鋼板　立平張ｔ=0.4 下地：改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ ｔ=1.0 野地板：高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板ｔ=20 断熱材：ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材ｔ=30	垂木 C-100×50×2.3
B	屋根-2	改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水（AS-T3）	ﾃﾞｯｷｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ押ｴ
C	外壁-1	ｶﾗｰSGL鋼板　立平張ｔ=0.4 断熱材：ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材ｔ=30 下地：透湿防水ｼｰﾄ+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ｔ=12.5 ロックウール吹付 t=25	胴縁C-100×50×2.3 (屋内　石膏ﾎﾞｰﾄﾞｔ=12.5)
D	巾木	モルタル刷毛引き	コンクリート打放し補修
E	笠木	アルミ製W=400	捨笠木
F	軒樋	箱樋：鋼板防水 箱樋笠木：ｶﾗｰSGL鋼板曲加工ｔ=0.6	木毛ｾﾒﾝﾄ板ｔ=20
G	鼻隠	ｶﾗｰSGL鋼板曲加工ｔ=0.4	木毛ｾﾒﾝﾄ板ｔ=20
H	水切	ｶﾗｰSGL鋼板曲加工ｔ=0.4	
I	竪樋-1	ｱﾙﾐ製90φﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ	
J	竪樋-2	ｶﾗｰVP75	
K	庇	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙｔ=2.0　曲げ加工 (EV200F(理研軽金属)同等品)	
L	軒裏	ｹｲｶﾙ板ｔ=6.0　EP塗装	LGS25
M	外部柱	耐火塗装	
N	ﾃﾗｽ 階段手摺	スチールFB加工　手摺子@900内外 溶融亜鉛メッキ	
O	ｻｯｼ上ﾏｸﾞｻ	アルミミスパンドレル　フィン型 (RA-13-1(理研軽金属)同等品)	胴縁C-100×50×2.3
P	外壁-2	外壁薄塗材Ｅ砂壁状 下地：透湿防水ｼｰﾄ+PB12.5+ｹｲｶﾙ板t=8.0	胴縁C-100×50×2.3
Q	ﾃﾗｽ-1	磁器質ﾀｲﾙ張り 300×300	
R	ﾃﾗｽ-2	磁器質ﾀｲﾙ張り 300×600	
S	玄関ﾎﾟｰﾁ	磁器質ﾀｲﾙ張り 300×300	

耐火材料認定番号リスト

部位	材料種別	認定番号
柱・梁	ロックウール吹付 t=25	1時間耐火　FP060BM-9408(梁)　FP060CN-9460(柱)
化粧柱	耐火塗装	1時間耐火　FP060CN-9472
外壁(非耐力)	ロックウール吹付 t=25	30分耐火　FP030NE-9304　FP060NE-9305(延焼部分)
屋根	高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板複合板 t=20	30分耐火　FP030RF-0052
屋根・床	デッキ合成スラブ	1時間耐火　FP060FL-0100

防火材料認定番号リスト

材料種別	認定番号	
石膏ボードｔ=12.5	不燃	NM-8619
石膏ボードｔ=9.5	不燃	NM-8619
耐水石膏ボードｔ=12.5	不燃	NM-9639
化粧石膏ボードｔ=9.5	不燃	NM-1864
化粧石膏ボードｔ=9.5	準不燃	QM-0524
不燃クロス	不燃	NM-2216
準不燃クロス	準不燃	QM-9410
ケイ酸カルシウム板t=6.0	不燃	NM-8578
化粧ケイカル板t=6.0	不燃	NM-9063
岩綿吸音板t=9	不燃	NM-8599
EP塗装	不燃	NM-8585

内部仕上表

部位	床											巾木					壁													天井								廻縁		使用材料参考品番リスト		
区分	仕上げ										下地	仕上げ					仕上げ								下地				仕上げ						下地		仕上げ				
記号	F-1	F-2	F-3	F-4	F-5	F-6	F-7	F-8	F-9	F-10		B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5	W-6	W-7	W-8					C-1	C-2	C-3	C-4	C-5	C-6			M-1	M-2	記号	名称	品番　メーカー
名称	単層ビニル床シートｔ=2.0	長尺弾性塩ビシートｔ=6.0	複層ビニル床シートｔ=2.0	磁器質タイル貼り300×300	防塵塗料塗り	タイルカーペットｔ=6.5	畳敷ｔ=55	縁甲板張り	単層ビニル床タイルｔ=3.0	複合フローリング張りｔ=15.0	コンクリート直押え	ソフト巾木	磁器質タイル貼り	タタミ寄せ	コンクリート打放し　EP塗装	木製巾木	クロス貼り	化粧ケイカル板ｔ=6.0	有孔ケイカル木製桟木張り ｔ=8.0	グラスウールボード ガラスクロス張り ｔ=25	カラーSGL鋼板立平張りｔ=0.4	EP塗装	内装薄塗材E	化粧シート張り	石膏ボードｔ=12.5+9.5二重張り	石膏ボードｔ=12.5	LGS65@303	LGS100@303	岩綿吸音板ｔ=9	化粧石膏ボードｔ=9.5	クロス貼り	アルミルーバー天井	EP塗装	グラスウールボード ガラスクロス張り ｔ=25	石膏ボードｔ=9.5	LGS19	塩ビ製	木製	F-1	単層ビニル床シート	メディントーン（サンゲツ）同等品
	TS		FS						KT			60					AA級														AA級								F-2	長尺弾性塩ビシート	タラフレックスRecreation60（クリヤマ）同等品
																																							F-9	単層ビニル床タイル	ドルチェ（タジマ）目地施工　同等品
																																							F-10	複合フローリング	ユカフィットt=15　巾90　ナラ（DAIKEN）同等品
																																							W-7	化粧シート張り	ベルビアン（タキロン）
																																							W-8	内装薄塗材E	ジョリパッド　エンシェントブリック（アイカ）
																																							C-4	アルミルーバー	インターラインS3015K @360　同等品 日塗工塗装（ABC商会）

階	室名	F-1	F-2	F-3	F-4	F-5	F-6	F-7	F-8	F-9	F-10	コンクリート直押え	乾式二重床	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5	W-6	W-7	W-8	石膏ボードｔ=12.5+9.5二重張り	石膏ボードｔ=12.5	LGS65@303	LGS100@303	C-1	C-2	C-3	C-4	C-5	C-6	石膏ボードｔ=9.5	LGS19	M-1	M-2	室名	天井高	備考・家具他(参考品番)
1階	風除室				○							○					○						○				○		○						○		○	○	○		風除室	2250	SUS靴拭きマット　900×1500
	事務室						○			OAフロア		○							○								○		○		○						○	○	○		事務室	2500	
	書庫			○								○		○					○									○	○			○						○	○		書庫	2500	
	湯沸室			○								○		○					○									○	○			○						○	○		湯沸室	2500	調理台、食器棚
	北のリビング									○		○					○	○					○	○			○		○		○					○		○	○	○		北のリビング	5000	カフェカウンター、消火器
	調理室	○										○		○					○								○		○		○							○	○	○		調理室	2900	電子レンジ調理台、吊戸棚、食器棚、調理実習台、消火器
	雑庫			○								○		○					○									○	○			○						○	○		雑庫	2900	
	多目的ホール		○									○					○				○			○		○					○	○			○	○	○	○	○		多目的ホール	5000	電動バトンL=5,000、ステージ幕
	格納庫			○								○		○					○									○	○			○						○	○		格納庫	5000	
	ｺﾜｰｷﾝｸﾞｽﾍﾟｰｽ	○										○		○			○						○	○			○		○		○						○	○	○		ｺﾜｰｷﾝｸﾞｽﾍﾟｰｽ	2400	
	展示ｷﾞｬﾗﾘｰ	○										○		○					○								○		○		○						○	○	○		展示ｷﾞｬﾗﾘｰ	3200	ニッチ棚板、消火器
	図書・学習ｺｰﾅｰ	○										○		○					○					○			○		○		○						○	○	○		図書・学習ｺｰﾅｰ	2400	独立型両面低書架、独立型両面高書架
	南のリビング	○										○		○			○	○					○	○	○		○		○		○					○		○	○	○		南のリビング	5000	
	会議室	○										○		○					○								○		○		○							○	○	○		会議室	2900	本棚、消火器
	キッズサロン																														○							○	○	○		キッズサロン	2640	本棚、木製ベンチ、木製手洗いカウンター、床暖房
	男子トイレ-1	○										○		○						○								○	○						○		○	○	○		男子トイレ-1	2300	手洗いカウンター、汚垂石、鏡1.0×1.0
	女子トイレ-1	○										○		○						○								○	○						○		○	○	○		女子トイレ-1	2300	手洗いカウンター、鏡貼り1.2×1.2、鏡貼り1.0×1.0
	多目的トイレ	○										○		○						○								○	○						○		○	○	○		多目的トイレ	2300	
	トイレ踏込-1	○										○		○									○	○				○	○						○		○	○	○		トイレ踏込1	2300	
	男子トイレ-2	○										○		○						○								○	○						○		○	○	○		男子トイレ-2	2300	手洗いカウンター、汚垂石、鏡貼り1.0×1.6
	女子トイレ-2	○										○		○						○								○	○						○		○	○	○		女子トイレ-2	2300	手洗いカウンター、鏡貼り1.0×1.6
	トイレ踏込-2	○										○		○						○								○	○						○		○	○	○		トイレ踏込-2	2300	
	研修室																																								研修室	2550	木工事：化粧ばり造作用集成材　スギ柾目
	本間							○	○			○	○			○			○									○	○					竿縁天井		○	○		○	本間	2550	炉壇（電気式）
	控間							○	○			○	○			○			○									○	○					竿縁天井		○	○		○	控間	2550	
	水屋							○	○			○	○			○			○									○	○					○		○	○		○	水屋	2550	
	押入											○	○						○									○	○					○		○	○	○		押入	2550	
	床の間											○	○						○									○	○					○		○	○		○	床の間	2550	床框：呂色面皮
	踏込	○							○			○	○					○	○									○	○					○		○	○		○	踏込	2550	シューズ棚
	物品庫			○								○		○					○								○		○			○						○	○		物品庫	2550	
	倉庫-1			○								○		○					○								○		○			○						○	○		倉庫-1	2300	
	倉庫-2			○								○		○					○								○		○			○						○	○		倉庫-2	2500	
	倉庫-3			○								○		○					○								○		○			○						○	○		倉庫-3	2900	
	外部倉庫					○						○		○										○			○		○			○						○	○		外部倉庫	2900	
	備蓄倉庫					○						○		○										○			○		○			○						○	○		備蓄倉庫	2900	
	掃除用具入			○								○		○					○									○	○			○					○	○	○		掃除用具入	2500	掃除用流し
	機械室					○						○										○					○									○	○				機械室	2500	

・内装仕上げの部分については、全てシックハウス規制の対象外の建築材料を使用する。

下地材料記号リスト

RC	コンクリート	TC12	耐水合板ｔ=12
MO	モルタル	TC9	耐水合板ｔ=9
PB12	石膏ボードｔ=12.5	L7	ラスボードｔ=7
PB9	石膏ボードｔ=9.5	TPB12	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ｔ=12.5
KPB21	強化石膏ボードｔ=21		

塗装記号リスト

EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ	SOP	合成樹脂ﾍﾟｲﾝﾄ
AEP	ｱｸﾘﾙ樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ	OP	油性調合ﾍﾟｲﾝﾄ
OS	ｵｲﾙｽﾃｲﾝﾜﾆｽ	VP	塩化ﾋﾞﾆｰﾙ樹脂ﾍﾟｲﾝﾄ
WP	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾍﾟｲﾝﾄ	CL	ｸﾘｱﾗｯｶｰ
PWP	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂ﾍﾟｲﾝﾄ		

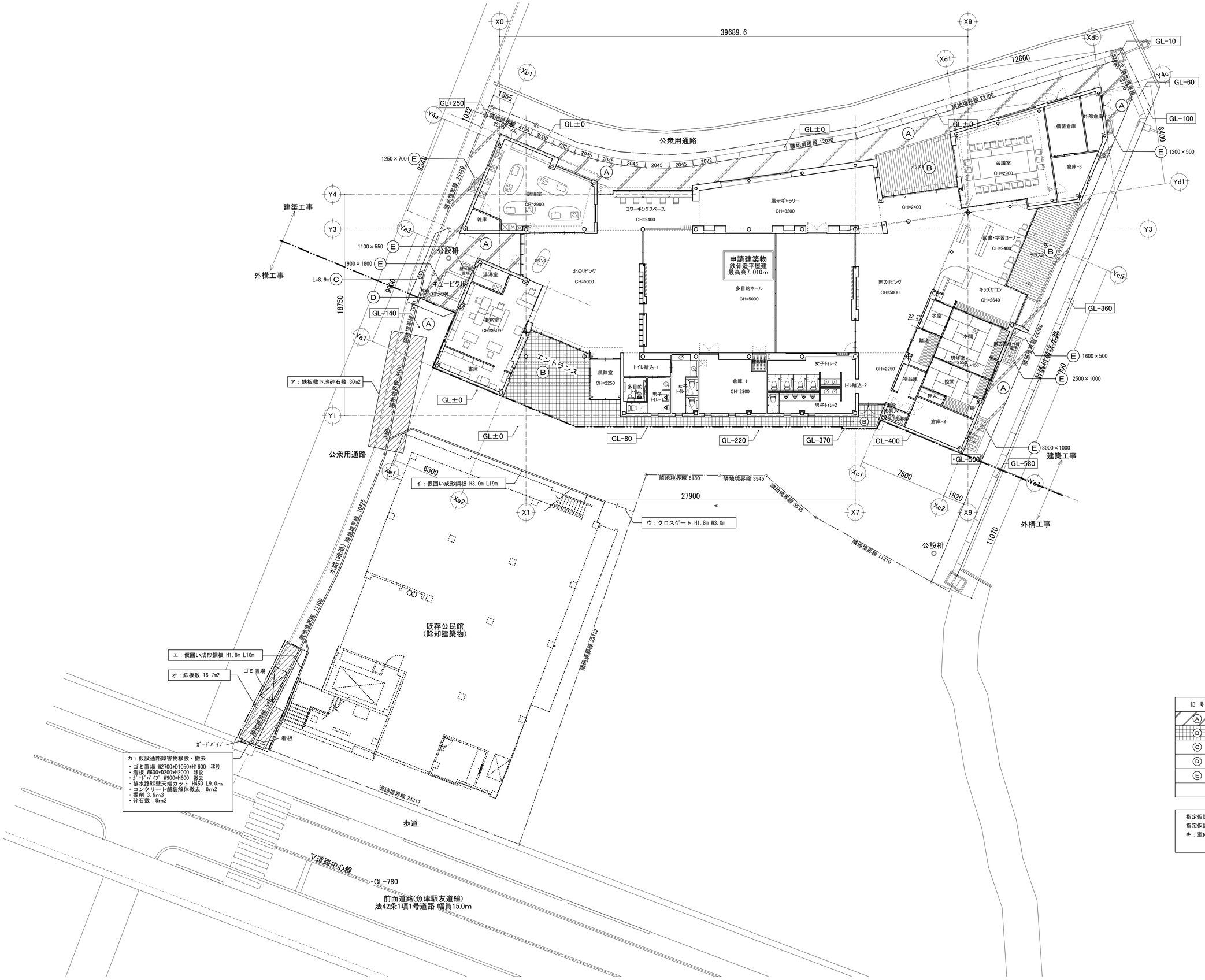
断熱材施工箇所、仕様リスト

部位	仕様	厚み
屋根	フェノールフォーム1種	30
	吹付け硬質ウレタンフォームA種1	30
外壁	フェノールフォーム1種（不燃 NM-2830）	30
床	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板1種	50

LAS Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

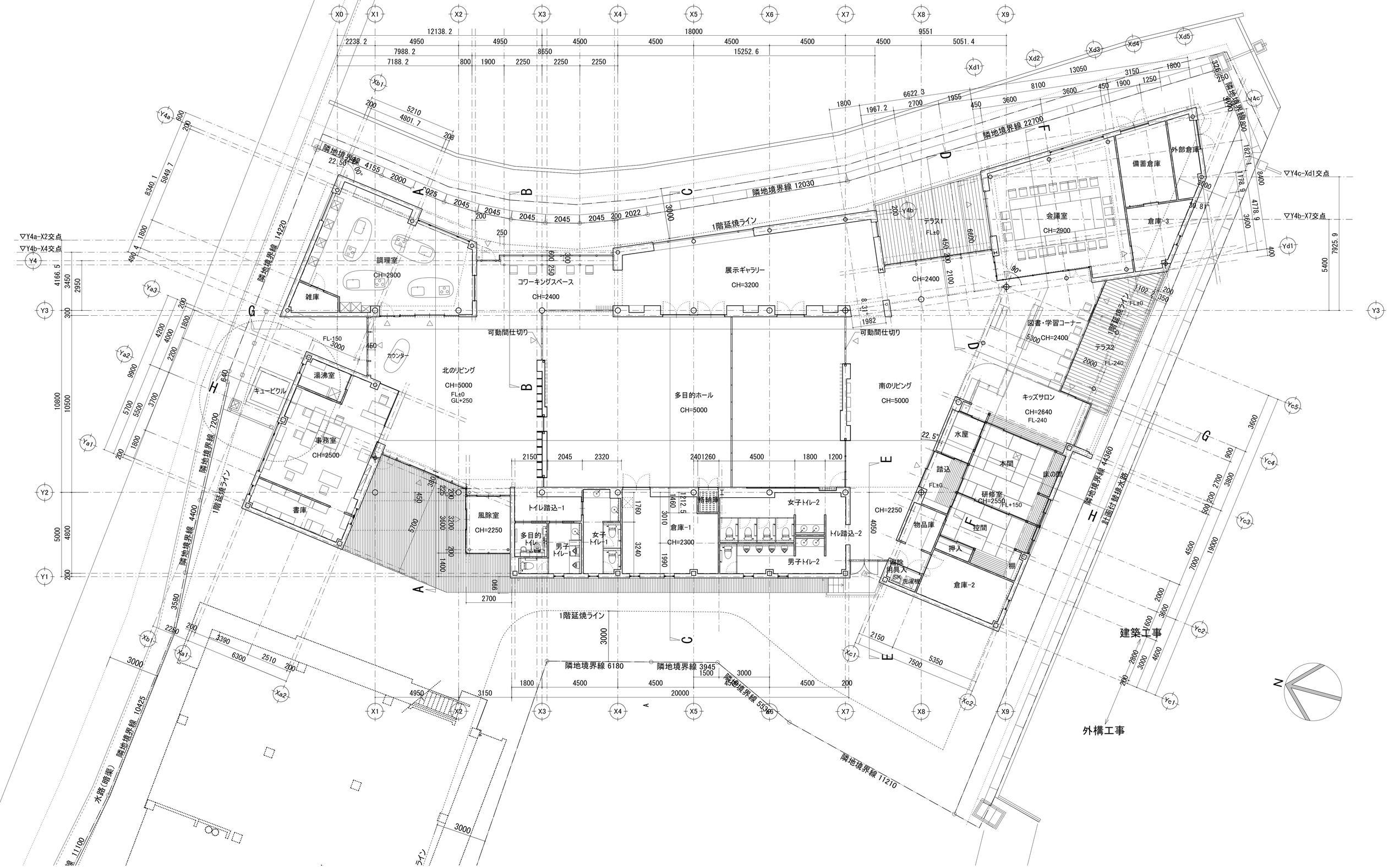
図面名称	仕上表	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高	A-08
Scale	(A1版)： (A3版)：	Date 2022.03		



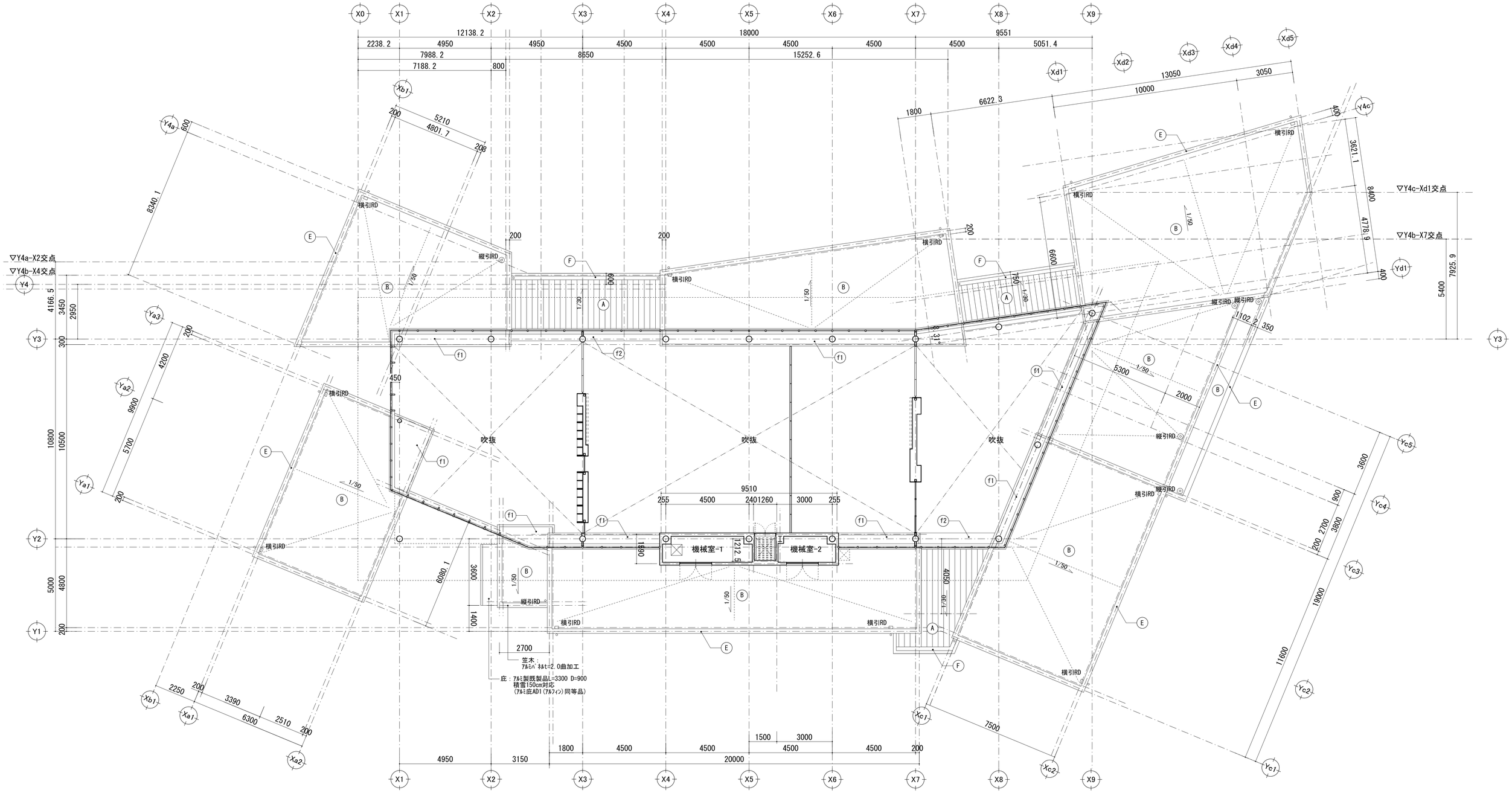
記号	仕様
Ⓐ	コンクリート舗装(車道仕様) Fc24 C-15-15
Ⓑ	300角磁器質タイル張 下地土間ｺﾝｸﾘｰﾄ+ﾓﾙﾀﾙ
Ⓒ	設備置き場目隠しフェンス アルミ製 H1800 (ﾘﾚｰﾘﾌｪﾝｽN2型：YKKAP 同等品)
Ⓓ	雨水桝 360×360×480Ｃ種
Ⓔ	設備基礎 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し H=200

指定仮設
指定仮設として図中ア～カ及び以下のものを見込む
キ：室内環境測定 9箇所

有限会社建築科学研究所	一級建築士事務所登録(7)871号 〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212 TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559	工事名称	(仮称) 魚津市本江地域交流センター建設事業 建築主体工事	図面名称	配置図
		Scale	(A1版)：1/150 (A3版)：1/300	Date	2022.03
管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高				A-09



Las Laboratory of Architectural Science	有限会社建築科学研究所	一級建築士事務所登録(7)871号 〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212 TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559		工事名称	（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事	図面名称	1階平面図	管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高
						Scale	(A1版)： 1/100 (A3版)： 1/200	Date 2022.03	A－10



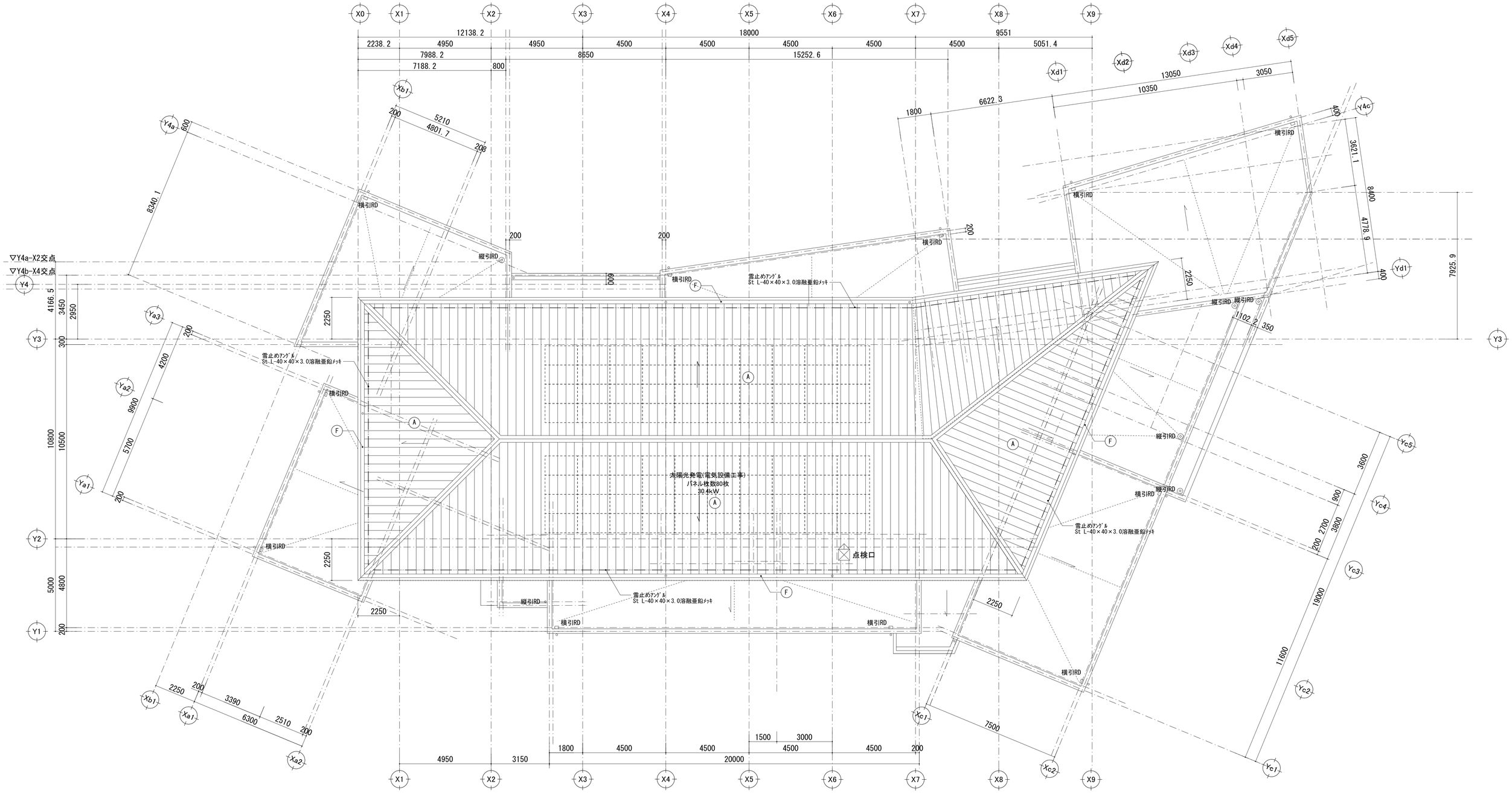
仕上リスト

符号	部 位	凡 例	仕 上	下 地
A	屋根-1		ｶﾗｰSGL鋼板 立平張 t=0.4 下地：改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ t=1.0 野地板：高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板 t=20 断熱材：ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 t=30	胴縁C-100×50×2.3
B	屋根-2		改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水(AS-T3)	ﾃﾞｯｷｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押ｴ
E	笠木		アルミ製w=400	捨笠木
F	軒樋		箱樋：鋼板防水 箱樋笠木：ｶﾗｰSGL鋼板曲加工 t=0.6	木毛ｾﾒﾝﾄ板 t=20
f1	床		ﾃﾞｯｷｽﾗﾌﾞｺﾝｸﾘｰﾄ直押ｴ EP塗 見切：木製110×25 SOP塗	
f2	梁包み		石膏ボードt=12.5 EP塗	LGS65

Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称 （仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業 建築主体工事

図面名称	2階平面図	管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高	A-11
Scale	(A1版)：1/100 (A3版)：1/200	Date 2022.03		



仕上リスト

符号	部 位	凡 例	仕 上	下 地
A	屋根-1		ｶﾗｰSGL鋼板 立平張 t=0.4 下地：改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ t=1.0 野地板：高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板 t=20 断熱材：ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 t=30	銅線C-100×50×2.3
B	屋根-2		改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水(AS-T3)	ﾃﾞｯｷｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押ｴ
E	笠木		アルミ製w=400	捨笠木
F	軒樋		箱樋：鋼板防水 箱樋笠木：ｶﾗｰSGL鋼板曲加工 t=0.6	木毛ｾﾒﾝﾄ板 t=20
f1	床		ﾃﾞｯｷｽﾗﾌﾞｺﾝｸﾘｰﾄ直押ｴ EP塗 見切：木製110×25 SOP塗	
f2	梁包み		石膏ボードt=12.5 EP塗	LGS65

Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称 (仮称) 魚津市本江地域交流センター建設事業 建築主体工事

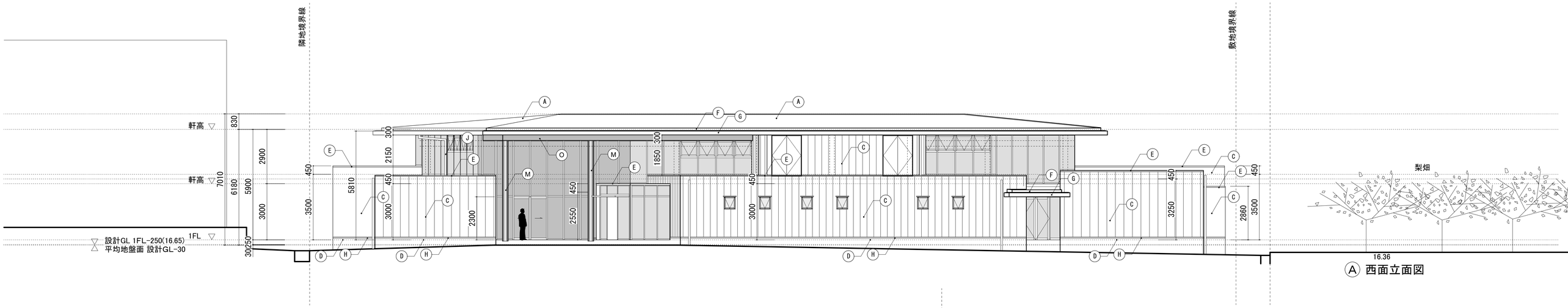
図面名称 屋根伏図

Scale (A1版)：1/100 (A3版)：1/200

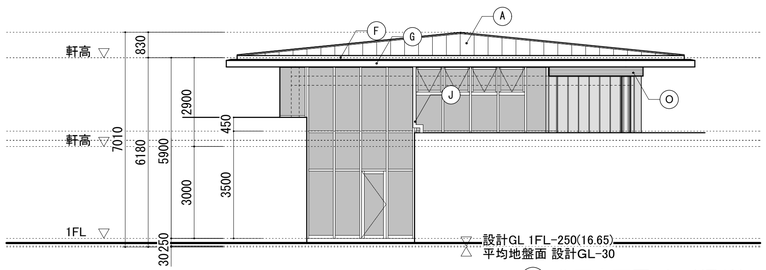
Date 2022.03

管理建築士 一級建築士 登録第182130号 原 英高

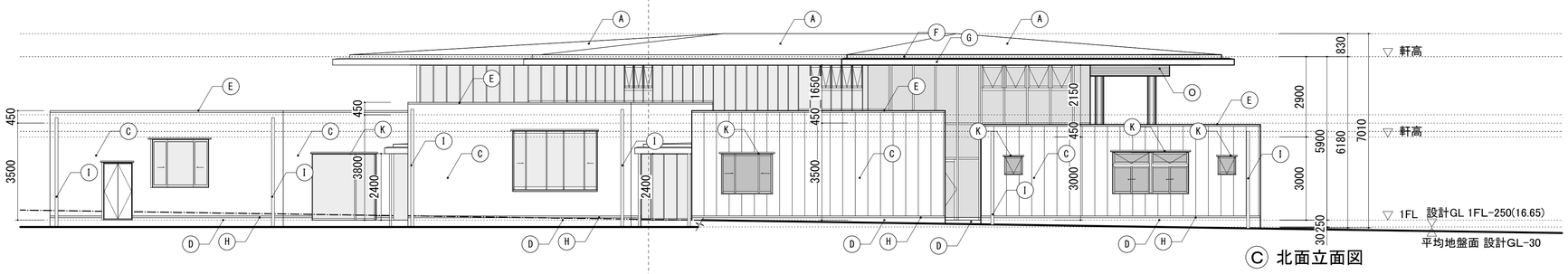
A-12



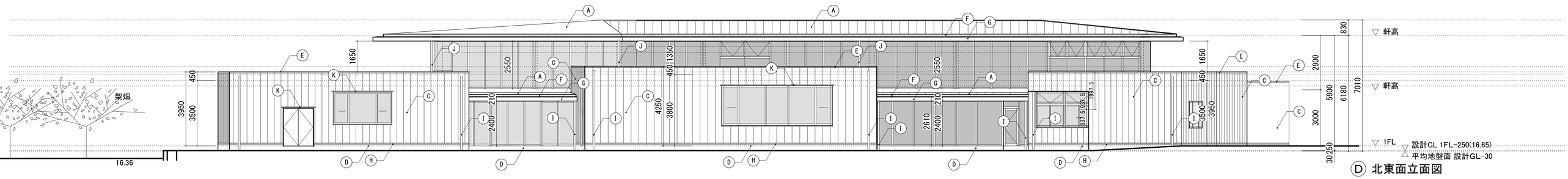
Ⓐ 西面立面図



Ⓑ 北面立面図（X1通り）



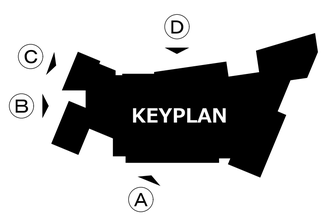
Ⓒ 北面立面図



Ⓓ 北東面立面図

外部仕上リスト

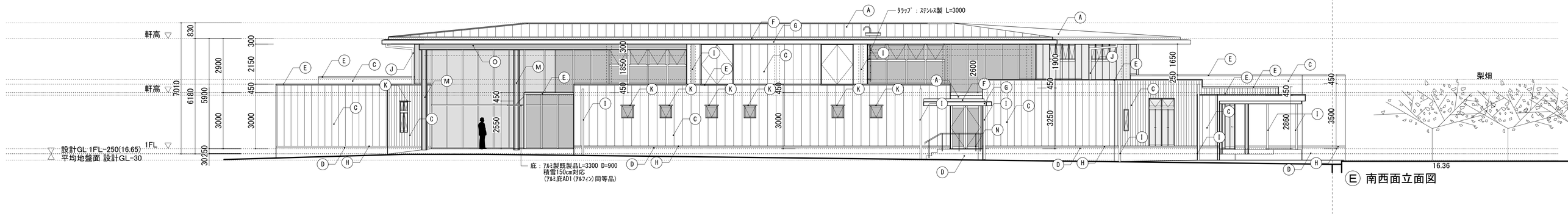
符号	部位	凡例	仕上	下地	符号	部位	凡例	仕上	下地	符号	部位	凡例	仕上	下地
A	屋根-1		ｶﾗｰSGL鋼板　立平張 t=0.4 下地：改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ t=1.0 野地板：高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板 t=20 断熱材：ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 t=30	鋼線C-100×50×2.3	E	笠木		アルミ製w=400	捨笠木	K	庇		ｱﾙﾐ製既製品 D=200 EV200F(理研軽金属)同等品	
					F	軒樋		箱樋：鋼板防水 箱樋笠木：ｶﾗｰSGL鋼板曲加工 t=0.6	木毛ｾﾒﾝﾄ板 t=20	L	軒裏		ケイカル板 t=6.0 EP塗	LGS25
B	屋根-2		改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水(AS-T3)	ﾃﾞｯｷｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押ｴ	G	鼻隠		ｶﾗｰSGL鋼板曲加工 t=0.4	木毛ｾﾒﾝﾄ板 t=20	M	外部柱		耐火塗装	
C	外壁-1		ｶﾗｰSGL鋼板　立平張 t=0.4 断熱材：ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 t=30 下地：透湿防水シート+石膏ボード t=12.5 ロックウール吹付 t=25	鋼線C-100×50×2.3 (屋内　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5)	H	水切		ｶﾗｰSGL鋼板曲加工 t=0.4		N	ﾃﾗｽ手摺		スチールFB加工　手摺子@900内外 溶融亜鉛メッキ	
					I	竪樋-1		アルミ製90φバンドレス		O	ｻｯｼ上ﾏﾀﾞｻ		ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙフィン型 RA-13-1(理研軽金属)同等品	鋼線C-100×50×2.3
D	巾木		モルタル刷毛引	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修	J	竪樋-2		ｶﾗｰVP75		P	外壁-2		外装薄塗材E　砂壁状 下地：透湿防水シート+PBt=12.5+ｹｲｶﾙ板t=8.0	鋼線C-100×50×2.3



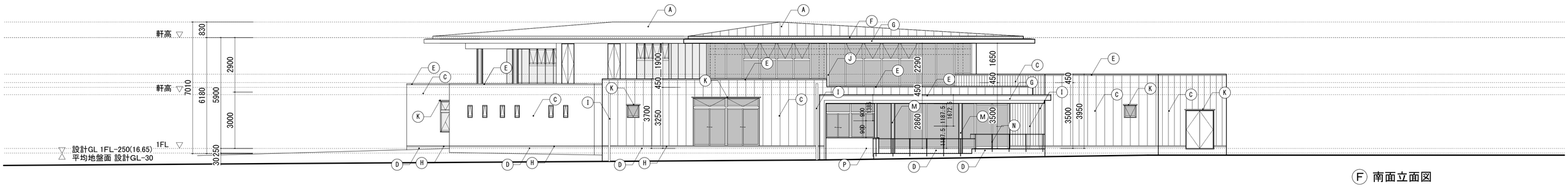
LAS Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

図面名称	立面図-1	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高	A－13
Scale	(A1版)：1/100　(A3版)：1/200	Date	2022.03	



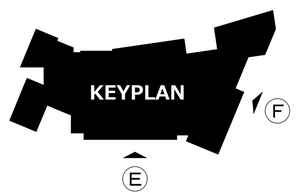
Ⓔ 南西面立面図



Ⓕ 南面立面図

外部仕上リスト

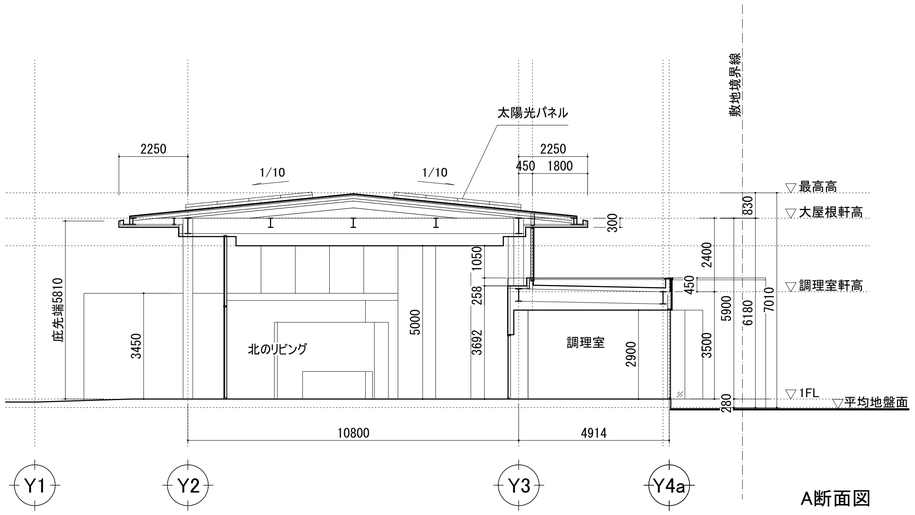
符号	部位	凡例	仕上	下地	符号	部位	凡例	仕上	下地	符号	部位	凡例	仕上	下地
A	屋根-1		ｶﾗｰSGL鋼板　立平張 t=0.4 下地：改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ t=1.0 野地板：高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板 t=20 断熱材：ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 t=30	鋼線C-100×50×2.3	E	笠木		アルミ製w=400	捨笠木	K	庇		ｱﾙﾐ製既製品 D=200 EV200F(理研軽金属)同等品	
					F	軒樋		箱樋：鋼板防水 箱樋笠木：ｶﾗｰSGL鋼板曲加工 t=0.6	木毛ｾﾒﾝﾄ板 t=20	L	軒裏		ケイカル板 t=6.0 EP塗	LGS25
B	屋根-2		改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水(AS-T3)	ﾃﾞｯｷｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押ｴ	G	鼻隠		ｶﾗｰSGL鋼板曲加工 t=0.4	木毛ｾﾒﾝﾄ板 t=20	M	外部柱		耐火塗装	
C	外壁-1		ｶﾗｰSGL鋼板　立平張 t=0.4 断熱材：ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 t=30 下地：透湿防水ｼｰﾄ+石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5 ロックウール吹付 t=25	鋼線C-100×50×2.3 (屋内　石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5)	H	水切		ｶﾗｰSGL鋼板曲加工 t=0.4		N	ﾃﾗｽ手摺		ｽﾁｰﾙFB加工　手摺子@900内外 溶融亜鉛メッキ	
					I	竪樋-1		アルミ製90φバンドレス		O	ｻｯｼ上ﾏｸﾞｻ		ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙﾌｨﾝ型 RA-13-1(理研軽金属)同等品	鋼線C-100×50×2.3
D	巾木		モルタル刷毛引	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修	J	竪樋-2		ｶﾗｰVP75		P	外壁-2		外装薄塗材E　砂壁状 下地：透湿防水ｼｰﾄ+PBt=12.5+ｹｲｶﾙ板t=8.0	鋼線C-100×50×2.3



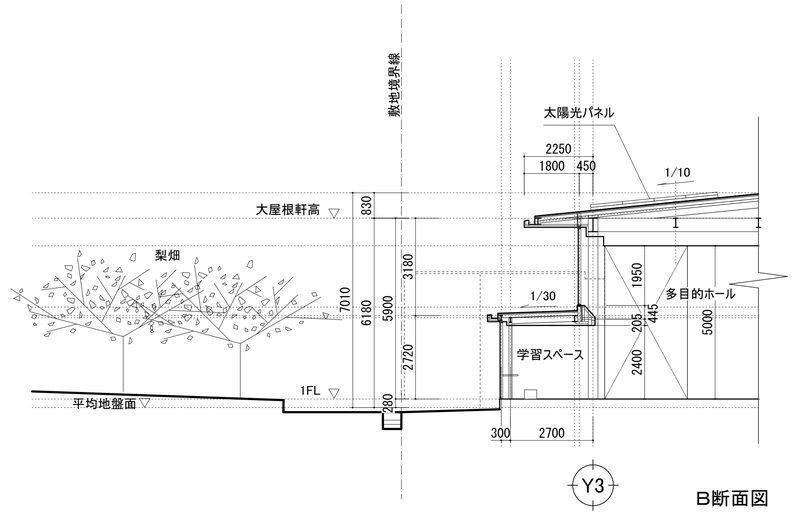
LAS Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

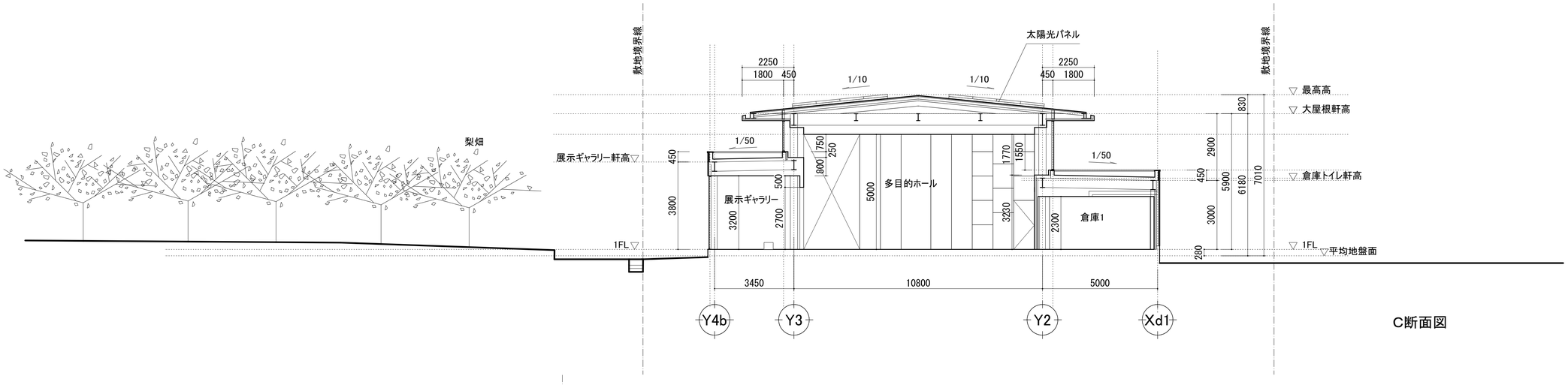
図面名称	立面図-2	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高	A－14
Scale	(A1版)：1/100 (A3版)：1/200	Date 2022.03		



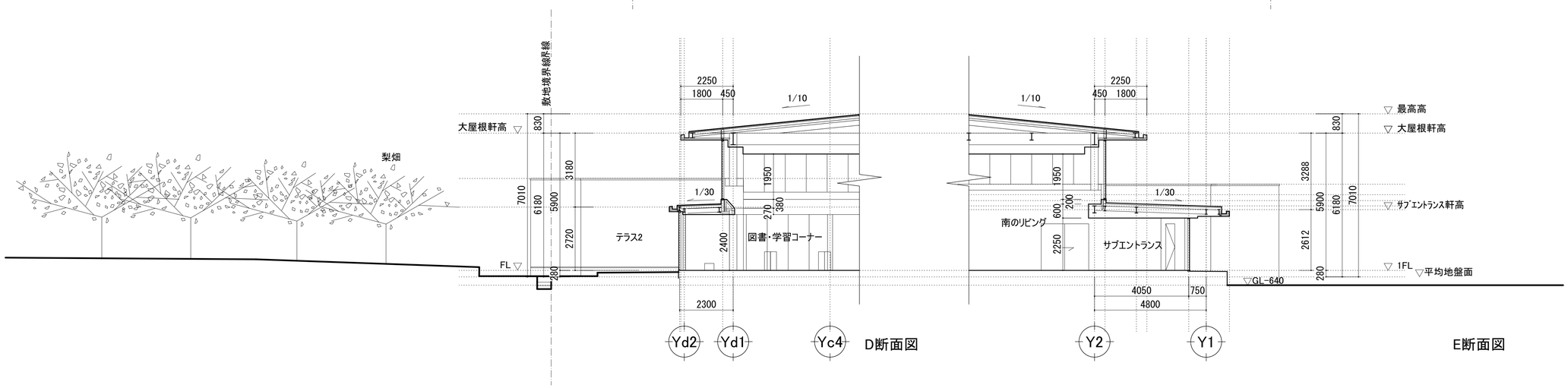
A断面図



B断面図

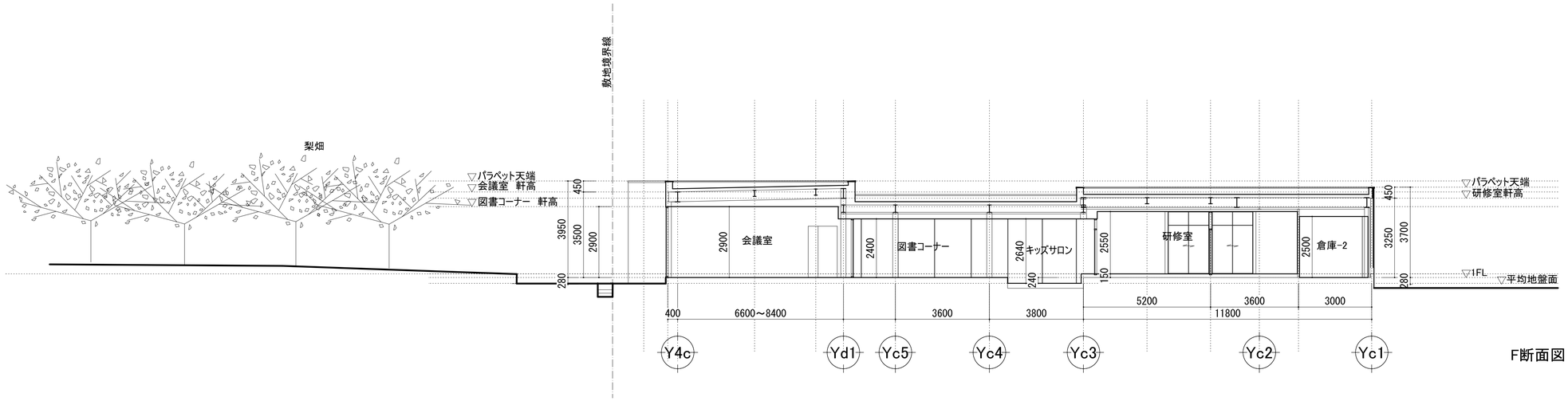


C断面図

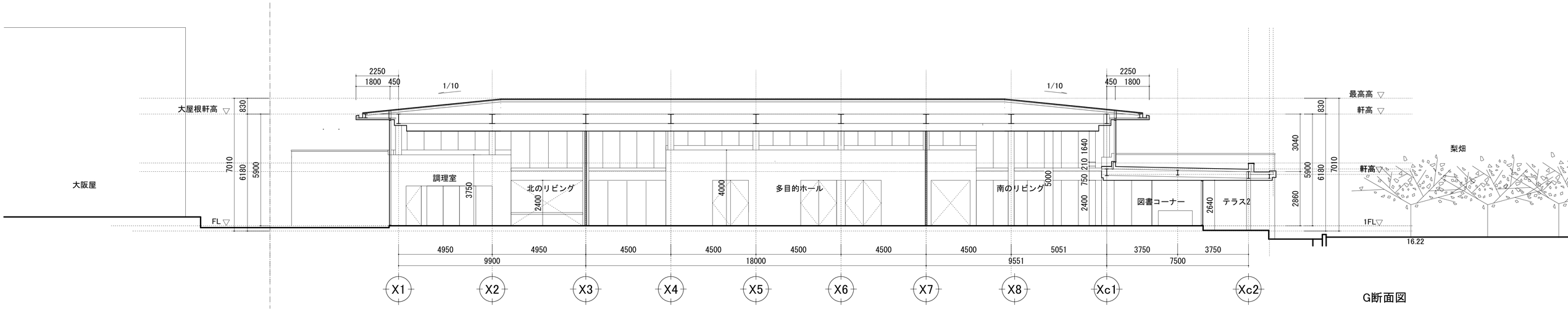


E断面図

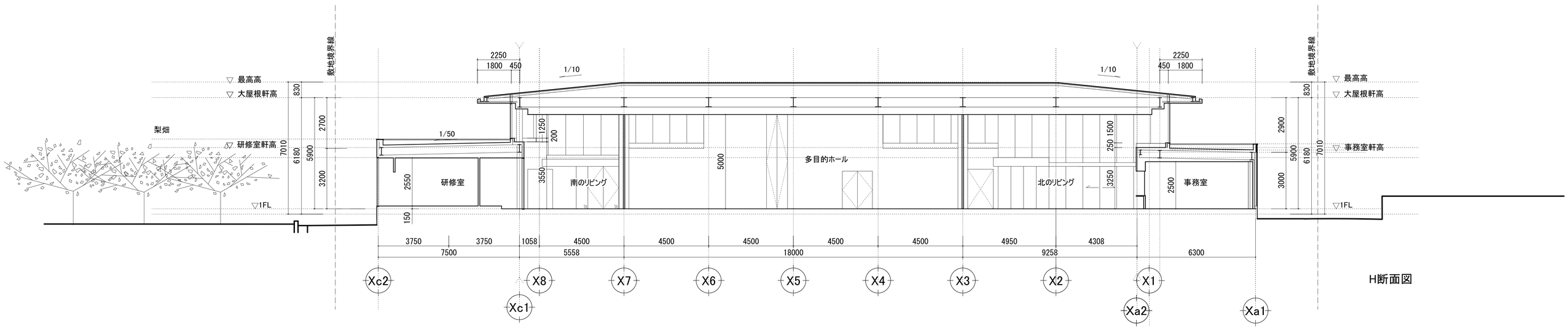
LAS Laboratory of Architectural Science	有限会社建築科学研究所	一級建築士事務所登録(7)871号 〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212 TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559		工事名称	（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事	図面名称	断面図-1	管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高
						Scale	(A1版)： 1/100 (A3版)： 1/200	Date 2022.03	A－15



F断面図

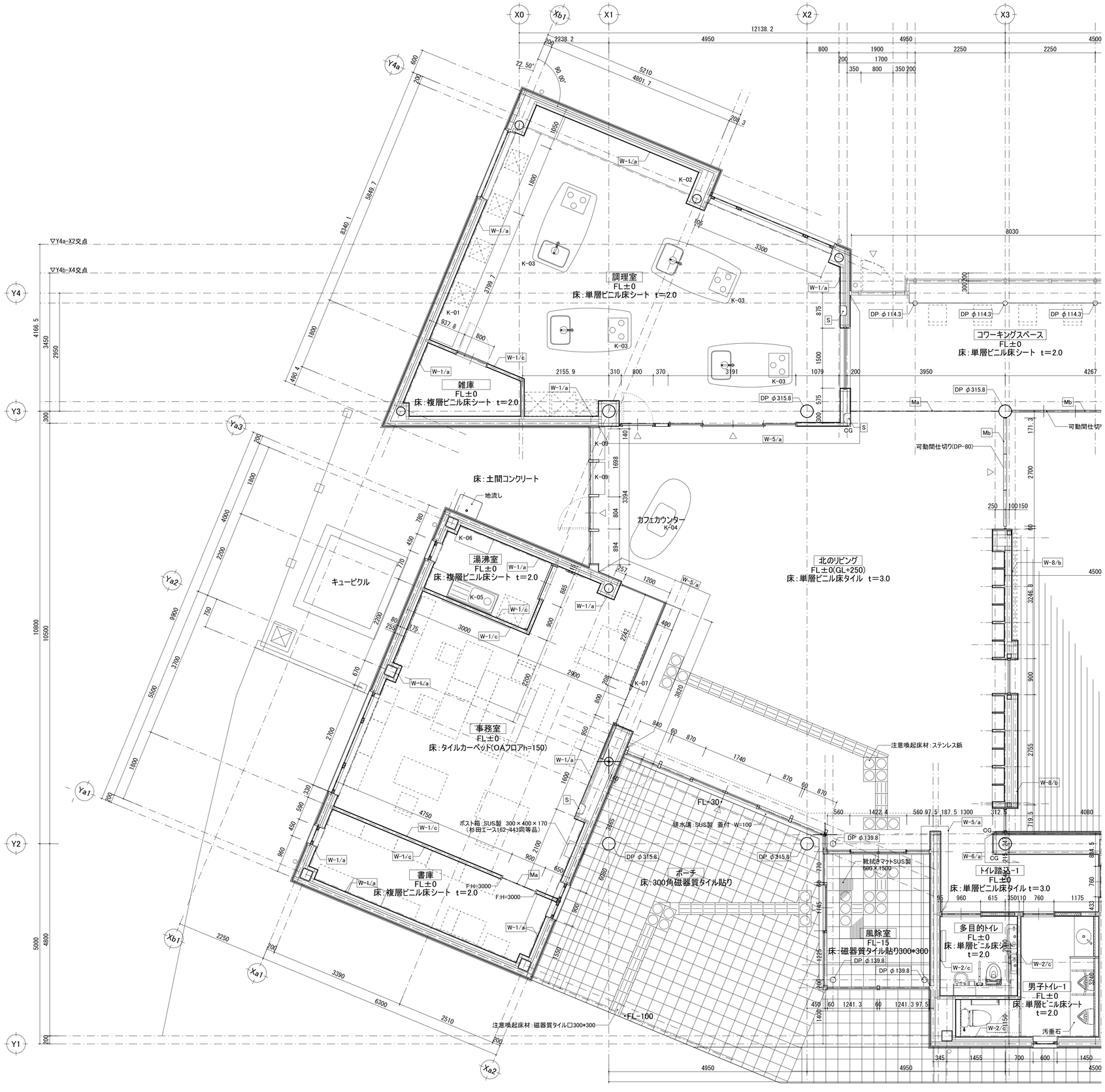


G断面図



H断面図

LAS Laboratory of Architectural Science 有限会社建築科学研究所	一級建築士事務所登録(7)871号 〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212 TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559		工事名称 （仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業 建築主体工事	図面名称 断面図-2		管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高	A－16
				Scale (A1版)： 1/100 (A3版)： 1/200	Date 2022.03			



壁仕上リスト

符号	仕　上	符号	仕　上
W-1	不燃クロス貼りAA級	DP	耐火塗装（1時間耐火）
W-2	化粧ケイカル板　t＝6.0	F	木製枠 t=25 WP塗り
W-3	有孔ケイカル t＝8.0　木製桟木張り	Ma	床見切りA
W-4	グラスウールボードガラスクロス張り t=25	Mb	床見切りB
W-5	カラーSGL鋼板立平張り t=0.4	CG	コーナーガード　木製60×60 WP塗り
W-6	EP塗装	S	消火器ボックス
W-7	内装薄塗材E		
W-8	化粧シート張り		

		下　地	
a	石膏ボード二重張 t=12.5+9.5	LGS65　@303	
b	石膏ボード二重張 t=12.5+9.5	LGS100　@303	
c	石膏ボード t=12.5	LGS65　@303	

記号の見方

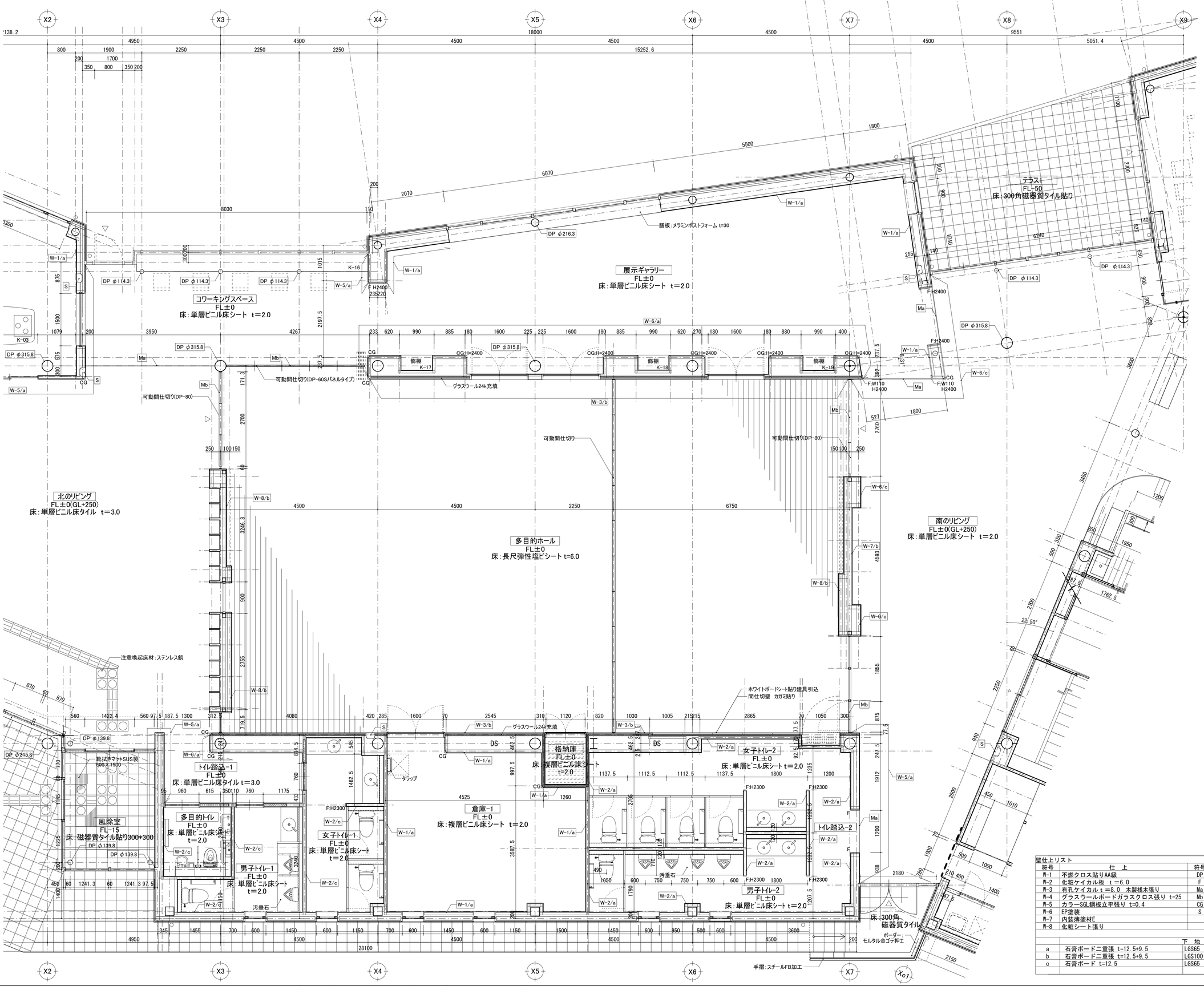
仕上
W-○/○
下地

Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

図面名称	平面詳細図-1	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高
Scale	(A1版)：1/50　(A3版)：1/100	Date	2022.03

A-17



壁仕上リスト

符号	仕上	符号	仕上
W-1	不燃クロス貼りAA級	DP	耐火塗装 (1時間耐火)
W-2	化粧ケイカル板 t=6.0	F	木製枠 t=25 WP塗り
W-3	有孔ケイカル t=8.0 木製桟木張り	Ma	床見切りA
W-4	グラスウールボードガラスクロス張り t=25	Mb	床見切りB
W-5	カラーSGL鋼板立平張り t=0.4	CG	コーナーガード 木製60×60 WP塗り
W-6	EP塗装	S	消火器ボックス
W-7	内装薄塗材E		
W-8	化粧シート張り		

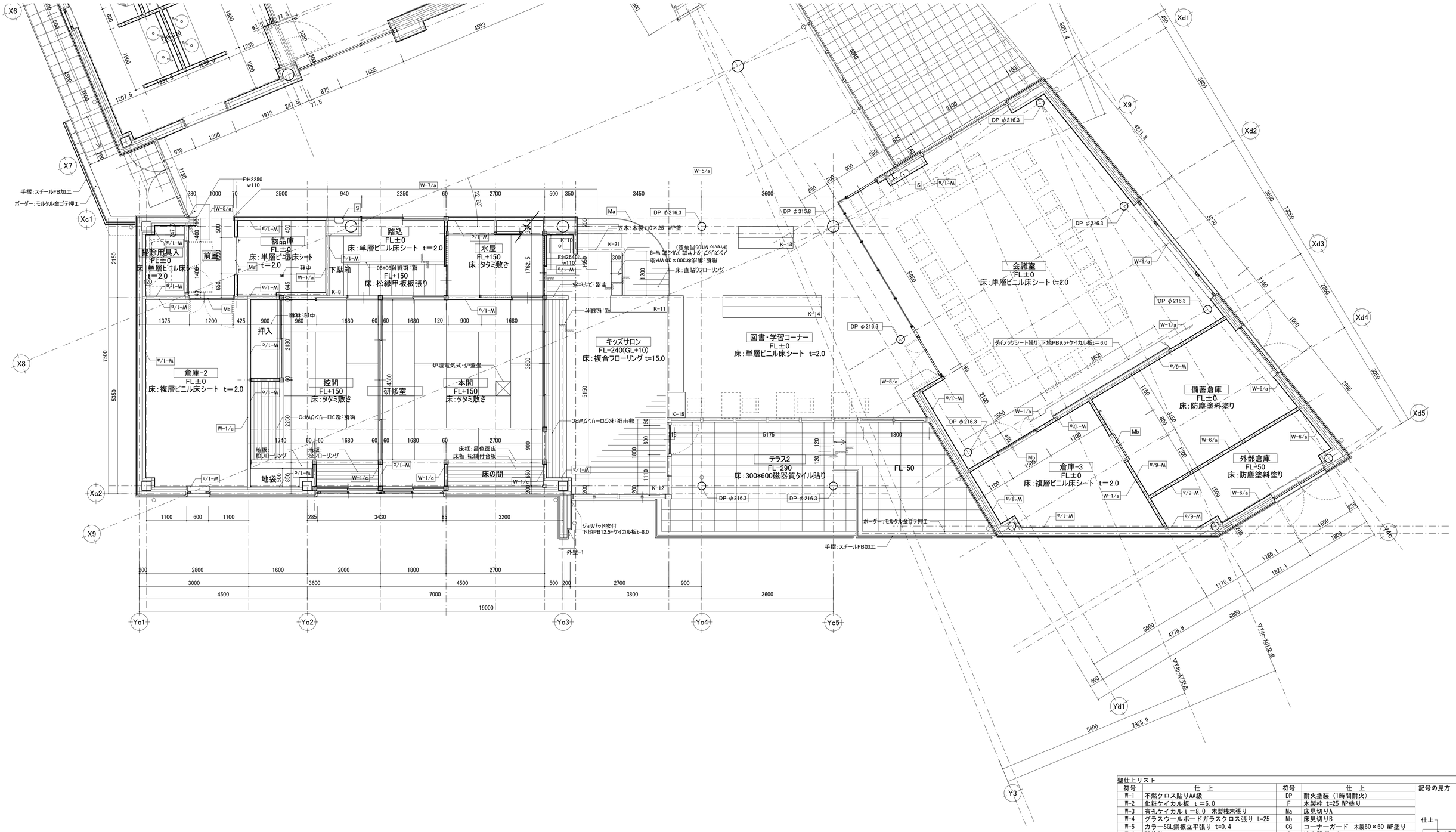
		下地	
a	石膏ボード二重張 t=12.5+9.5	LGS65 @303	
b	石膏ボード二重張 t=12.5+9.5	LGS100 @303	
c	石膏ボード t=12.5	LGS65 @303	

記号の見方: 仕上 W-○/○ 下地

有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称 (仮称) 魚津市本江地域交流センター建設事業 建築主体工事

図面名称	平面詳細図-2	管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高	A-18
Scale	(A1版): 1/50 (A3版): 1/100	Date	2022.03	



壁仕上リスト

符号	仕　上	符号	仕　上
W-1	不燃クロス貼りAA級	DP	耐火塗装（1時間耐火）
W-2	化粧ケイカル板　t＝6.0	F	木製枠 t=25 WP塗り
W-3	有孔ケイカル t＝8.0　木製桟木張り	Ma	床見切りA
W-4	グラスウールボードガラスクロス張り t=25	Mb	床見切りB
W-5	カラーSGL鋼板立平張り t=0.4	CG	コーナーガード　木製60×60 WP塗り
W-6	EP塗装	S	消火器ボックス
W-7	内装薄塗材E		
W-8	化粧シート張り		
	下　地		
a	石膏ボードニ重張 t=12.5+9.5	LGS65　@303	
b	石膏ボードニ重張 t=12.5+9.5	LGS100　@303	
c	石膏ボード t=12.5	LGS65　@303	

記号の見方

仕上

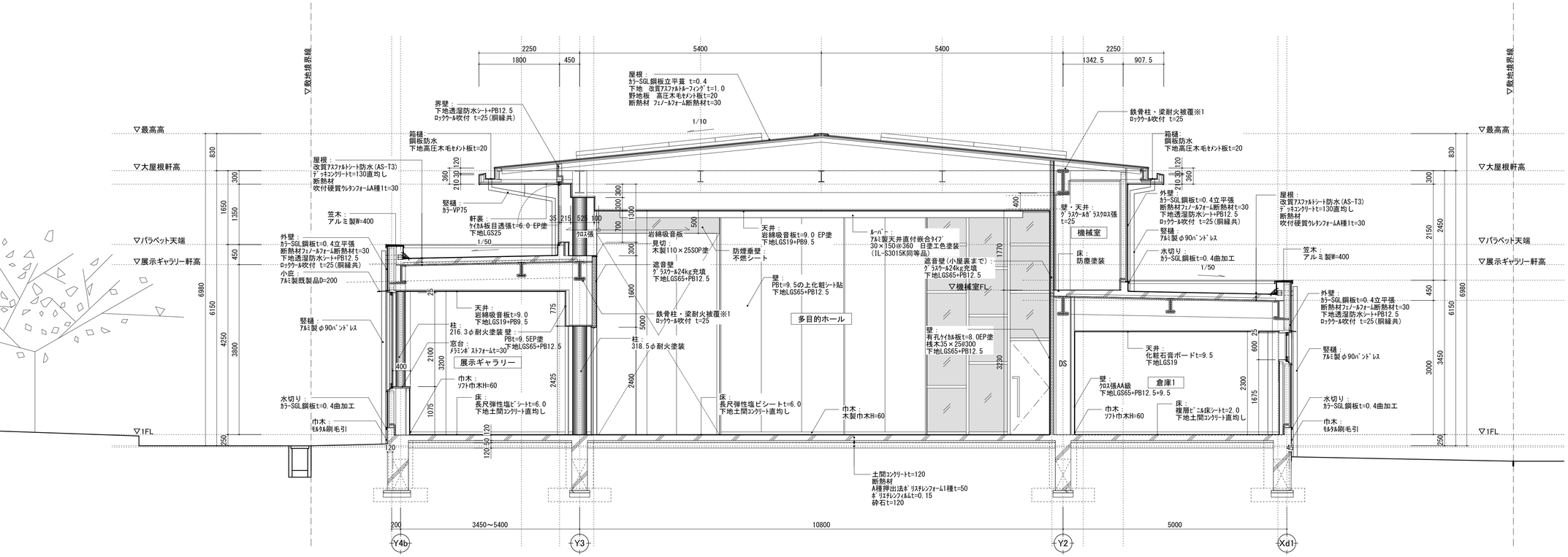
W-○/○

下地

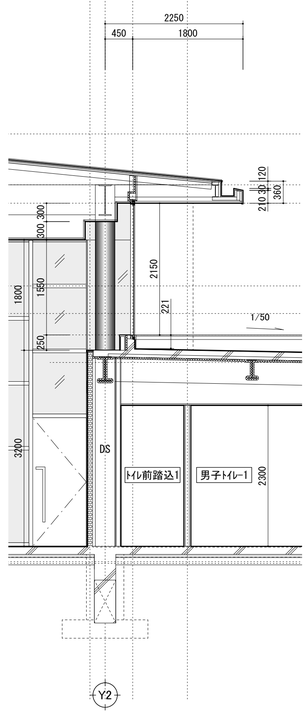
Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

図面名称	平面詳細図-3	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高	A-19
Scale	(A1版)：1/50　(A3版)：1/100	Date	2022.03	



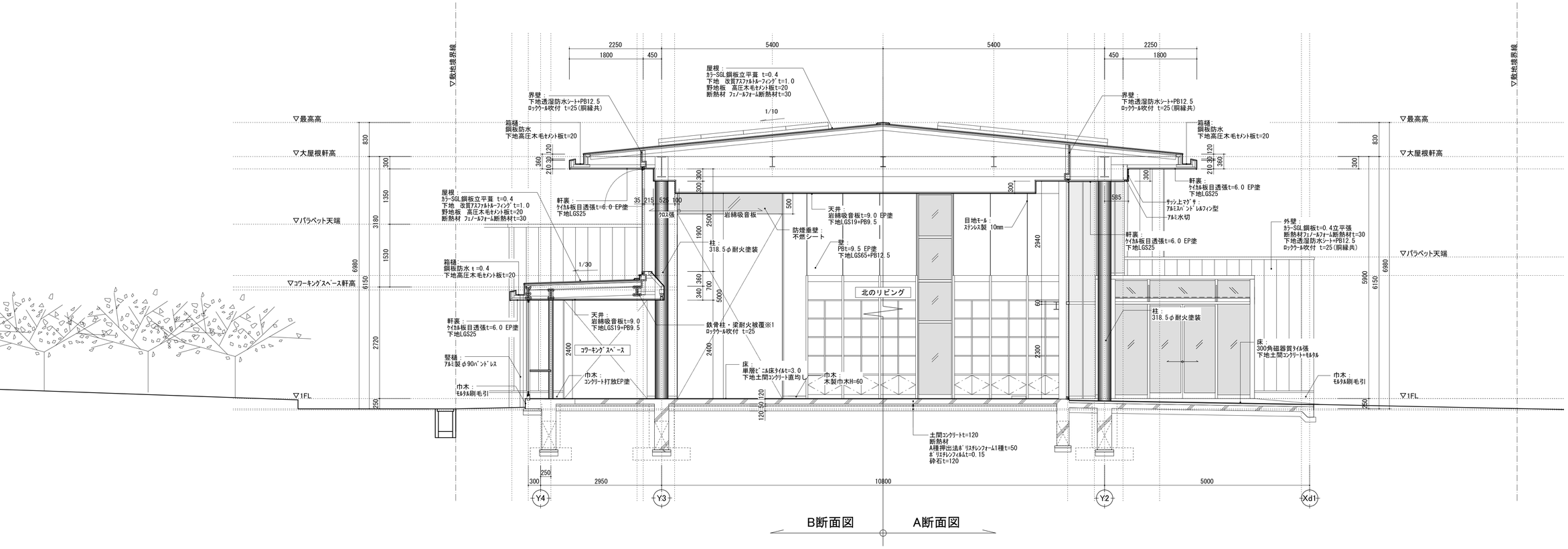
C断面図



C断面図X3-4.6-7

※1　鉄骨ロックウール耐火被覆は大屋根小屋組部分(2階機械室の上部以外)と
化粧柱(耐火塗装)を除く鉄骨柱・梁・ブレース部材に施工すること。

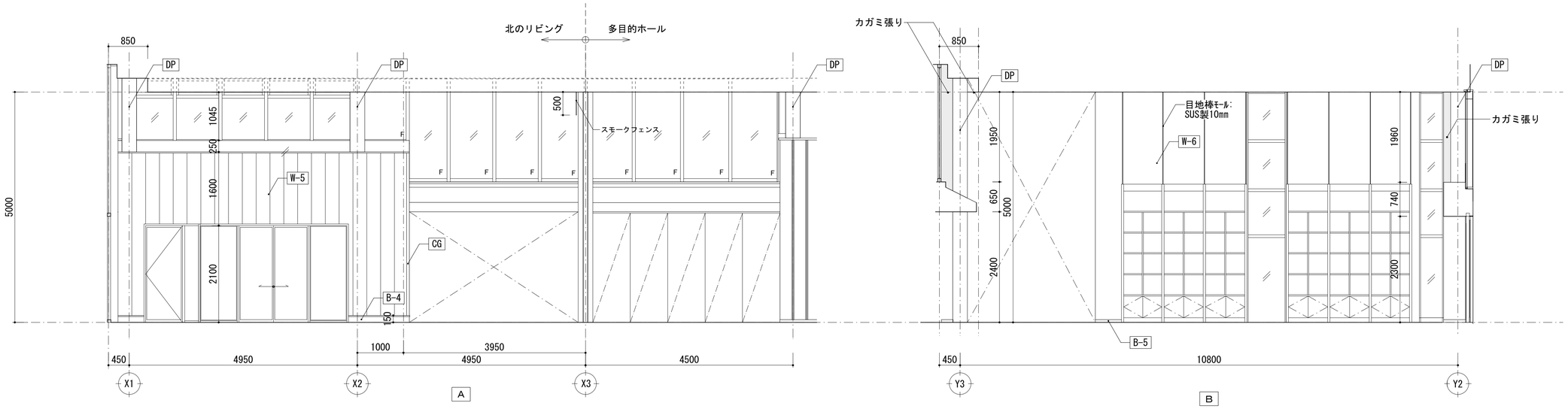
Las Laboratory of Architectural Science	有限会社建築科学研究所	一級建築士事務所登録(7)871号 〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212 TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559	工事名称	(仮称) 魚津市本江地域交流センター建設事業 建築主体工事	図面名称	断面詳細図-1	管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高
					Scale	(A1版)：1/50 (A3版)：1/100	Date 2022.03	A－２０



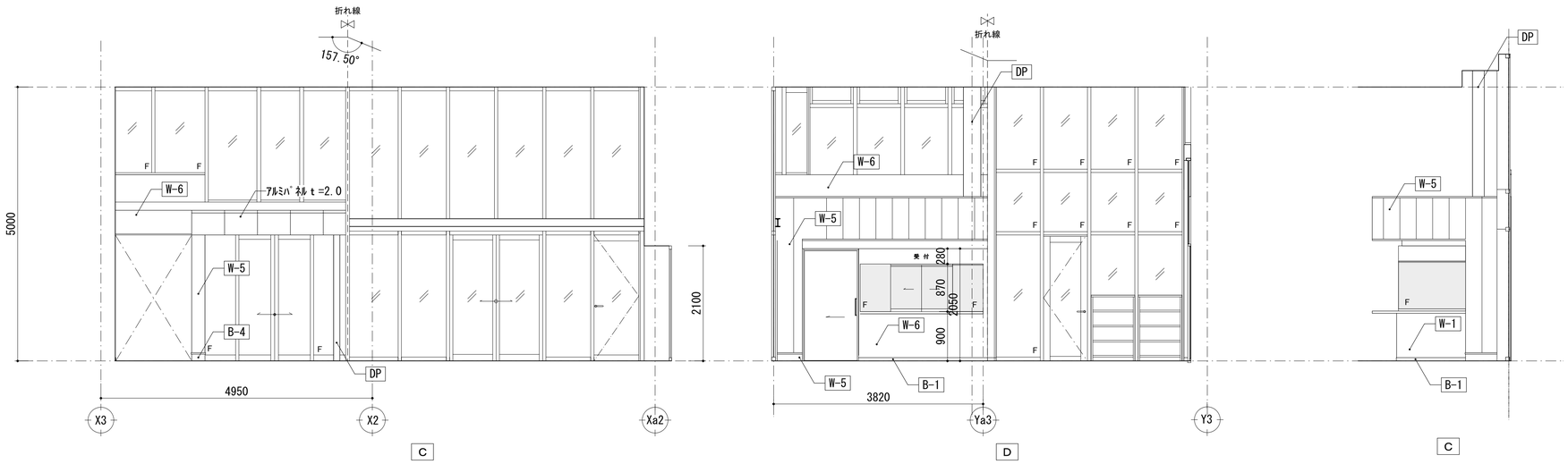
B断面図　　A断面図

※1　鉄骨ロックウール耐火被覆は大屋根小屋組部分(2階機械室の上部以外)と
化粧柱(耐火塗装)を除く鉄骨柱・梁・ブレース部材に施工すること。

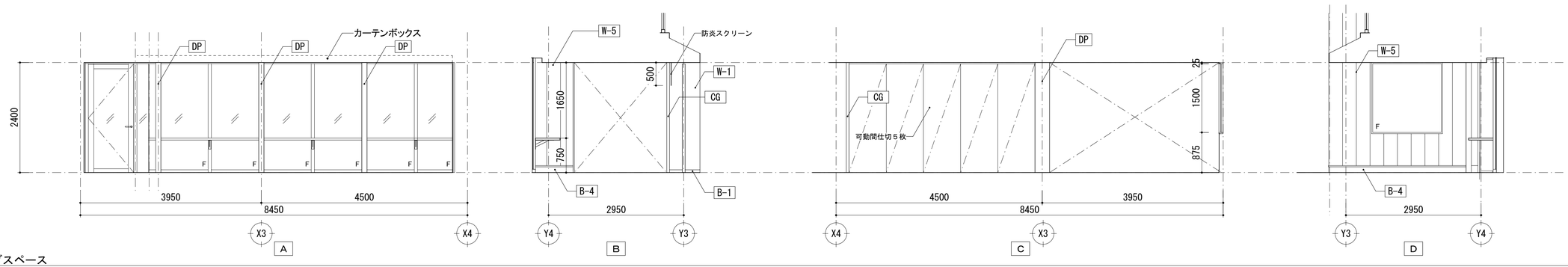
LAS Laboratory of Architectural Science	有限会社建築科学研究所	一級建築士事務所登録(7)871号 〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212 TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559		工事名称	(仮)魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事	図面名称	断面詳細図-2	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高
						Scale	(A1版)：1/50 (A3版)：1/100	Date 2022.03	A－21



北のリビング



北のリビング



コワーキングスペース

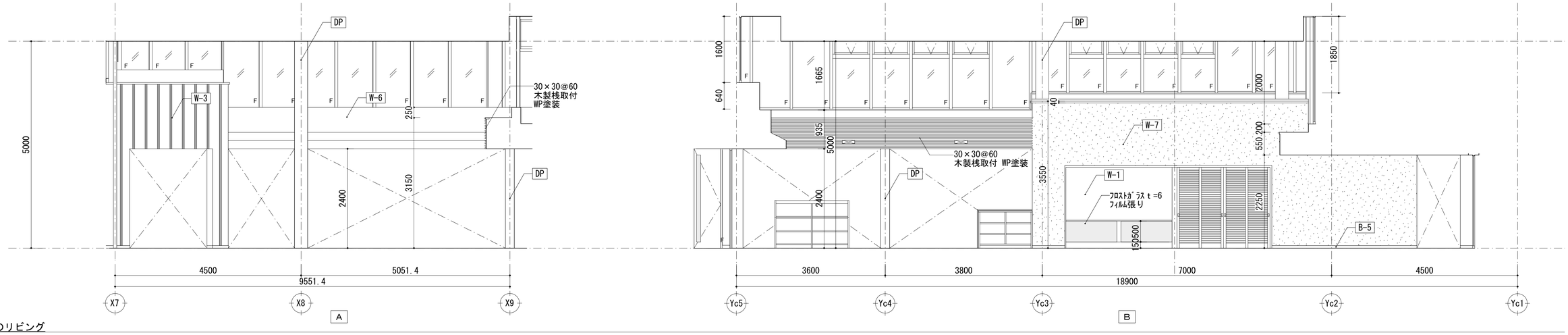
記号	壁仕上	記号	壁仕上	記号	巾木仕上	記号	巾木仕上
W-1	ｸﾛｽ張り	W-6	EP塗装	B-1	ｿﾌﾄ巾木	DP	鉄骨柱:耐火塗装(1時間耐火)
W-2	化粧ｹｲｶﾙ板 t=6張り	W-7	内装薄塗材E	B-2	磁器質ﾀｲﾙ張り	K-20	ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ
W-3	有孔ｹｲｶﾙ板 t=8.0 EP塗装　木製桟木張り	W-8	化粧ｼｰﾄ張り	B-3	畳寄せ	F	木製枠 t=25　WP塗り
W-4	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞｶﾞﾗｽｸﾛｽ t=25張り			B-4	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しEP塗装	CG	ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ:木製60×60WP塗り
W-5	ｶﾗｰSGL鋼板立平張り t=0.4			B-5	木製巾木		

Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

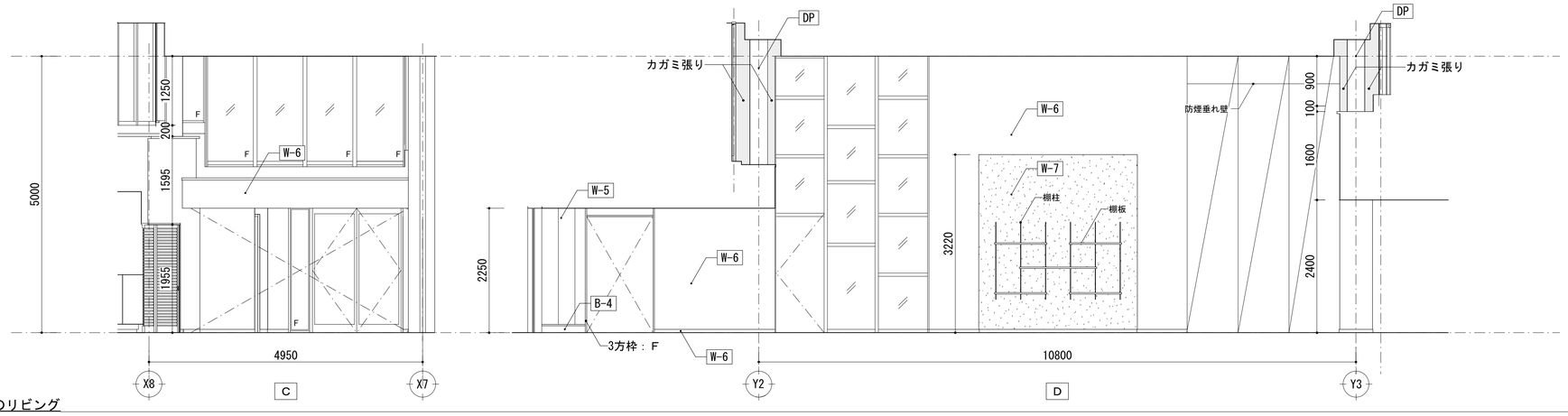
工事名称　(仮称) 魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

図面名称　展開図-1
Scale　(A1版)：1：50　(A3版)：1：100
Date　2022.03
管理建築士
一級建築士　登録第182130号　原　英高

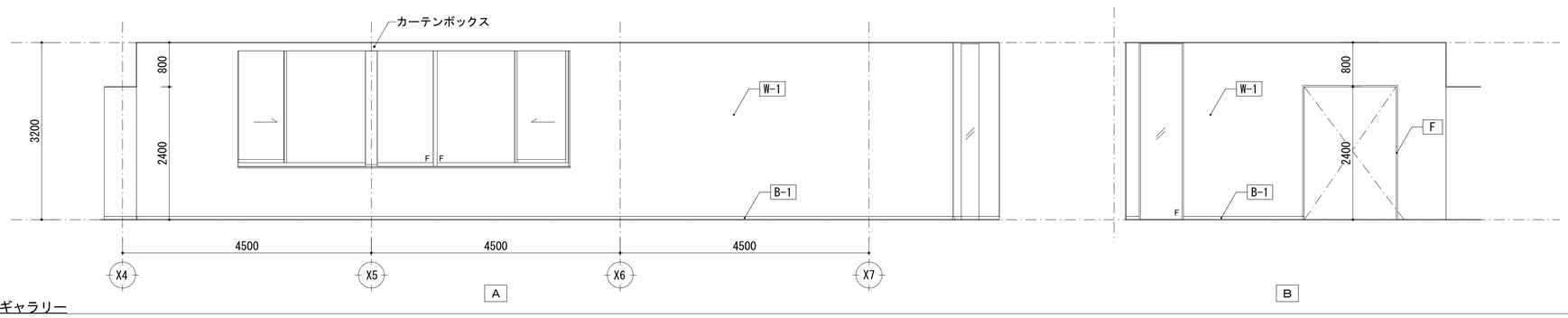
A-22



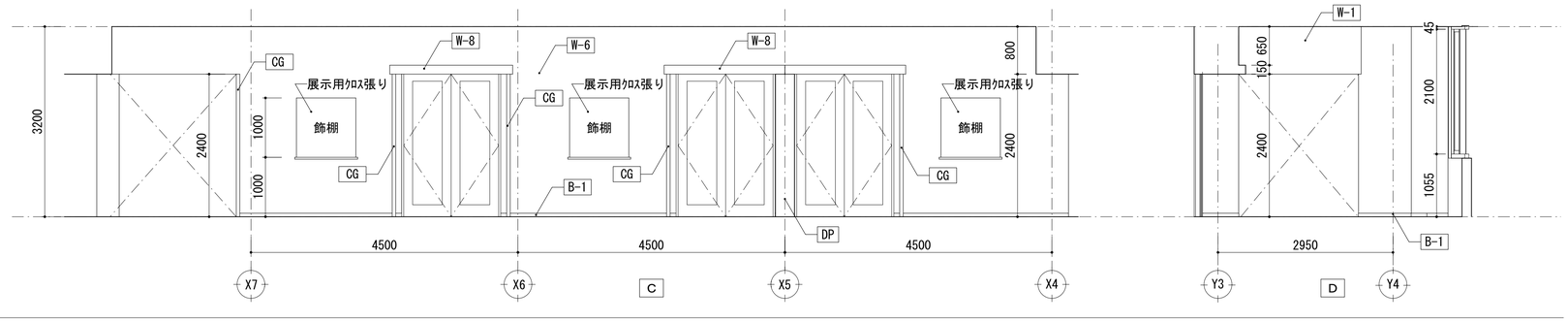
南のリビング



南のリビング



展示ギャラリー

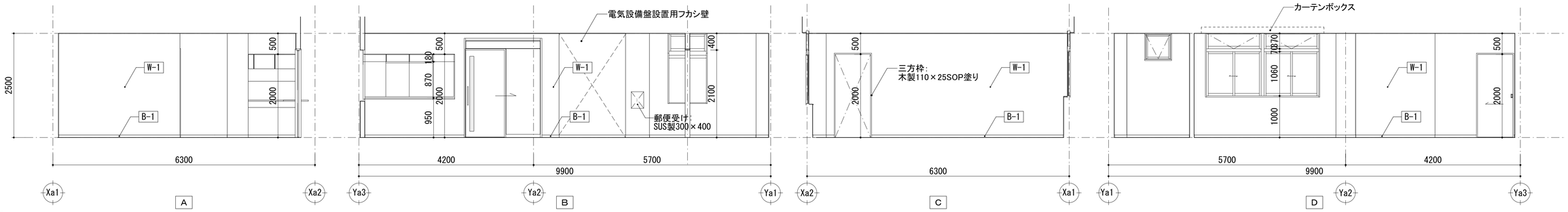


記号	壁仕上	記号	壁仕上	記号	巾木仕上
W-1	クロス張り	B-1	ソフト巾木	DP	鉄骨柱:耐火塗装(1時間耐火)
W-2	化粧ケイカル板 t=6張り	B-2	磁器質タイル張り	K-20	メラミンポストフォーム
W-3	有孔ケイカル板 t=8.0 EP塗装　木製桟木張り	B-3	畳寄せ	F	木製枠 t=25　WP塗り
W-4	グラスウールボードガラスクロス t=25張り	B-4	コンクリート打放しEP塗装	CG	コーナーガード:木製60×60WP塗り
W-5	カラーSGL鋼板立平張り t=0.4	B-5	木製巾木		
W-6	EP塗装				
W-7	内装薄塗材E				
W-8	化粧シート張り				

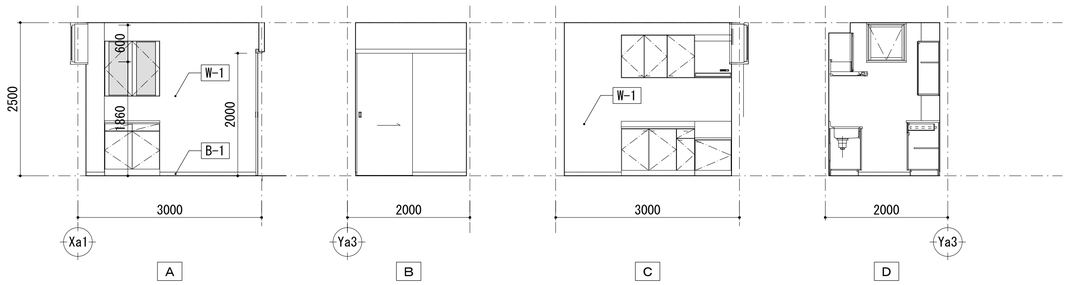
Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

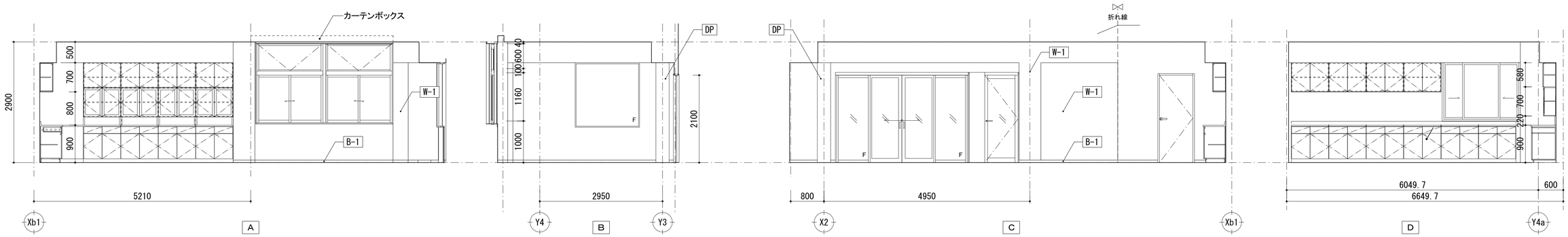
図面名称	展開図-2		管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高	A-23
Scale	(A1版)：1：50 / (A3版)：1：100	Date 2022.03			



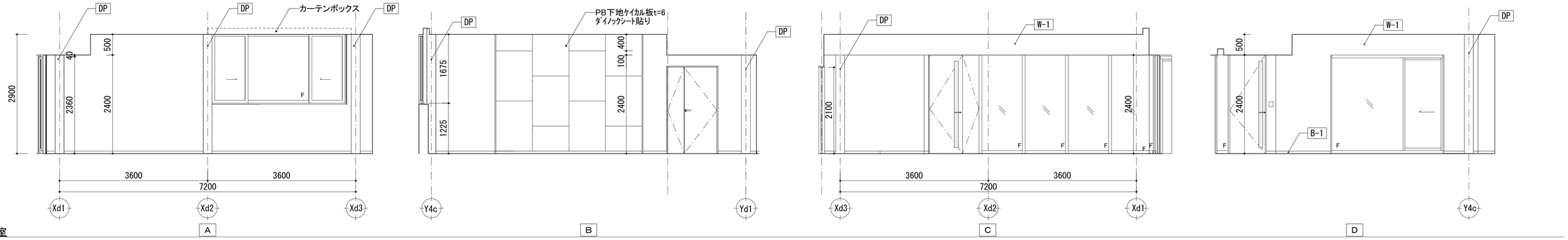
事務所



湯沸室



調理室



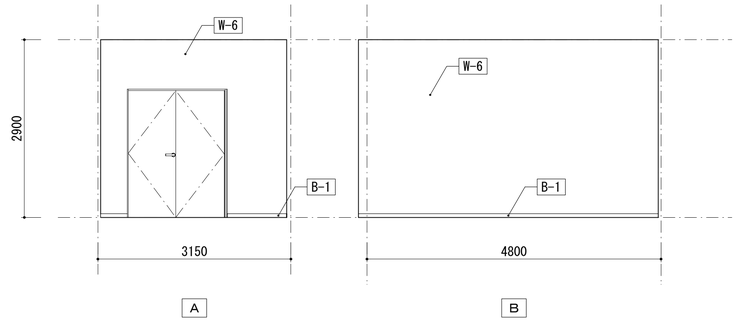
会議室

記号	壁仕上	記号	壁仕上	記号	巾木仕上	記号	巾木仕上
W-1	ｸﾛｽ張り	W-6	EP塗装	B-1	ｿﾌﾄ巾木	DP	鉄骨柱:耐火塗装(1時間耐火)
W-2	化粧ｹｲｶﾙ板 t =6張り	W-7	内装薄塗材E	B-2	磁器質ﾀｲﾙ張り	K-20	ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ
W-3	有孔ｹｲｶﾙ板 t =8.0 EP塗装　木製桟木張り	W-8	化粧ｼｰﾄ張り	B-3	畳寄せ	F	木製枠 t =25　WP塗り
W-4	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ ｶﾞﾗｽｸﾛｽ t =25張り			B-4	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しEP塗装	CG	ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ:木製60×60WP塗り
W-5	ｶﾗｰSGL鋼板立平張り t =0.4			B-5	木製巾木		

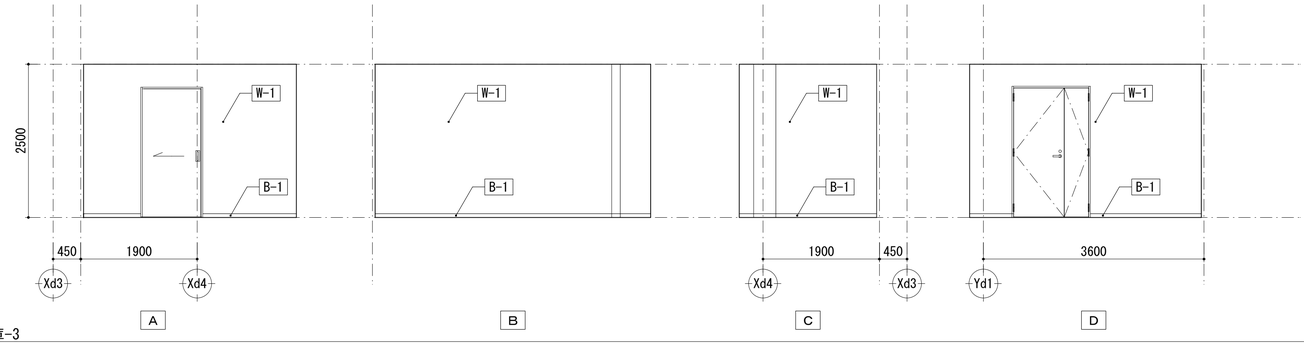
Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　(仮称) 魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

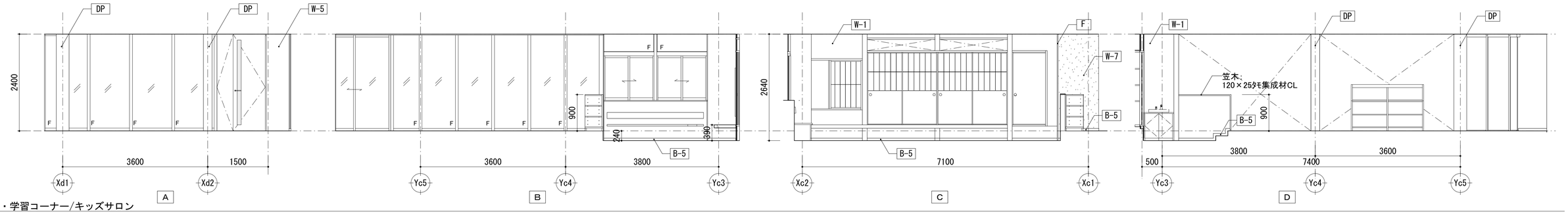
図面名称	展開図-3	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高	A-24
Scale	(A1版): 1:50　(A3版): 1:100	Date	2022.03	



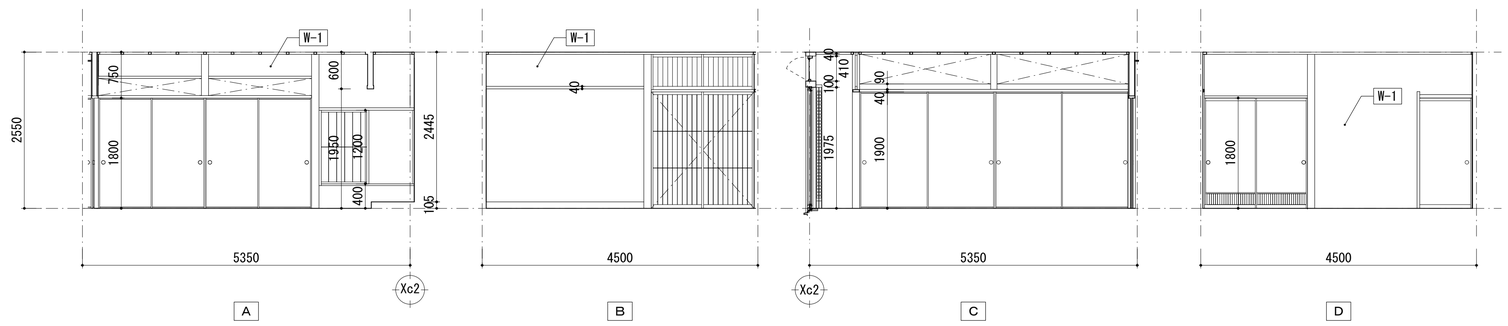
備蓄倉庫



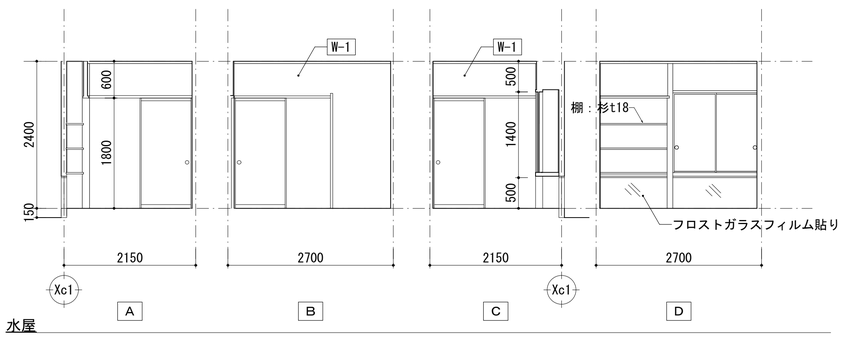
倉庫-3



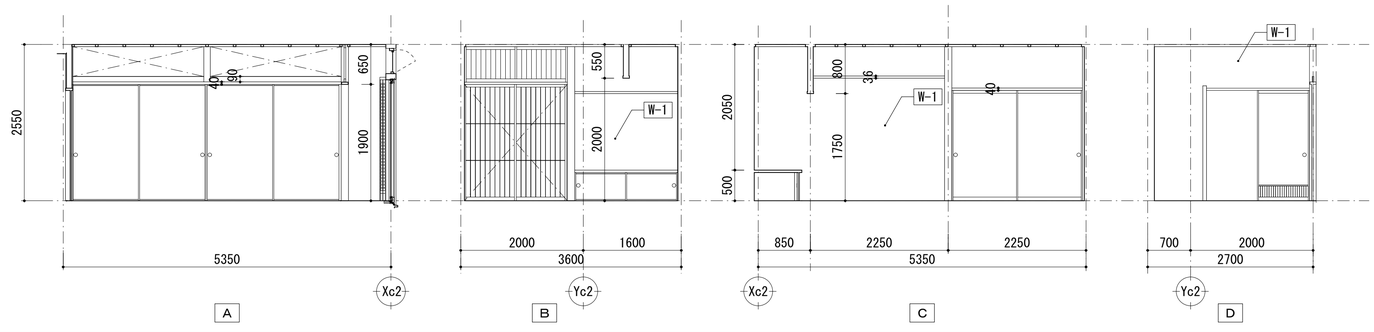
図書・学習コーナー/キッズサロン



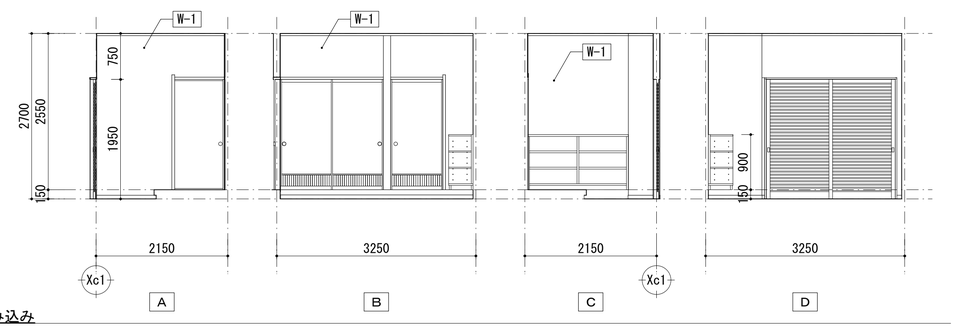
本間



水屋



控間



踏み込み

記号	壁仕上	記号	壁仕上	記号	巾木仕上	記号	巾木仕上
W-1	ｸﾛｽ張り	W-6	EP塗装	B-1	ｿﾌﾄ巾木	DP	鉄骨柱:耐火塗装(1時間耐火)
W-2	化粧ｹｲｶﾙ板 t=6張り	W-7	内装薄塗材E	B-2	磁器質ﾀｲﾙ張り	K-20	ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
W-3	有孔ｹｲｶﾙ板 t=8.0 EP塗装　木製桟木張り	W-8	化粧ｼｰﾄ張り	B-3	畳寄せ	F	木製枠 t=25　WP塗り
W-4	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞｶﾞﾗｽｸﾛｽ t=25張り			B-4	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しEP塗装	CG	ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ:木製60×60WP塗り
W-5	ｶﾗｰSGL鋼板立平張り t=0.4			B-5	木製巾木		

Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

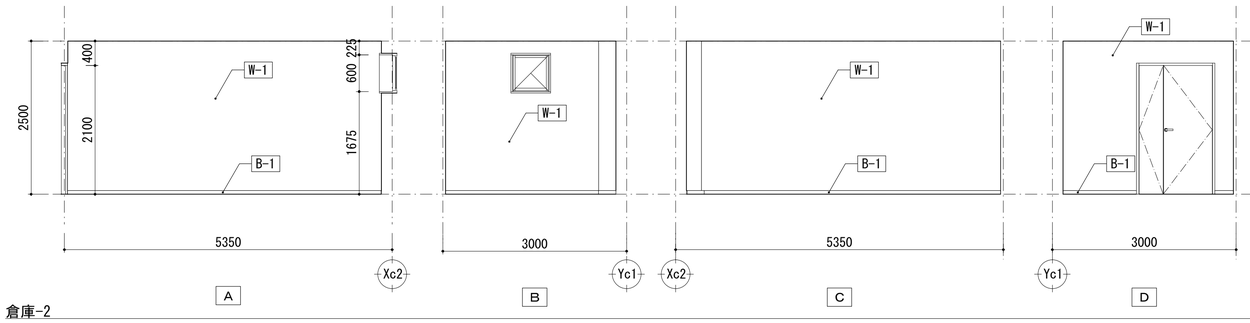
図面名称　展開図-4

Scale　(A1版)：1：50　(A3版)：1：100

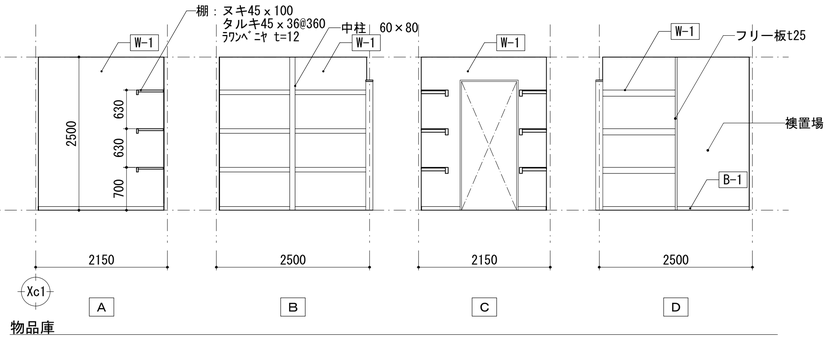
Date　2022.03

管理建築士　一級建築士　登録第182130号　原　英高

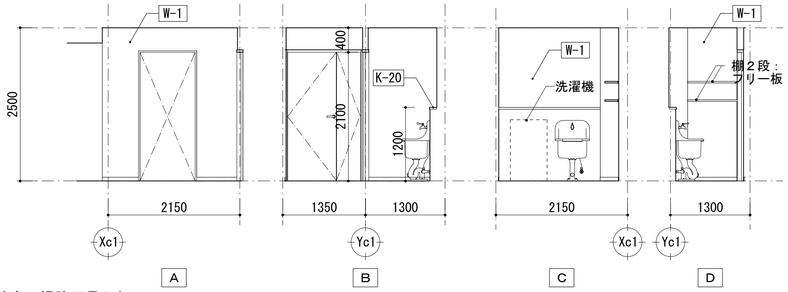
A-25



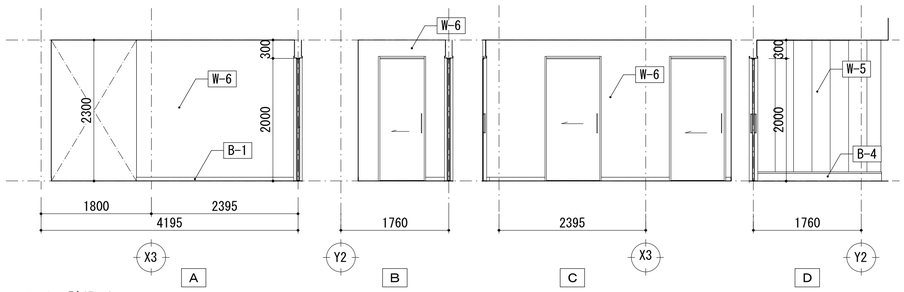
倉庫-2



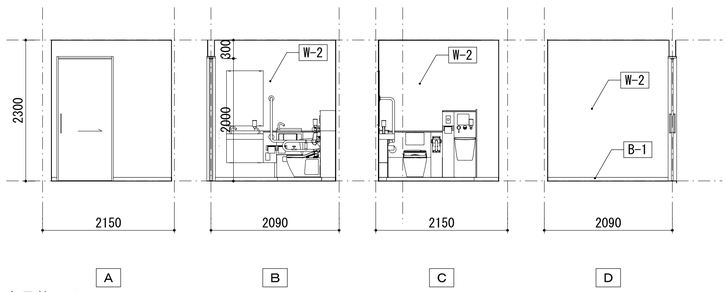
物品庫



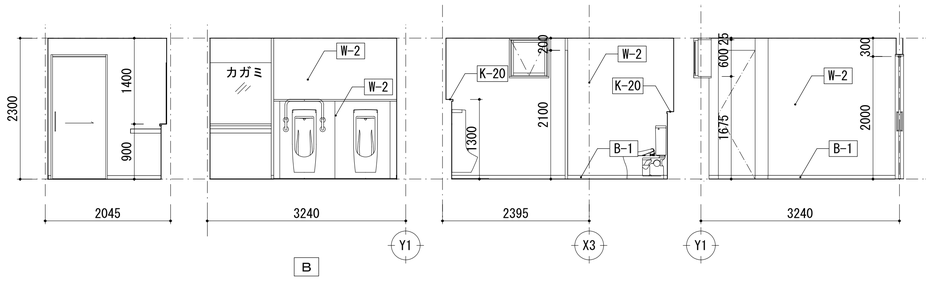
前室　掃除用具入れ



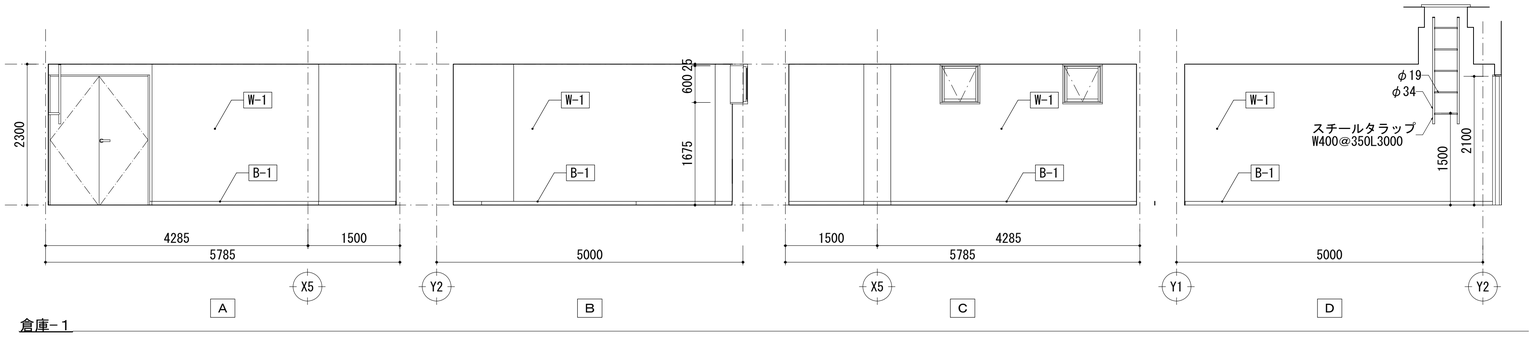
トイレ踏込-1



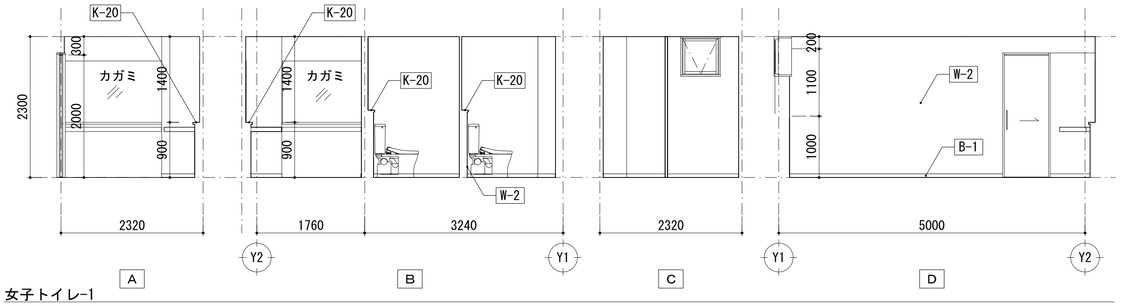
多目的トイレ



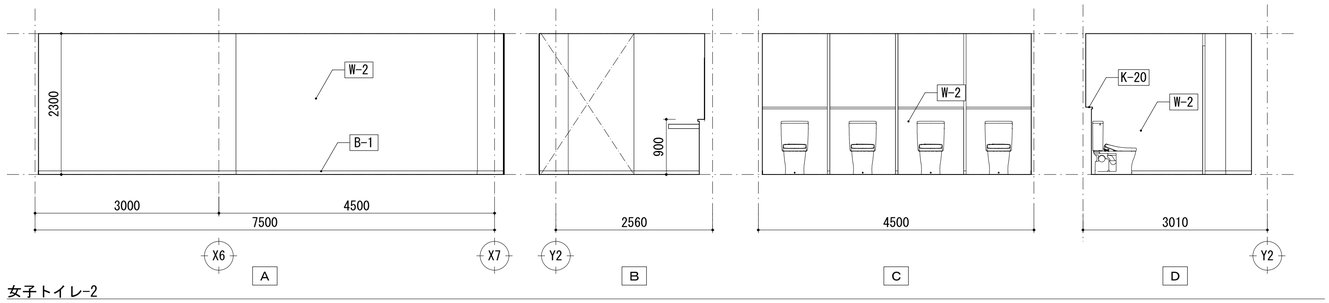
男子トイレ-1



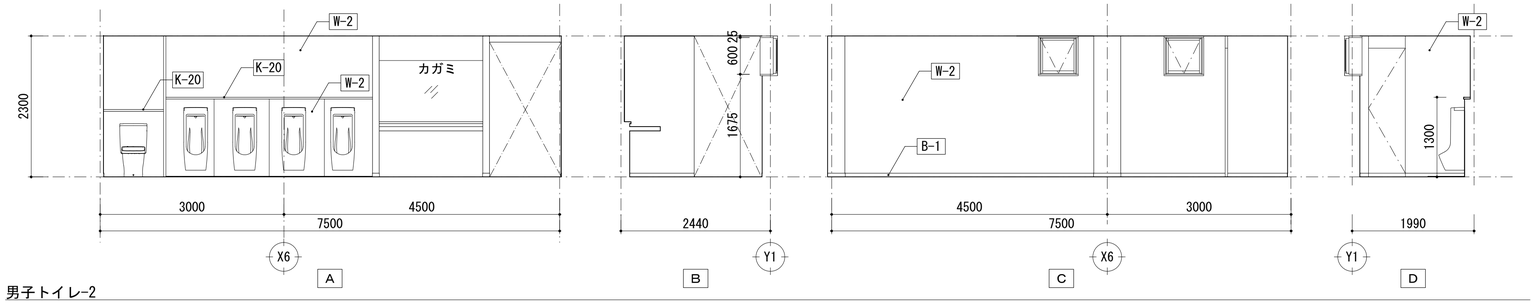
倉庫-１



女子トイレ-1



女子トイレ-2



男子トイレ-2

記号	壁仕上	記号	壁仕上	記号	巾木仕上	記号	巾木仕上
W-1	ｸﾛｽ張り	W-6	EP塗装	B-1	ｿﾌﾄ巾木	DP	鉄骨柱：耐火塗装(1時間耐火)
W-2	化粧ｹｲｶﾙ板 t =6張り	W-7	内装薄塗材E	B-2	磁器質ﾀｲﾙ張り	K-20	ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ
W-3	有孔ｹｲｶﾙ板 t =8.0 EP塗装　木製桟木張り	W-8	化粧ｼｰﾄ張り	B-3	畳寄せ	F	木製枠 t =25　WP塗り
W-4	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞｶﾞﾗｽｸﾛｽ t =25張り			B-4	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しEP塗装	CG	ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ：木製60×60WP塗り
W-5	ｶﾗｰSGL鋼板立平張り t =0.4			B-5	木製巾木		

L a S Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

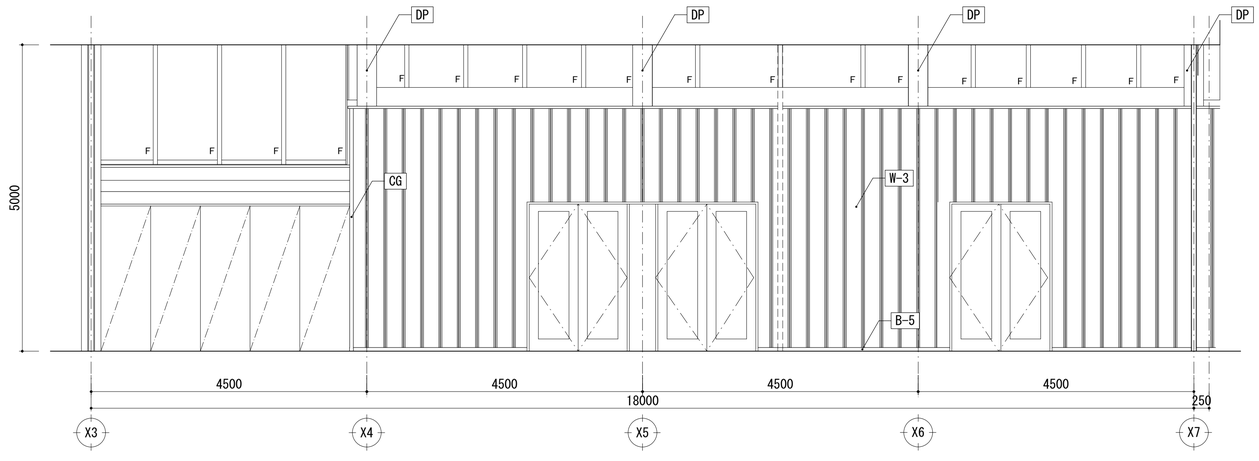
図面名称　展開図-5

Scale　(A1版)：1：50　(A3版)：1：100

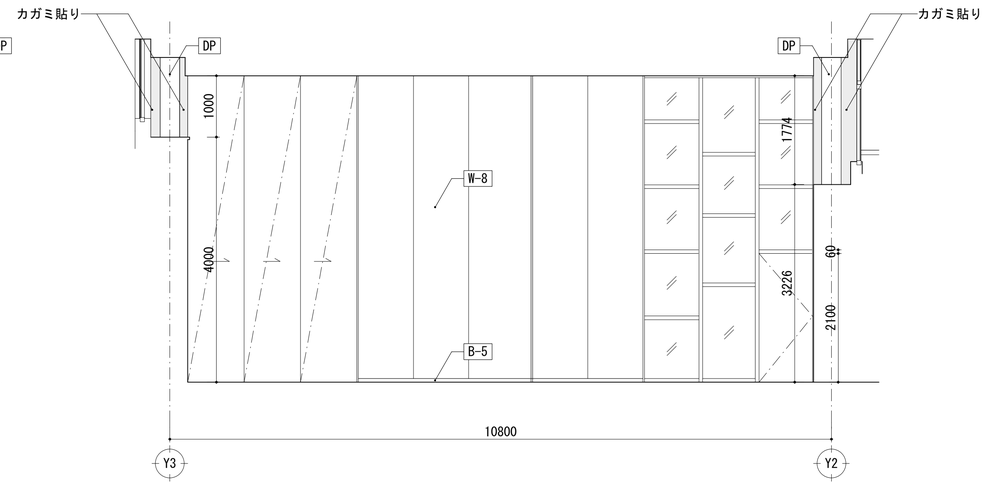
Date　2022.03

管理建築士　一級建築士　登録第182130号　原　英高

A－２６

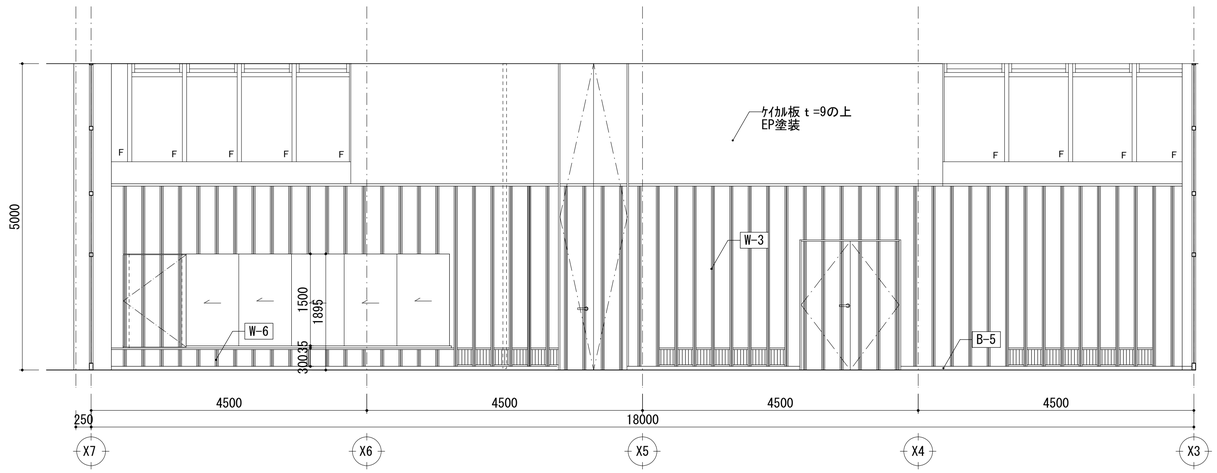


A

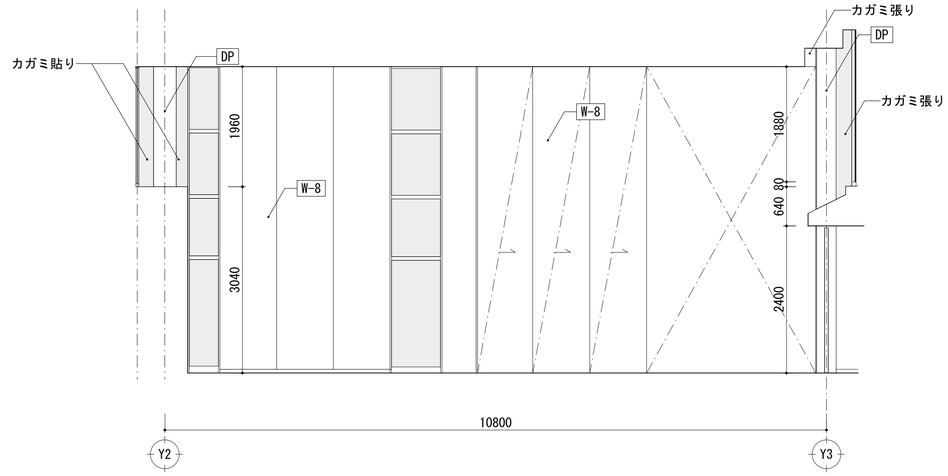


b

多目的ホール



C



D

記号	壁仕上	記号	壁仕上	記号	巾木仕上	記号	巾木仕上
W-1	ｸﾛｽ張り	W-6	EP塗装	B-1	ｿﾌﾄ巾木	DP	鉄骨柱:耐火塗装(1時間耐火)
W-2	化粧ｹｲｶﾙ板 t =6張り	W-7	内装薄塗材E	B-2	磁器質ﾀｲﾙ張り	K-20	ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ
W-3	有孔ｹｲｶﾙ板 t =8.0 EP塗装　木製桟木張り	W-8	化粧ｼｰﾄ張り	B-3	畳寄せ	F	木製枠 t =25　WP塗り
W-4	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞｶﾞﾗｽｸﾛｽ t =25張り			B-4	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しEP塗装	CG	ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ:木製60×60WP塗り
W-5	ｶﾗｰSGL鋼板立平張り t =0.4			B-5	木製巾木		

有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　(仮称) 魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

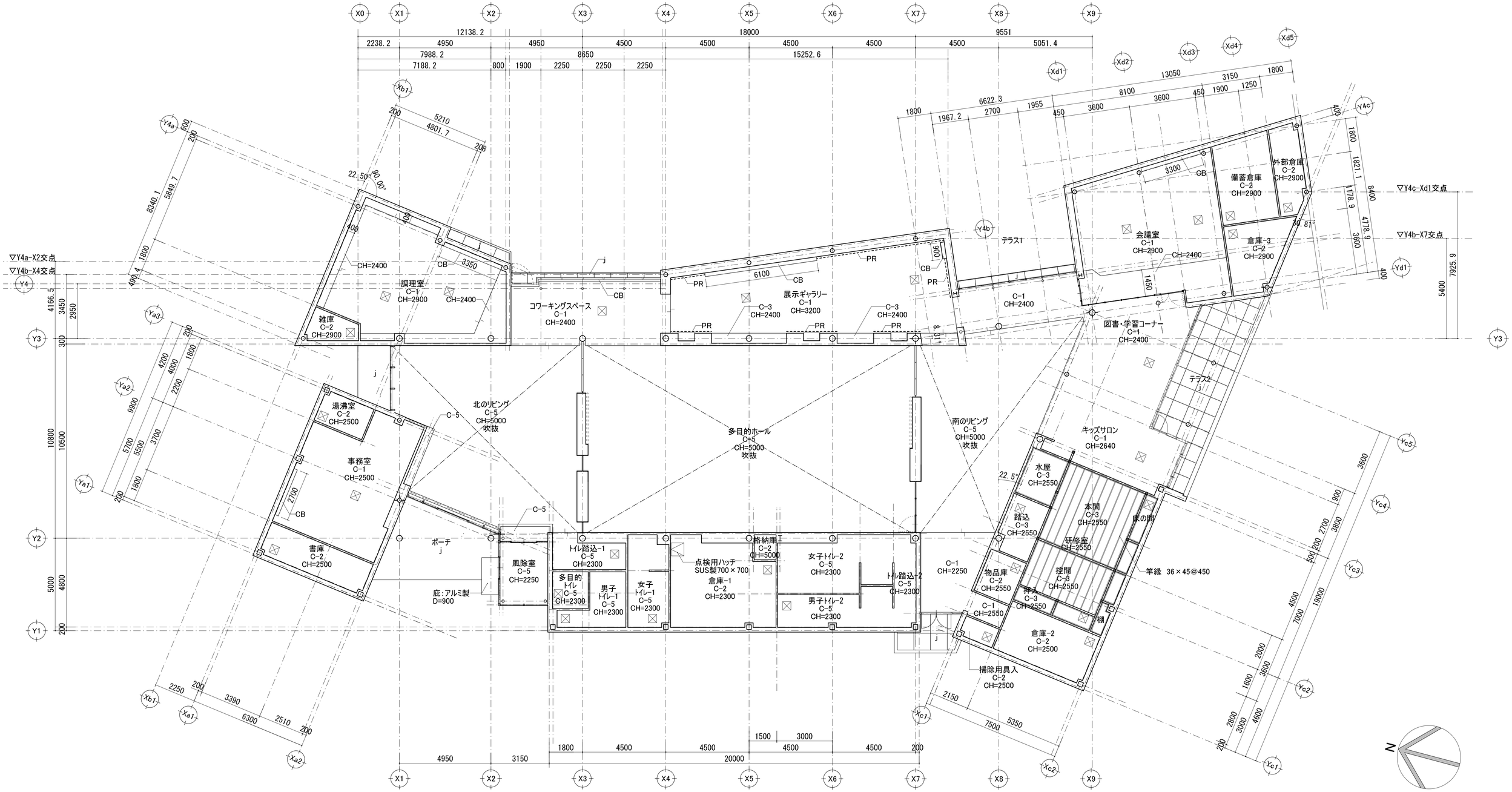
図面名称　展開図-6

Scale (A1版)：1：50　(A3版)：1：100

Date 2022.03

管理建築士　一級建築士　登録第182130号　原　英高

A-27



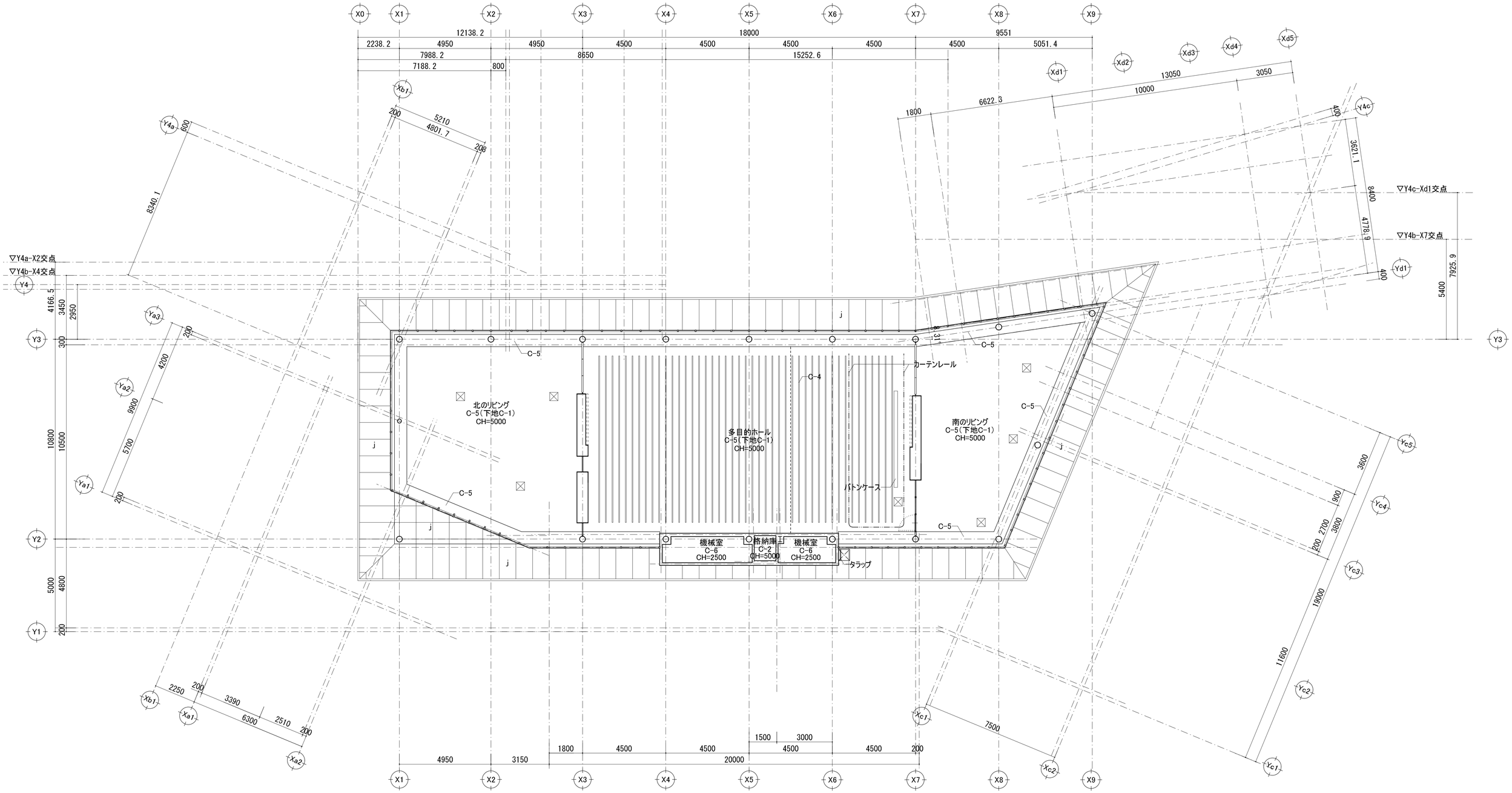
天井仕上表

符号	仕上	下地	符号	仕上
C-1	岩綿吸音板　t=9	LGS19/PB t＝9.5	j	ケイカル板t=6.0 EP塗
C-2	化粧石膏ボード　t=9.5	LGS19	CB	カーテンボックス 木製　150×150　SOP塗
C-3	クロス貼り AA級	LGS19/PB t＝9.5	PR	ピクチャーレール
C-4	アルミルーバー天井	LGS19/PB t＝9.5	☒	天井点検口　450□ 55ヶ所
C-5	EP塗装	LGS19/PB t＝9.5		
C-6	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞｶﾞﾗｽｸﾛｽ張り　t=25	LGS19/PB t＝9.5		

Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

図面名称	天井伏図-1	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高	A-28
Scale	(A1版)：1：100　(A3版)：1：200	Date	2022.03	



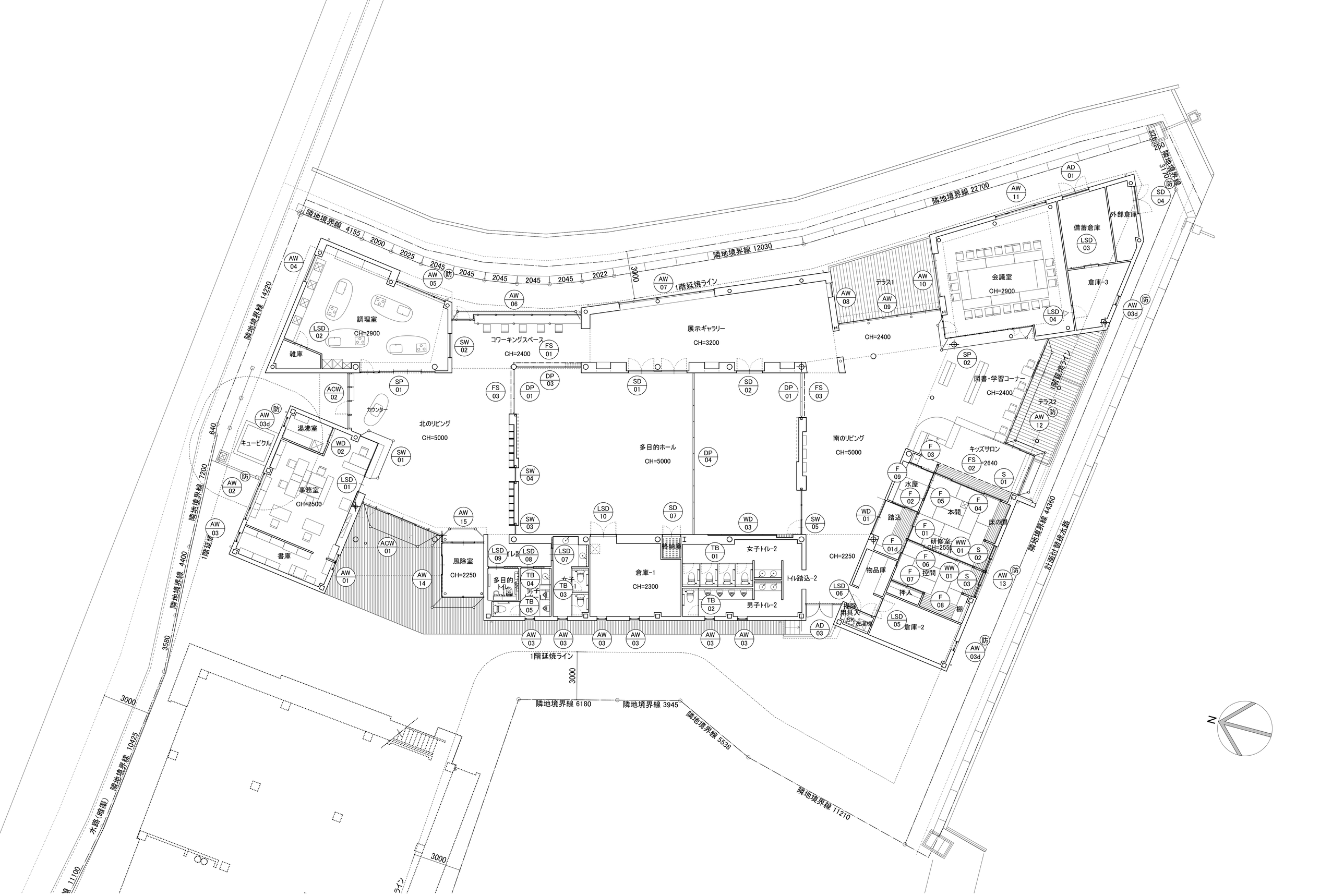
天井仕上表

符号	仕上	下地	符号	仕上
C-1	岩綿吸音板　t=9	LGS19/PB t＝9.5	j	ケイカル板=6.0 EP塗
C-2	化粧石膏ボード　t=9.5	LGS19	CB	カーテンボックス 木製　150×150　SOP塗
C-3	クロス貼り AA級	LGS19/PB t＝9.5	PR	ピクチャーレール
C-4	アルミルーバー天井	LGS19/PB t＝9.5	☒	天井点検口　450□ 55ヶ所
C-5	EP塗装	LGS19/PB t＝9.5		
C-6	ｹﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞｶﾞﾗｽｸﾛｽ張り　t=25	LGS19/PB t＝9.5		

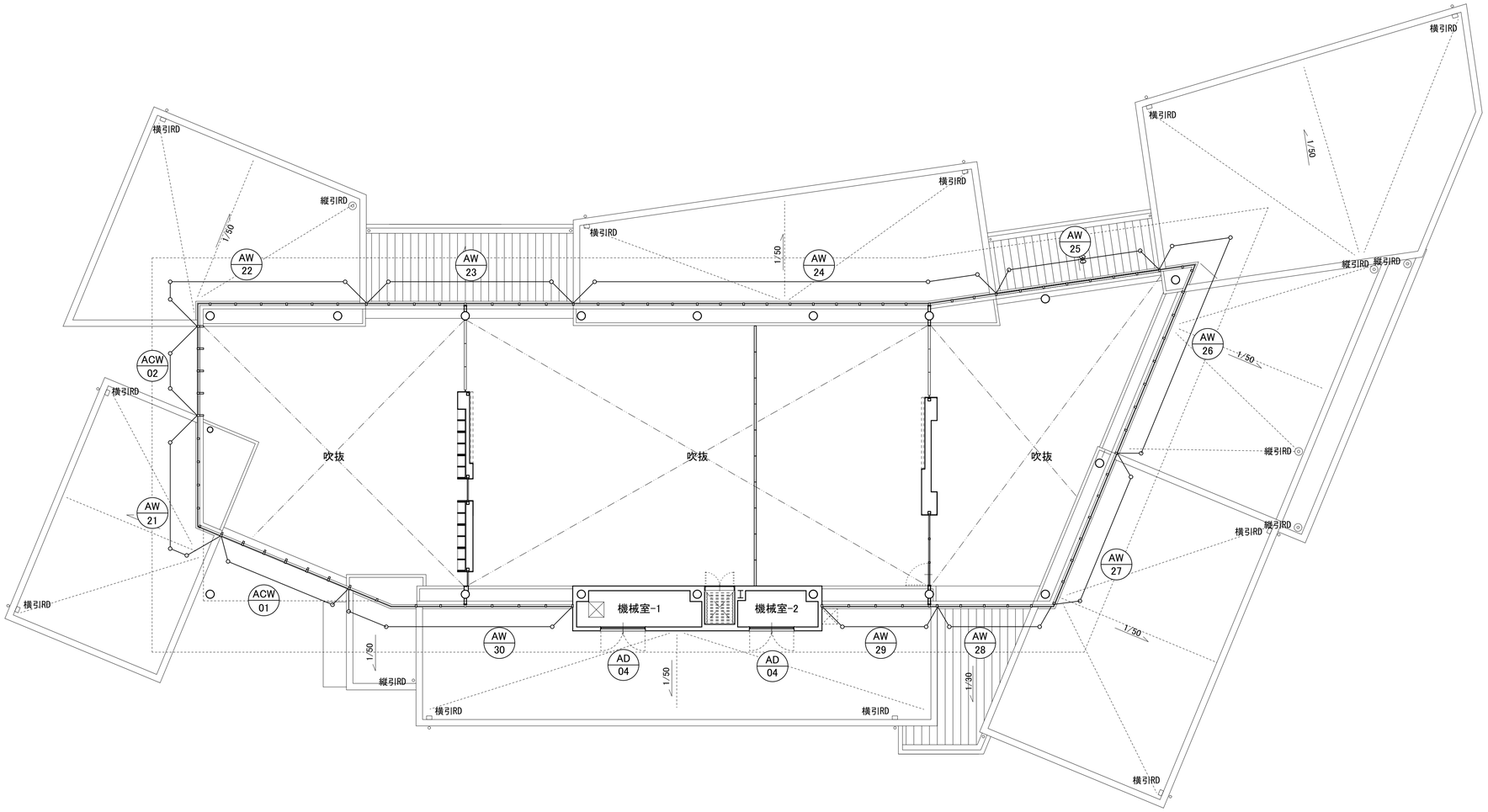
Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046　富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

図面名称	天井伏図-2	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高	A－２９
Scale	(A1版)：1：100　(A3版)：1：200	Date 2022.03		



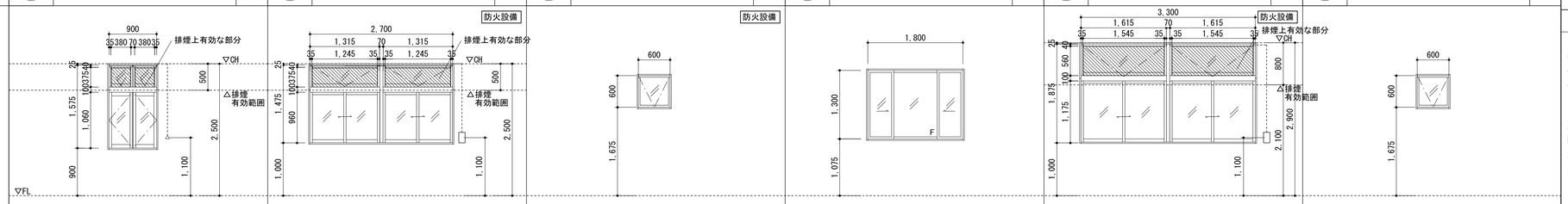
L a S Laboratory of Architectural Science	有限会社建築科学研究所	一級建築士事務所登録(7)871号 〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212 TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559		工事名称	（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事	図面名称	1階建具配置図	管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高
						Scale	(A1版)：1/100 (A3版)：1/200	Date 2022.03	A－30



Las Laboratory of Architectural Science	有限会社建築科学研究所	一級建築士事務所登録(7)871号 〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212 TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559	工事名称	（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事	図面名称	2階建具配置図	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高	A－３１
					Scale	(A1版)： 1/100 (A3版)： 1/200	Date 2022.03		

符号	使用箇所	数量
AW 01	事務室-外部	1
AW 02	事務室～外部	1
AW 03d	湯沸室・倉庫-2・3～外部	3
AW 04	調理室-外部	1
AW 05	調理室-外部	1
AW 03	トイレ-外部 倉庫-1ー外部	7

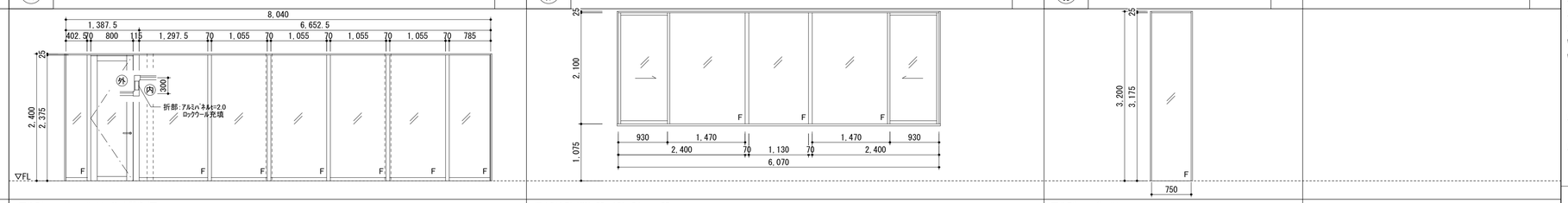
形式 W・H



	事務室-外部	事務室～外部	湯沸室・倉庫-2・3～外部	調理室-外部	調理室-外部	トイレ-外部 倉庫-1ー外部
型式	アルミ製両片開き上部外倒し排煙窓	アルミ製引違い窓上部外倒し排煙窓	アルミ製外倒し窓	アルミ製両片引き窓	アルミ製引違い窓上部外倒し排煙窓	アルミ製外倒し窓
仕上 見込	ALカラー 70	ALカラー 70	ALカラー 70	ALカラー 70	ALカラー 70	ALカラー 70
枠 見込 見付 材質 仕上	165 25 ALカラー	165 25 ALカラー	165 25 ALカラー	165 25 ALカラー	165 25 ALカラー	165 25 ALカラー
金物	ｶﾑﾗｯﾁﾊﾝﾄﾞﾙ 排煙ﾗｯﾁ錠ﾎﾞｰﾙﾁｪｰﾝ付 付属金物一式	クレセント 排煙オペレーター 付属金物一式	排煙ﾗｯﾁ錠ﾎﾞｰﾙﾁｪｰﾝ付 付属金物一式	排煙オペレーター 付属金物一式	排煙オペレーター 付属金物一式	排煙ﾗｯﾁ錠ﾎﾞｰﾙﾁｪｰﾝ付 付属金物一式
ガラス	LSPG(5+A+5)	LSWPG(6.8+A+5)	LFWPG(6.8+A+5)	LSPG(5+A+5)	LSWPG(6.8+A+5)	FPG(5+A+5)
備考	ロール網戸	網戸	網戸	網戸	網戸	網戸

符号	使用箇所	数量
AW 06	ｺﾜｰｷﾝｸﾞｽﾍﾟｰｽ～外部	1
AW 07	展示ギャラリー～外部	1
AW 08	展示ギャラリー～外部	1

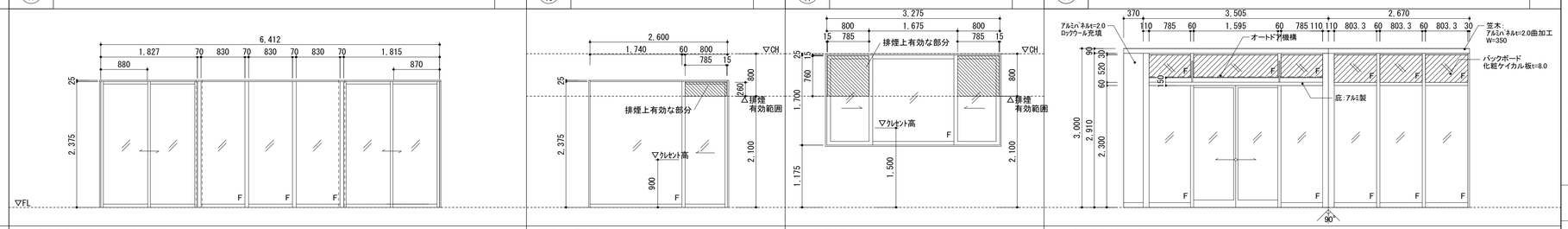
形式 W・H



	ハメ殺し連窓窓一部片開きドア	アルミ製引き違い窓上部外倒し排煙窓	アルミ製ハメ殺し窓
型式	アルミ製ハメ殺し連窓窓一部片開きドア	アルミ製引き違い窓上部外倒し排煙窓	アルミ製ハメ殺し窓
仕上 見込	ALカラー 70	ALカラー 70	ALカラー 70
枠 見込 見付 材質 仕上	165 25 ALカラー	25 25 ALカラー 下枠 400 30 ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ(建築工事) 額縁以降ｸﾛｽ貼廻し(建築工事)	25 25 ALカラー 額縁以降ｸﾛｽ貼廻し(建築工事)
金物	DC LH H PD 付属金物一式	クレセント 付属金物一式	
ガラス	LSPG(5+A+5)	LSPG(5+A+5)	LSPG(5+A+5)
備考		網戸	

符号	使用箇所	数量
AW 09	南のリビング～外部	1
AW 10	会議室～外部	1
AW 11	会議室～外部	1
AW 14	風除室	1

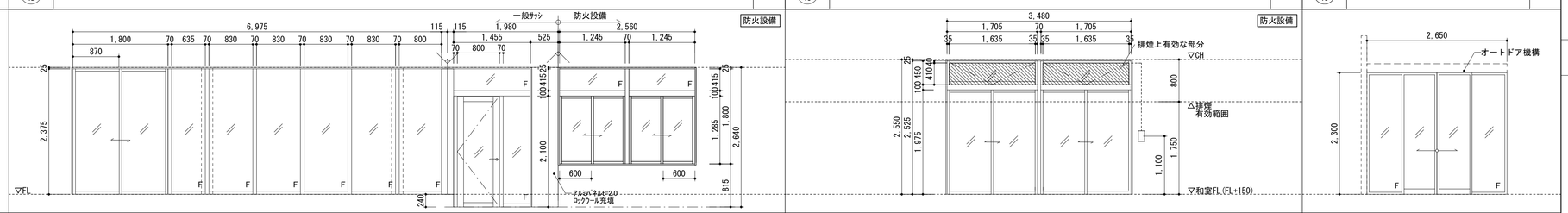
形式 W・H



	南のリビング～外部	会議室～外部	会議室～外部	風除室
型式	アルミ製引き違い窓中央部嵌め殺し連窓窓	アルミ製片引き窓	アルミ製両片引き窓	アルミ製引き分けオートドア袖FIX
仕上 見込	ALカラー 70	ALカラー 70	ALカラー 70	ALカラー 100
枠 見込 見付 材質 仕上	25 25 ALカラー 額縁以降ｸﾛｽ貼廻し(建築工事)	25 25 ALカラー 額縁以降ｸﾛｽ貼廻し(建築工事)	120 25 ALカラー	
金物	クレセント 付属金物一式	クレセント 付属金物一式	クレセント 付属金物一式	オートドア(天井隠蔽型) PD 付属品一式
ガラス	LSPG(5+A+5)	LSPG(5+A+5)	LSPG(5+A+5)	FIX部：LSPG(L5+A6+TG8) 障子部：強化ガラスアルミフレームタイプ
備考	網戸	網戸	網戸	庇ｱﾙﾐ製既製品取付 L=3300 D=900 積雪150cm対応 (ｱﾙﾐ庇AD1(ｱﾙﾌｨｯｸ)同等品)

符号	使用箇所	数量
AW 12	図書・学習コーナー・キッズサロン～外部	1
AW 13	本間・控間～外部	1
AW 15	風除室～北のリビング	1

形式 W・H



	図書・学習コーナー・キッズサロン～外部	本間・控間～外部	風除室～北のリビング
型式	アルミ製ハメ殺し連窓窓一部引違い片開きサッシ	アルミ製引き違い窓上部外倒し排煙窓	アルミ製引き分けオートドア袖FIX
仕上 見込	ALカラー 70	ALカラー 70	ALカラー 100
枠 見込 見付 材質 仕上	120 25 ALカラー	165 25 ALカラー	
金物	クレセント DC LH H 付属金物一式	排煙オペレーター 付属金物一式	オートドア(天井隠蔽型) PD 付属品一式
ガラス	LSPG(5+A+5) SWPG(6.8+A+5)(防火設備部)	LSWPG(6.8+A+5)	FIX部：LSPG(L5+A6+TG8) 障子部：強化ｶﾞﾗｽｱﾙﾐﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
備考		網戸	

記号凡例

建具符号

AW	アルミサッシ
AD	アルミドア
AG	アルミ製ガラリ（図示なき限り見込み70、開口率30%内外とする。）
AM	アルミ面格子
MP	アルミ門扉
SW	鋼製窓
SD	鋼製ドア（図示なき限り見込み40とする。）鋼製三方（ステンレス製を含む。）
LSD	軽量鋼製ドア（図示なき限り見込み40とする。）
SS	鋼製シャッター（ステンレス製を含む。）
SG	鋼製ガラリ（ステンレス製を含む。）
STW	ステンレス製窓
STD	ステンレス製ドア
STG	ステンレス製ガラリ
WW	木製窓
WD	木製ドア（図示なき限り見込み40とする。）
F	襖
S	障子
P	間仕切
SF	防煙垂れ壁

建具金物符号

PH	ピボットヒンジ
H	丁番（ステンレス製）
FH	フロアヒンジ
AH	オートヒンジ
DC	ドアチェック
AS	アームストッパー
PD	シリンダー本締り鍵（ドアホルダー付、床付、壁付の別は現場指示とする。特記なき限り、全ての開き戸引き戸に設ける。）
F	フランス落し
CM	シリンダーモノロック
C	空錠（握玉付）
GR	引違戸用鍵（特記なき限り3点締りとする。）
LI	表示付ラッチ鍵
LH	レバーハンドル（ステンレス製）.
CH	ケースハンドル（ステンレス製）.
EL	電気鍵
PP	押板（引手）（図示なき限りｽﾃﾝﾚｽ製とする。）
PB	把手（図示なき限りｽﾃﾝﾚｽ製又はアルミ合金製 L=600内外）

ガラス符号

SG	透明みがきガラス
FG	型板ガラス
LSPG	Low-E透明ペアーガラス
SPG	透明ペアーガラス
LFPG	Low-E型板ペアーガラス（外部型板、内部透明）
FPG	型板ペアーガラス（外部型板、内部透明）
SWG	網入みがきガラス
FWG	網入型板ガラス
LSWPG	Low-E網入みがきペアガラス
LFWPG	Low-E網入型板ペアガラス
TG	強化ガラス
HFG	熱線吸収ガラス
CFG	熱線反射ガラス
STG	強化ガラス（学校用タイプ）
FTG	フロストガラス

塗装符号

OP	油性ペイント
AP	アクリル系ペイント
VP	ビニール系ペイント
CL	クリアラッカー
SOP	合成樹脂調合ペイント
WP	自然木部用浸透型着色剤

材質符号

S	鋼
AL	アルミ
ST	ステンレス
BR	真ちゅう

特記

排煙オペレーターは隠ぺい式とする。

高所排煙窓の開閉角度は、90° その他特記なき排煙窓となる全ての外倒し窓の開閉角度は、60°

Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

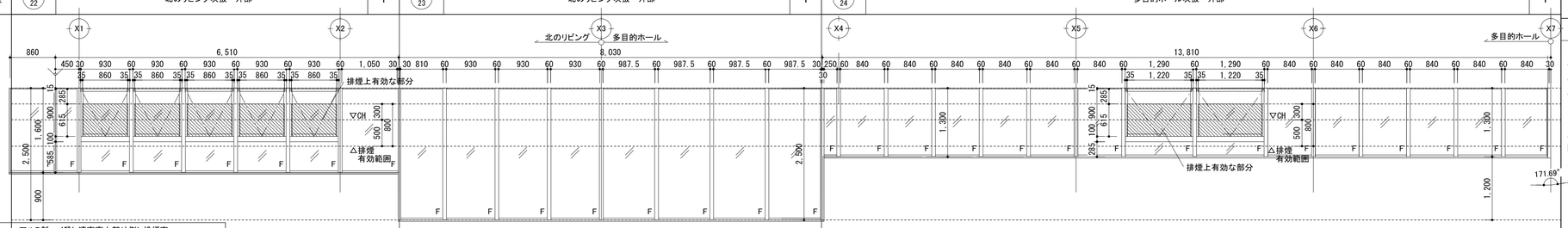
工事名称 （仮称）魚津市本江地域交流センター新築工事 建築主体工事

図面名称	建具表-1	管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高
Scale	(A1版)： 1：50 (A3版)： 1：100	Date 2022.03	

A－32

符号	使用箇所	数量
AW 22	北のリビング吹抜～外部	1
AW 23	北のリビング吹抜～外部	1
AW 24	多目的ホール吹抜～外部	1

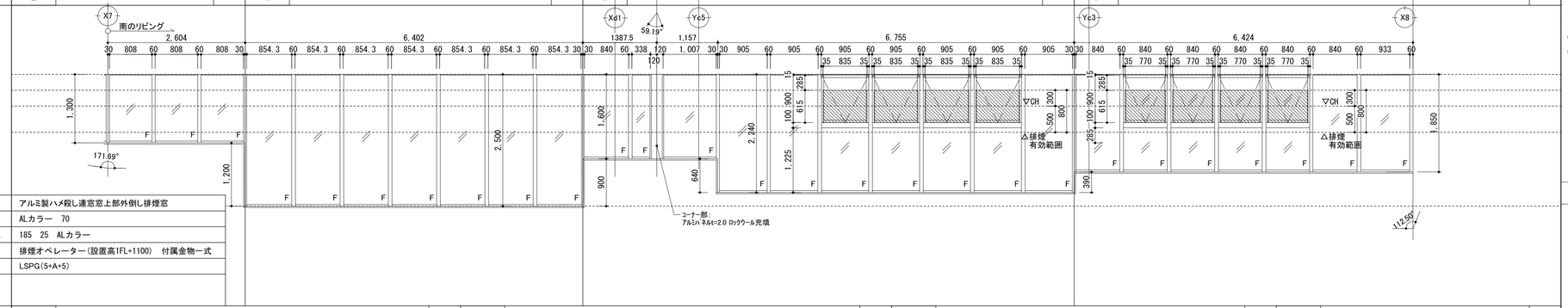
形式 W・H



型式	アルミ製ハメ殺し連窓窓上部外倒し排煙窓
仕上 見込	ALカラー 70
枠 見込 見付 材質 仕上	185 25 ALカラー
金物	排煙オペレーター(設置高1FL+1100) 付属金物一式
ガラス	LSPG(5+A+5)
備考	

符号	使用箇所	数量
AW 24	南のリビング吹き抜け一外部	1
AW 25	南のリビング吹き抜け一外部	1
AW 26	南のリビング吹き抜け一外部	1
AW 27	南のリビング吹き抜け一外部	1

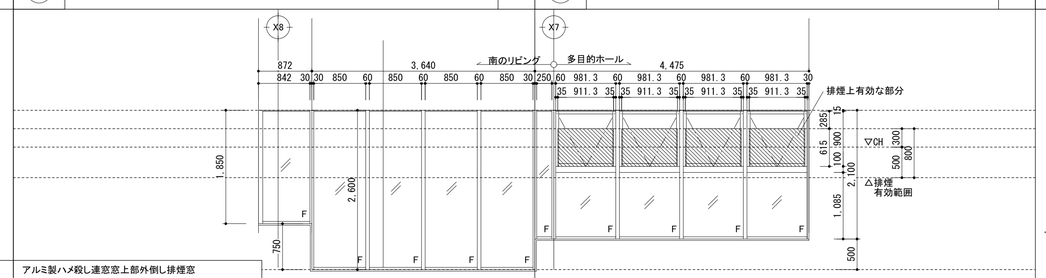
形式 W・H



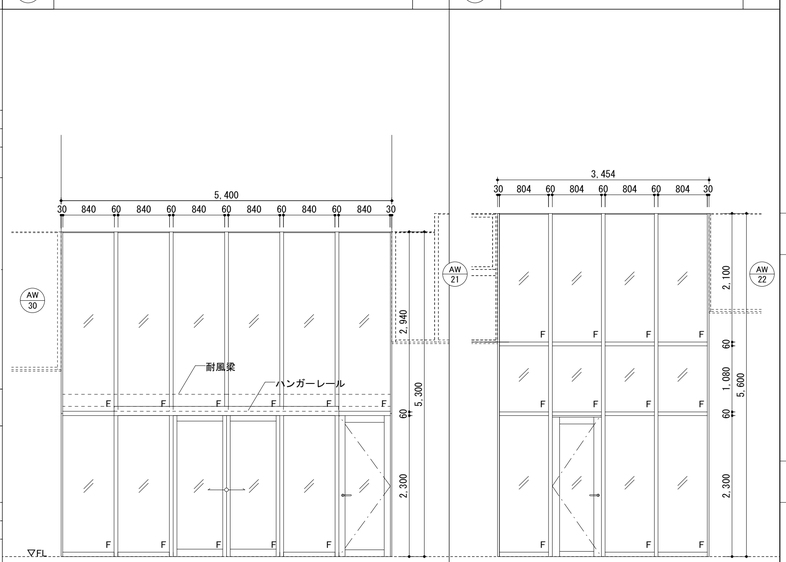
型式	アルミ製ハメ殺し連窓窓上部外倒し排煙窓
仕上 見込	ALカラー 70
枠 見込 見付 材質 仕上	185 25 ALカラー
金物	排煙オペレーター(設置高1FL+1100) 付属金物一式
ガラス	LSPG(5+A+5)
備考	

符号	使用箇所	数量
AW 28	南のリビング吹抜～外部	1
AW 29	多目的ホール～外部	1
ACW 01	北のリビング-外部	1
ACW 02	北のリビング-外部	1

形式 W・H

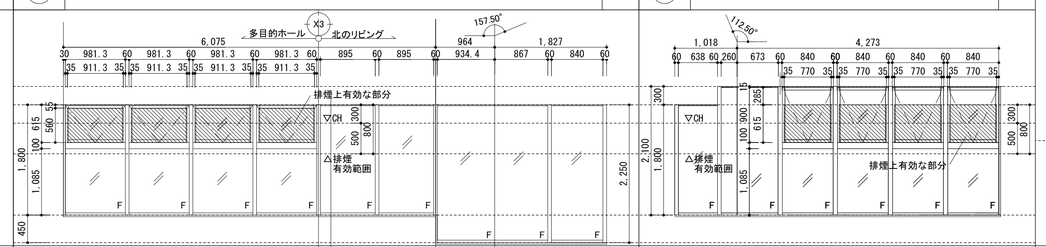


型式	アルミ製ハメ殺し連窓窓上部外倒し排煙窓
仕上 見込	ALカラー 70
枠 見込 見付 材質 仕上	185 25 ALカラー
金物	排煙オペレーター(設置高1FL+1100) 付属金物一式
ガラス	LSPG(5+A+5)
備考	



符号	使用箇所	数量
AW 30	多目的ホール・北のリビング～外部	1
AW 21	北のリビング-外部	1

形式 W・H



型式	アルミ製ハメ殺し連窓窓上部外倒し排煙窓	アルミ製ハメ殺し連窓窓上部外倒し排煙窓
仕上 見込	ALカラー 70	ALカラー 70
枠 見込 見付 材質 仕上	185 25 ALカラー	185 25 ALカラー
金物	排煙オペレーター(設置高1FL+1100) 付属金物一式	排煙オペレーター(設置高1FL+1100) 付属金物一式
ガラス	LSPG(5+A+5)	LSPG(5+A+5)
備考		

アルミ製カーテンウォール 片開きドア 両引き分けハンガー框戸	アルミ製カーテンウォール 片開きドア
アルミカラー 250	アルミカラー 250
180 25 S SOP	180 25 S SOP
LH DC PD 付属金物一式	DC PD LH 付属金物一式
LSPG(6+A+8)	LSPG(6+A+8)

記号凡例

建具符号

AW	アルミサッシ
AD	アルミドア
AG	アルミ製ガラリ (図示なき限り見込み70、開口率30%内外とする。)
AM	アルミ面格子
MP	アルミ門扉
SW	鋼製窓
SD	鋼製ドア (図示なき限り見込み40とする。) 鋼製三方 (ステンレス製を含む。)
LSD	軽量鋼製ドア (図示なき限り見込み40とする。)
SS	鋼製シャッター (ステンレス製を含む。)
SG	鋼製ガラリ (ステンレス製を含む。)
STW	ステンレス製窓
STD	ステンレス製ドア
STG	ステンレス製ガラリ
WW	木製窓
WD	木製ドア (図示なき限り見込み40とする。)
F	襖
S	障子
P	間仕切
SF	防煙垂れ壁

建具金物符号

PH	ピボットヒンジ
H	丁番（ステンレス製）
FH	フロアヒンジ
AH	オートヒンジ
DC	ドアチェック
AS	アームストッパー
PD	シリンダー本締り鍵 (ドアホルダー付、床付、壁付の別は現場指示とする。特記なき限り、全ての開き戸引き戸に設ける。)
F	フランス落し
CM	シリンダーモノロック
C	空錠（握玉付）
GR	引違戸用鍵 (特記なき限り3点締りとする。)
LI	表示付ラッチ鍵
LH	レバーハンドル (ステンレス製)．
CH	ケースハンドル (ステンレス製)．
EL	電気錠
PP	押板（引手） (図示なき限りｽﾃﾝﾚｽ製とする。)
PB	把手 (図示なき限りｽﾃﾝﾚｽ製又はアルミ合金製 L=600内外)

ガラス符号

SG	透明みがきガラス
FG	型板ガラス
LSPG	Low-E透明ペアーガラス
SPG	透明ペアーガラス
LFPG	Low-E型板ペアーガラス (外部型板、内部透明)
FPG	型板ペアーガラス (外部型板、内部透明)
SWG	網入みがきガラス
FWG	網入型板ガラス
LSWPG	Low-E網入みがきペアガラス
LFWPG	Low-E網入型板ペアガラス
TG	強化ガラス
HFG	熱線吸収ガラス
CFG	熱線反射ガラス
STG	強化ガラス (学校用タイプ)
FTG	フロストガラス

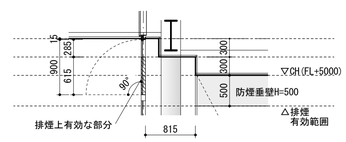
塗装符号

OP	油性ペイント
AP	アクリル系ペイント
VP	ビニール系ペイント
CL	クリアラッカー
SOP	合成樹脂調合ペイント
WP	自然木部用浸透型着色剤

材質符号

S	鋼
AL	アルミ
ST	ステンレス
BR	真ちゅう

高所排煙窓詳細



特記

排煙オペレーターは隠ぺい式とする。

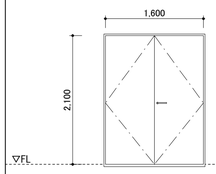
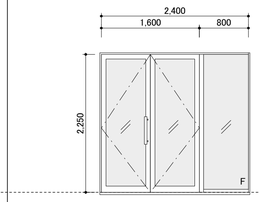
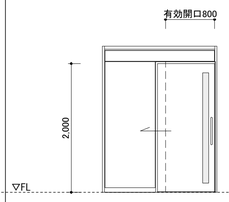
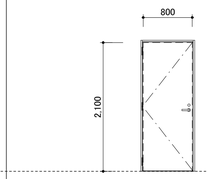
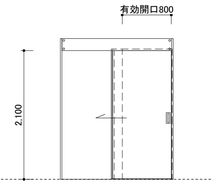
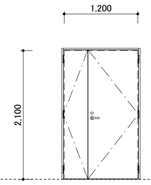
高所排煙窓の開閉角度は、90° その他特記なき排煙窓となる全ての外倒し窓の開閉角度は、60°

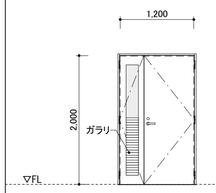
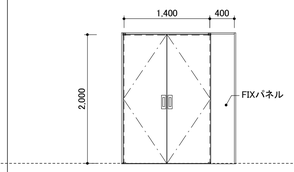
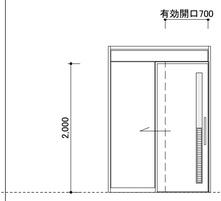
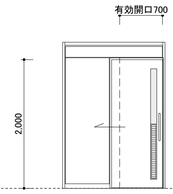
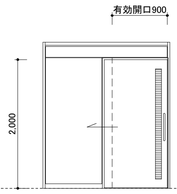
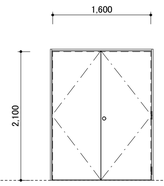
LAS Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

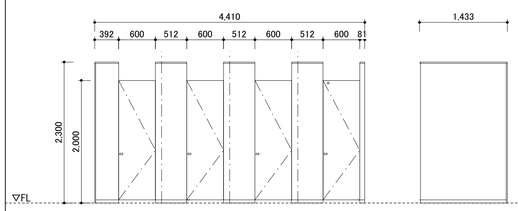
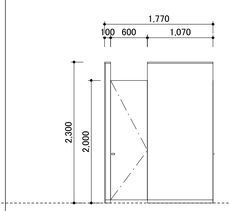
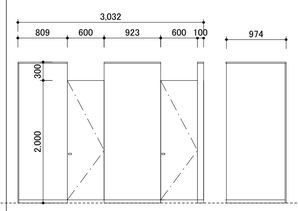
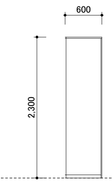
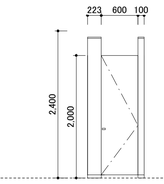
工事名称 （仮称）魚津市本江地域交流センター新築工事 建築主体工事

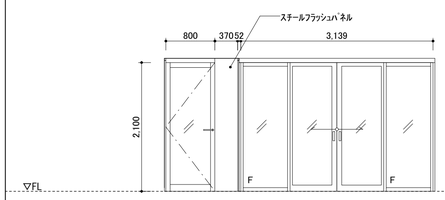
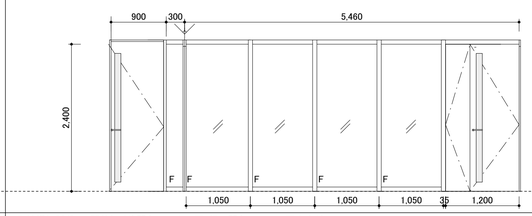
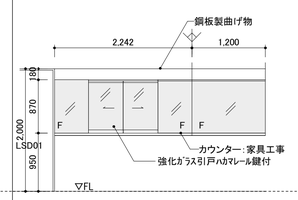
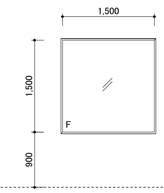
図面名称	建具表-2	管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高
Scale	(A1版)： 1：50 (A3版)： 1：100	Date	2022.03

A-33

符号	使用箇所	数量	AD 01	AD 04	備蓄倉庫-外部 機械室-外部	3	AD 03	南のリビング-外部	1	LSD 01	事務室-北のリビング	1	LSD 02	調理室-雑庫	1	LSD 03	備蓄倉庫-倉庫-3	1	LSD 04	会議室-倉庫-3	1
形式 W・H																					
型式			アルミ製両開きフラッシュドア				アルミ製片開きガラス框ドア袖ハメ殺し窓			軽量鋼板製片引きドア ビルトインタイプ			軽量鋼板製片開きドア			軽量鋼板製片引きドア 外付け型			軽量鋼板製親子開きドア		
仕上 見込			ALカラー 70				ALカラー 70			化粧鋼板 40			化粧鋼板 40			化粧鋼板 40			化粧鋼板 40		
枠	見込 見付 材質 仕上		165 25 ALカラー				120 25 ALカラー			180 25 S SOP			137 25 S SOP			180 25 S SOP			137 25 S SOP		
金物			DC LH(AD04ｸﾞﾚﾓﾝﾊﾝﾄﾞﾙ) H PD				PB F PH PD DC			ｵｰﾄｸﾛｰｻﾞｰ PB PD 表示付鍵錠 付属金物一式			LH DC H PD 付属金物一式 ステンレス容摺			ｵｰﾄｸﾛｰｻﾞｰ 握り込み引手 PD 付属金物一式 ステンレス容摺			LH DC H F PD 付属金物一式 ステンレス容摺		
ガラス							LSPG(L5+A6+TG8)			SG3											
備考																					

符号	使用箇所	数量	LSD 05	南のリビング-倉庫-2	1	LSD 06	南のリビング-掃除用具入れ	1	LSD 07	女子トイレ-1	1	LSD 08	男子トイレ-1	1	LSD 09	多目的トイレ	1	LSD 10	多目的ホール-倉庫-1	1
形式 W・H																				
型式			軽量鋼板製親子開きドア			軽量鋼板製両開きドア袖FIXパネル			軽量鋼板製片引きドア 戸袋タイプ			軽量鋼板製片引きドア 戸袋タイプ			軽量鋼板製片引きドア 戸袋タイプ			軽量鋼板製両開きドア		
仕上 見込			化粧鋼板 40			化粧鋼板 40			化粧鋼板 40			化粧鋼板 40			化粧鋼板 40			化粧鋼板 40 多目的ホール側:化粧壁材貼り(内装工事)		
枠	見込 見付 材質 仕上		137 25 S SOP			137 25 S SOP			180 25 S SOP			180 25 S SOP			180 25 S SOP			100 三方枠FB加工 SOP		
金物			LH DC H F PD 付属金物一式 ステンレス容摺			SUS埋め込み引手PH F 付属金物一式			ｵｰﾄｸﾛｰｻﾞｰ PB 表示付鍵錠 付属金物一式 ステンレス容摺			ｵｰﾄｸﾛｰｻﾞｰ PB 表示付鍵錠 付属金物一式 ステンレス容摺			ｵｰﾄｸﾛｰｻﾞｰ PB 表示付鍵錠 付属金物一式			PH DC PD F CH		
ガラス			FTG3						FTG3+ガラリ			FTG3+ガラリ			ガラリ					
備考									自閉式			自閉式			自閉式			自閉式		

符号	使用箇所	数量	TB 01	女子トイレ-2	1	TB 02	男子トイレ-2	1	TB 03	女子トイレ-1	1	TB 04	男子トイレ-1	1	TB 05	男子トイレ-1	1
形式 W・H																
型式			軽量鋼板製トレブース			軽量鋼板製トレブース			軽量鋼板製トレブース			軽量鋼板製トレブース			軽量鋼板製トレブース	
仕上 見込			化粧鋼板 40			化粧鋼板 40			化粧鋼板 40			化粧鋼板 40			化粧鋼板 40	
枠	見込 見付 材質 仕上																
金物			表示付ﾗｯﾁｽﾄﾗｲｸ ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ 頭つなぎ ステンレス巾木 付属品一式			表示付ﾗｯﾁｽﾄﾗｲｸ ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ 頭ﾂﾅｷﾞ ｽﾃﾝﾚｽ巾木 付属品一式			表示付ﾗｯﾁｽﾄﾗｲｸ ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ 頭ﾂﾅｷﾞ ｽﾃﾝﾚｽ巾木 付属品一式			頭つなぎ ステンレス巾木 付属品一式			表示付ﾗｯﾁｽﾄﾗｲｸ ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ 頭ﾂﾅｷﾞ ｽﾃﾝﾚｽ巾木 付属品一式	
ガラス																	
備考																	

符号	使用箇所	数量	SP 01	調理室ー北のリビング	1	SP 02	会議室ー南のリビング	1	SW 01	北のリビング-事務室	1	SW 02	調理室-ｺﾜｰｷﾝｸﾞｽﾍﾟｰｽ	1
形式 W・H														
型式			片開きガラス框ドア 両引き分け框戸両袖FIX戸			化粧鋼板製ガラス間仕切り片開きフラッシュ戸・親子開きフラッシュ戸小窓付			化粧鋼板製受付窓			ハメ殺しスチール窓		
仕上 見込			化粧鋼板 ユニット厚 80			化粧鋼板 40 ユニット厚80			化粧鋼板 40 ダイノックシート貼り			化粧鋼板 40		
枠	見込 見付 材質 仕上		137 S SOP			137 S SOP			137 S SOP			70 S SOP		
金物			H DC PD LH 引き戸金物一式			H DC PD LH F								
ガラス			TG6			TG6			SG3			TG6		
備考														

記号凡例

建具符号

AW	アルミサッシ
AD	アルミドア
AG	アルミ製ガラリ （図示なき限り見込み70、開口率30%内外とする。）
AM	アルミ面格子
MP	アルミ門扉
SW	鋼製窓
SD	鋼製ドア （図示なき限り見込み40とする。） 鋼製三方 （ステンレス製を含む。）
LSD	軽量鋼製ドア （図示なき限り見込み40とする。）
SS	鋼製シャッター （ステンレス製を含む。）
SG	鋼製ガラリ （ステンレス製を含む。）
STW	ステンレス製窓
STD	ステンレス製ドア
STG	ステンレス製ガラリ
WW	木製窓
WD	木製ドア （図示なき限り見込み40とする。）
F	襖
S	障子
P	間仕切
SF	防煙垂れ壁

建具金物符号

PH	ピボットヒンジ
H	丁番（ステンレス製）
FH	フロアヒンジ
AH	オートヒンジ
DC	ドアチェック
AS	アームストッパー
PD	シリンダー本締り鍵 （ドアホルダー付、床付、壁付の別は現場指示とする。特記なき限り、全ての開き戸引き戸に設ける。）
F	フランス落し
CM	シリンダーモノロック
C	空錠（握玉付）
GR	引違戸用錠 （特記なき限り3点締りとする。）
LI	表示付ラッチ鍵
LH	レバーハンドル （ステンレス製）.
CH	ケースハンドル （ステンレス製）.
EL	電気鍵
PP	押板（引手） （図示なき限りｽﾃﾝﾚｽ製とする。）
PB	把手 （図示なき限りｽﾃﾝﾚｽ製又はアルミ合金製 L=600内外）

ガラス符号

SG	透明みがきガラス
FG	型板ガラス
LSPG	Low-E透明ペアーガラス
SPG	透明ペアーガラス
LFPG	Low-E型板ペアーガラス （外部型板、内部透明）
FPG	型板ペアーガラス （外部型板、内部透明）
SWG	網入みがきガラス
FWG	網入型板ガラス
LSWPG	Low-E網入みがきペアガラス
LFWPG	Low-E網入型板ペアガラス
TG	強化ガラス
HFG	熱線吸収ガラス
CFG	熱線反射ガラス
STG	強化ガラス （学校用タイプ）
FTG	フロストガラス

塗装符号

OP	油性ペイント
AP	アクリル系ペイント
VP	ビニール系ペイント
CL	クリアラッカー
SOP	合成樹脂調合ペイント
WP	自然木部用浸透型着色剤

材質符号

S	鋼
AL	アルミ
ST	ステンレス
BR	真ちゅう

特記

排煙オペレーターは隠ぺい式とする。

高所排煙窓の開閉角度は、90° その他特記なき排煙窓となる全ての外倒し窓の開閉角度は、60°

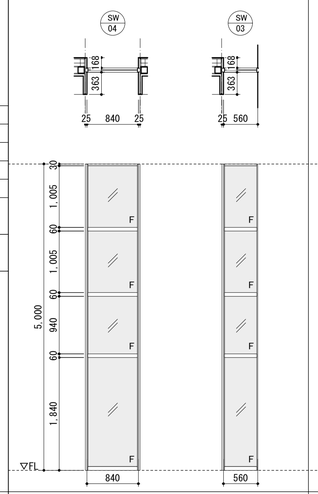
Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称 （仮称）魚津市本江地域交流センター新築工事 建築主体工事

図面名称	建具表-3	管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高	A-34
Scale	(A1版)： 1：50 (A3版)： 1：100	Date 2022.03		

符号	使用箇所	数量
SW 03 / SW 04	北のリビング－多目的ホール	1

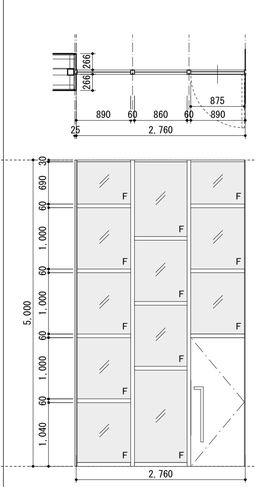
形式 W・H



	SW 03 / SW 04 北のリビング－多目的ホール 1
型式	鋼製FIX窓
仕上 見込	S SOP 70
枠 見込 見付 材質 仕上	363・168 25 S SOP
金物	
ガラス	TG6
備考	

符号	使用箇所	数量
SW 05	南のリビング－多目的ホール	1

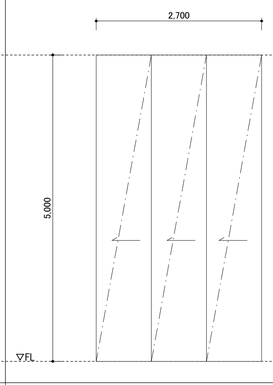
形式 W・H



	SW 05 南のリビング－多目的ホール 1
型式	鋼製FIX窓 片開ドア
仕上 見込	S SOP 70
枠 見込 見付 材質 仕上	266・266 25 S SOP
金物	PH DC PD 押棒
ガラス	TG6
備考	

符号	使用箇所	数量
DP 01	北・南のリビング－多目的ホール	2

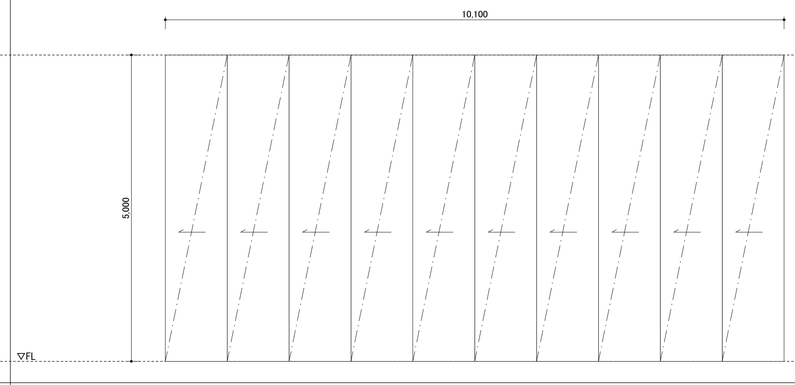
形式 W・H



	DP 01 北・南のリビング－多目的ホール 2
型式	遮音移動間仕切り 回転ハンドル式
仕上 見込	溶融亜鉛メッキ鋼板t=0.6焼付塗装 80
枠 見込 見付 材質 仕上	
金物	付属金物一式
ガラス	
備考	圧接方式：回転ハンドル方式（DP-80（コマニー）同等品）

符号	使用箇所	数量
DP 04	多目的ホール	1

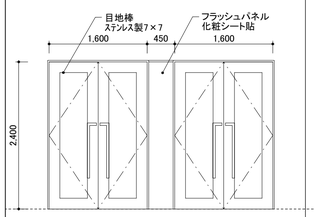
形式 W・H



	DP 04 多目的ホール 1
型式	移動間仕切り 回転ハンドル式
仕上 見込	溶融亜鉛メッキ鋼板t=0.6焼付塗装 80
枠 見込 見付 材質 仕上	
金物	付属金物一式
ガラス	
備考	圧接方式：回転ハンドル方式（DP-80（コマニー）同等品）

符号	使用箇所	数量
SD 01	展示ギャラリー－多目的ホール	1

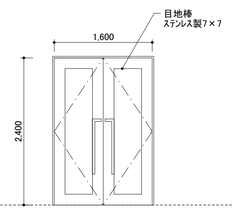
形式 W・H



	SD 01 展示ギャラリー－多目的ホール 1
型式	両開き鋼製框戸鏡板両面フラッシュ
仕上 見込	框部・鏡板：ダイノックシート貼り 50
枠 見込 見付 材質 仕上	150 25 S SOP
金物	PH DC(コンシールド) PD 押棒
ガラス	
備考	遮音性能 T2

符号	使用箇所	数量
SD 02	展示ギャラリー－多目的ホール	1

形式 W・H

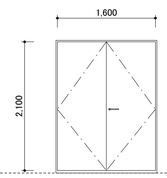


	SD 02 展示ギャラリー－多目的ホール 1
型式	両開き鋼製框戸鏡板両面フラッシュ
仕上 見込	←
枠 見込 見付 材質 仕上	150 25 S SOP
金物	PH DC(コンシールド) PD 押棒
ガラス	
備考	遮音性能 T2

符号	使用箇所	数量
SD 04	外部倉庫－外部	1

防火設備

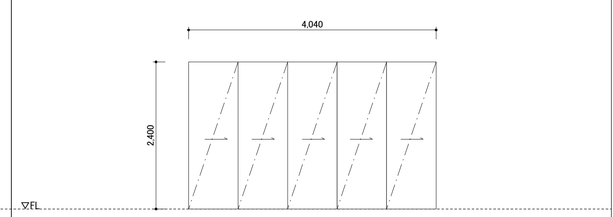
形式 W・H



	SD 04 外部倉庫－外部 1
型式	鋼製両開きフラッシュドア
仕上 見込	ｽﾁｰﾙ 対候性フッ素樹脂塗装
枠 見込 見付 材質 仕上	165 25 ｽﾁｰﾙ 対候性フッ素樹脂塗装 ｽﾃﾝﾚｽ容摺
金物	DC LH H PD セミエアタイト仕様
ガラス	
備考	

符号	使用箇所	数量
DP 03	コワーキングスペース－多目的ホール	1

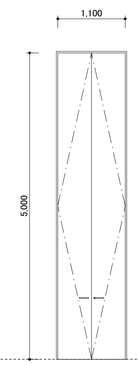
形式 W・H



	DP 03 コワーキングスペース－多目的ホール 1
型式	遮音移動間仕切り 回転ハンドル式
仕上 見込	溶融亜鉛メッキ鋼板t=0.6焼付塗装 60
枠 見込 見付 材質 仕上	
金物	付属金物一式
ガラス	
備考	圧接方式：回転ハンドル方式（DP-60S（コマニー）同等品）

符号	使用箇所	数量
SD 07	多目的ホール	1

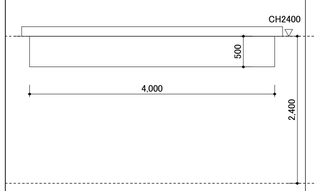
形式 W・H



	SD 07 多目的ホール 1
型式	移動間仕切り格納扉
仕上 見込	溶融亜鉛メッキ鋼板t=0.6焼付塗装 80
枠 見込 見付 材質 仕上	
金物	付属金物一式
ガラス	
備考	

符号	使用箇所	数量
SF 01	コワーキングスペース－多目的ホール	1

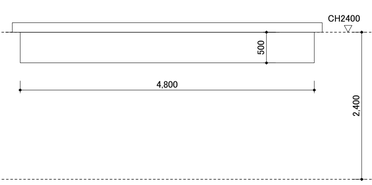
形式 W・H



	SF 01 コワーキングスペース－多目的ホール 1
型式	煙感知器連動型防煙ｽｸﾘｰﾝ（防炎性能認定品）ｽｸﾘｰﾝ巻取方式
仕上 見込	不燃布（ガラス繊維塩ビコーティング）
枠 見込 見付 材質 仕上	
金物	
ガラス	
備考	

符号	使用箇所	数量
SF 02	キッズサロン－本間	1

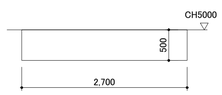
形式 W・H



	SF 02 キッズサロン－本間 1
型式	煙感知器連動型防煙スクリーン（防炎性能認定品）スクリーン巻き取り方式
仕上 見込	不燃布（ガラス繊維塩ビコーティング）
枠 見込 見付 材質 仕上	
金物	
ガラス	
備考	

符号	使用箇所	数量
SF 03	多目的ホール－北・南のリビング	2

形式 W・H



	SF 03 多目的ホール－北・南のリビング 2
型式	防煙スクリーン
仕上 見込	不燃布（ガラス繊維塩ビコーティング）
枠 見込 見付 材質 仕上	
金物	
ガラス	
備考	

記号凡例

建具符号

AW	アルミサッシ
AD	アルミドア
AG	アルミ製ガラリ（図示なき限り見込み70、開口率30%内外とする。）
AM	アルミ面格子
MP	アルミ門扉
SW	鋼製窓
SD	鋼製ドア（図示なき限り見込み40とする。）鋼製三方（ステンレス製を含む。）
LSD	軽量鋼製ドア（図示なき限り見込み40とする。）
SS	鋼製シャッター（ステンレス製を含む。）
SG	鋼製ガラリ（ステンレス製を含む。）
STW	ステンレス製窓
STD	ステンレス製ドア
STG	ステンレス製ガラリ
WW	木製窓
WD	木製ドア（図示なき限り見込み40とする。）
F	襖
S	障子
P	間仕切
SF	防煙垂れ壁

建具金物符号

PH	ピボットヒンジ
H	丁番（ステンレス製）
FH	フロアヒンジ
AH	オートヒンジ
DC	ドアチェック
AS	アームストッパー
PD	シリンダー本締り鍵（ドアホルダー付、床付、壁付の別は現場指示とする。特記なき限り、全ての開き戸引き戸に設ける。）
F	フランス落し
CM	シリンダーモノロック
C	空錠（握玉付）
GR	引違戸用鍵（特記なき限り3点締りとする。）
LI	表示付ラッチ鍵
LH	レバーハンドル（ステンレス製）.
CH	ケースハンドル（ステンレス製）.
EL	電気鍵
PP	押板（引手）（図示なき限りｽﾃﾝﾚｽ製とする。）
PB	把手（図示なき限りｽﾃﾝﾚｽ製又はアルミ合金製 L=600内外）

ガラス符号

SG	透明みがきガラス
FG	型板ガラス
LSPG	Low-E透明ペアーガラス
SPG	透明ペアーガラス
LFPG	Low-E型板ペアーガラス（外部型板、内部透明）
FPG	型板ペアーガラス（外部型板、内部透明）
SWG	網入みがきガラス
FWG	網入型板ガラス
LSWPG	Low-E網入みがきペアガラス
LFWPG	Low-E網入型板ペアガラス
TG	強化ガラス
HFG	熱線吸収ガラス
CFG	熱線反射ガラス
STG	強化ガラス（学校用タイプ）
FTG	フロストガラス

塗装符号

OP	油性ペイント
AP	アクリル系ペイント
VP	ビニール系ペイント
CL	クリアラッカー
SOP	合成樹脂調合ペイント
WP	自然木部用浸透型着色剤

材質符号

S	鋼
AL	アルミ
ST	ステンレス
BR	真ちゅう

特記

排煙オペレーターは隠ぺい式とする。

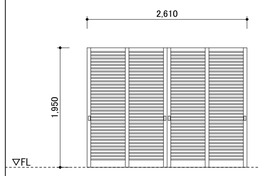
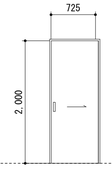
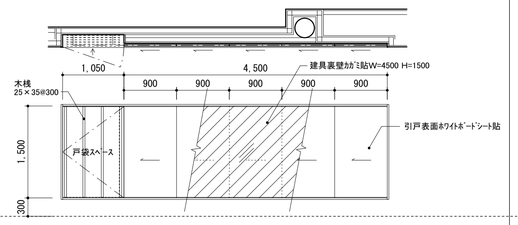
高所排煙窓の開閉角度は、90° その他特記なき排煙窓となる全ての外倒し窓の開閉角度は、60°

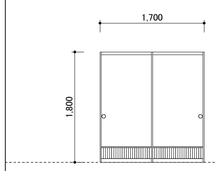
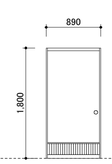
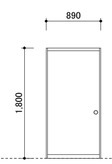
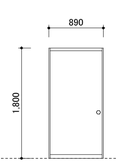
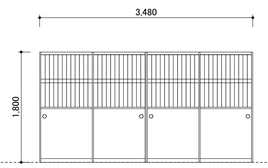
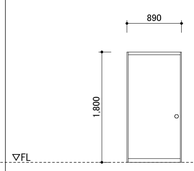
Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

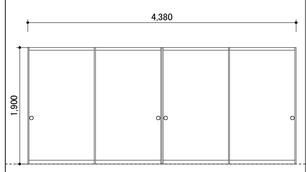
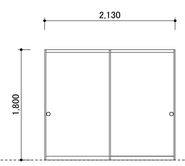
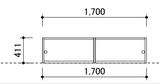
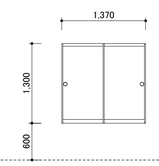
工事名称 （仮称）魚津市本江地域交流センター新築工事 建築主体工事

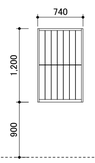
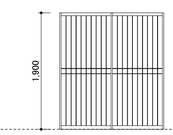
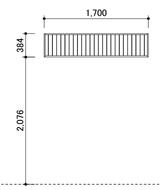
図面名称	建具表-4	管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高
Scale	(A1版)： 1：50 / (A3版)： 1：100	Date	2022.03

A－35

符号	使用箇所	数量												
			WD 01	踏込み-南のリビング	1	WD 02	事務室～湯沸室	1	WD 03	多目的ホール	1			
形式 W・H														
型式			4枚引き違い格子戸			木製片引きフラッシュ戸			木製片引きフラッシュ戸(5枚建)+片開フラッシュ戸					
仕上 見込			杉 OSCL 36			ポリ合板 36			シナ合板(表側ホワイトボードシート貼) 33 片開戸:シナ合板 木桟付 SOP塗					
枠 見込 見付 材質 仕上			120 45 杉 OSCL			120 25 スプルース SOP			120 25 スプルース SOP					
金物			引手 戸車 埋め込みアルミVレール 閂金			戸車 Vレール 取手			戸車 H マグネットキャッチ					
ガラス			SG3											
備考									引戸裏壁防錆鏡張 W=4500 H=1500					

符号	使用箇所	数量																
			F 01	踏込み-本間	1	F 01d	踏込み-控の間	1	F 02	踏込み-水屋	1	F 03	デイサロン-水屋	1	F 04	デイサロン-水屋	1	F 05	本間-水屋	1
形式 W・H																				
型式			引き違いフスマ戸 下部格子付(レターングリル)			引き違いフスマ戸 下部格子付(レターングリル)			片引きフスマ戸			片引きフスマ戸			4枚引き違いフスマ戸 障子付			片引きフスマ戸	
仕上 見込			杉 手垢止め 30			杉 手垢止め 30			杉 手垢止め 30			杉 手垢止め 30			スプルス手垢止め 30			杉 手垢止め 30	
枠 見込 見付 材質 仕上																			
金物																			
ガラス																			
備考			引手 鳥の子紙			引手 鳥の子紙			引手 鳥の子紙			引手 鳥の子紙			引手 鳥の子紙 障子紙(タフトップ)			引手 鳥の子紙	

符号	使用箇所	数量																
			F 06	本間-控の間	1	F 07	控の間押入	1	F 08	控えの間地袋	1	F 09	水屋道具入	1				
形式 W・H																		
型式			4枚引き違いフスマ戸			引き違いフスマ戸			引き違いフスマ戸 片引き障子戸			引き違いフスマ戸						
仕上 見込			杉 手垢止め 30			杉 手垢止め 30			杉 手垢止め 30			杉 手垢止め 30						
枠 見込 見付 材質 仕上																		
金物																		
ガラス																		
備考			引手 鳥の子紙			引手 鳥の子紙			引手 鳥の子紙			引手 鳥の子紙						

符号	使用箇所	数量																
			S 01	本間付書院	1	S 02	S 03	本間・控えの間	2	WW 01	本間・控えの間	2						
形式 W・H																		
型式			片引き障子戸			引き違い障子戸			オサランマ									
仕上 見込			杉 手垢止め 30			杉 手垢止め 30			杉 手垢止め 30									
枠 見込 見付 材質 仕上																		
金物																		
ガラス																		
備考			引手 障子紙(タフトップ)			引手 障子紙(タフトップ)												

記号凡例

建具符号

- AW アルミサッシ
- AD アルミドア
- AG アルミ製ガラリ（図示なき限り見込み70、開口率30%内外とする。）
- AM アルミ面格子
- MP アルミ門扉
- SW 鋼製窓
- SD 鋼製ドア（図示なき限り見込み40とする。）鋼製三方（ステンレス製を含む。）
- LSD 軽量鋼製ドア（図示なき限り見込み40とする。）
- SS 鋼製シャッター（ステンレス製を含む。）
- SG 鋼製ガラリ（ステンレス製を含む。）
- STW ステンレス製窓
- STD ステンレス製ドア
- STG ステンレス製ガラリ
- WW 木製窓
- WD 木製ドア（図示なき限り見込み40とする。）
- F 襖
- S 障子
- P 間仕切
- SF 防煙垂れ壁

建具金物符号

- PH ピボットヒンジ
- H 丁番（ステンレス製）
- FH フロアヒンジ
- AH オートヒンジ
- DC ドアチェック
- AS アームストッパー
- PD シリンダー本締り鍵（ドアホルダー付、床付、壁付の別は現場指示とする。特記なき限り、全ての開き戸引き戸に設ける。）
- F フランス落し
- CM シリンダーモノロック
- C 空錠（握玉付）
- GR 引違戸用鍵（特記なき限り3点締りとする。）
- LI 表示付ラッチ鍵
- LH レバーハンドル（ステンレス製）.
- CH ケースハンドル（ステンレス製）.
- EL 電気鍵
- PP 押板（引手）（図示なき限りｽﾃﾝﾚｽ製とする。）
- PB 把手（図示なき限りｽﾃﾝﾚｽ製又はアルミ合金製 L=600内外）

ガラス符号

- SG 透明みがきガラス
- FG 型板ガラス
- LSPG Low-E透明ペアーガラス
- SPG 透明ペアーガラス
- LFPG Low-E型板ペアーガラス（外部型板、内部透明）
- FPG 型板ペアーガラス（外部型板、内部透明）
- SWG 網入みがきガラス
- FWG 網入型板ガラス
- LSWPG Low-E網入みがきペアガラス
- LFWPG Low-E網入型板ペアガラス
- TG 強化ガラス
- HFG 熱線吸収ガラス
- CFG 熱線反射ガラス
- STG 強化ガラス（学校用タイプ）
- FTG フロストガラス

塗装符号

- OP 油性ペイント
- AP アクリル系ペイント
- VP ビニール系ペイント
- CL クリアラッカー
- SOP 合成樹脂調合ペイント
- WP 自然木部用浸透型着色剤

材質符号

- S 鋼
- AL アルミ
- ST ステンレス
- BR 真ちゅう

特記

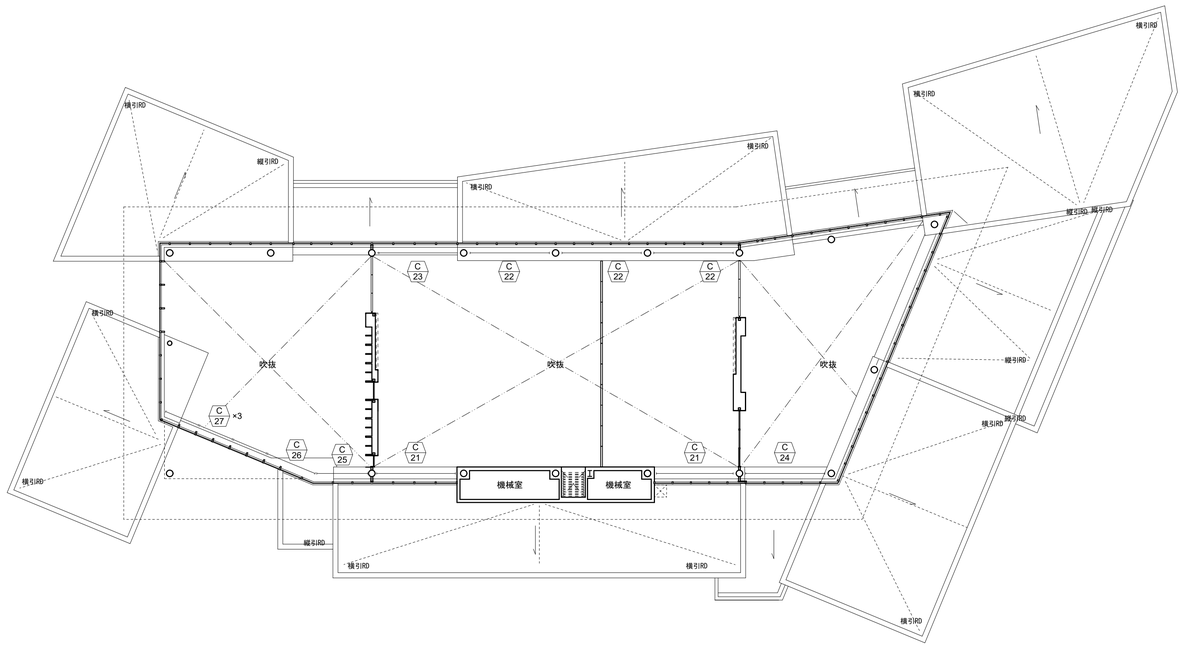
排煙オペレーターは隠ぺい式とする。

高所排煙窓の開閉角度は、90° その他特記なき排煙窓となる全ての外倒し窓の開閉角度は、60°

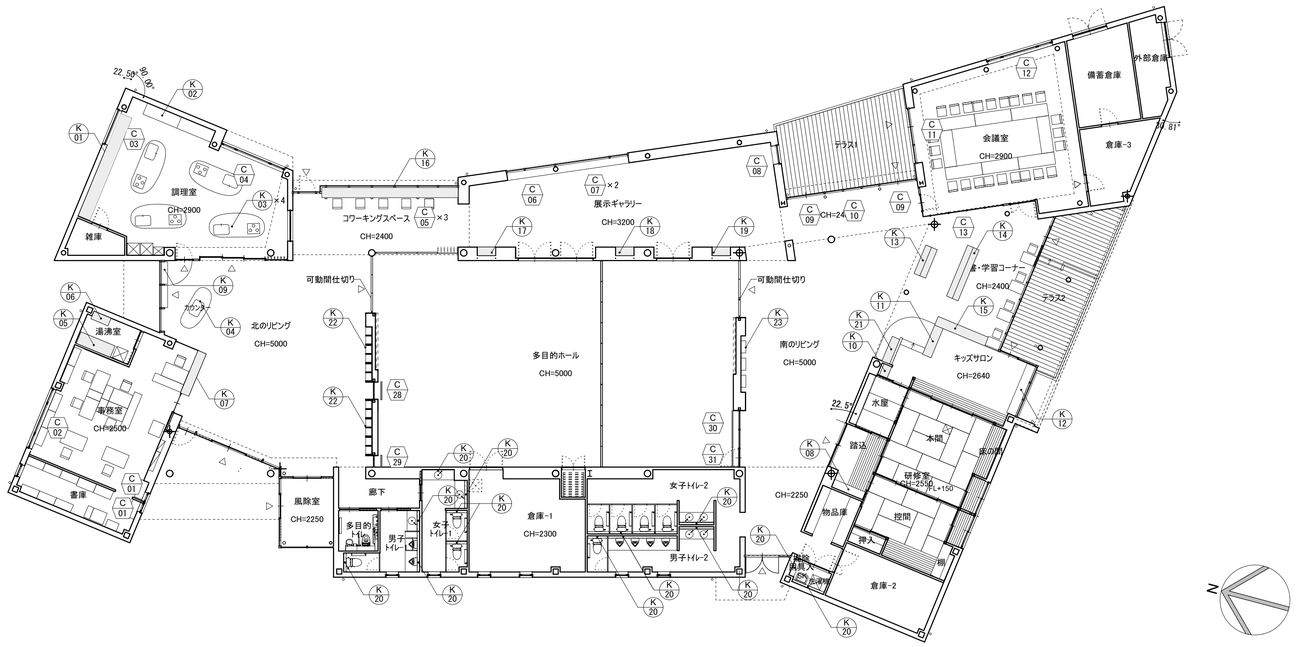
Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称 （仮称）魚津市本江地域交流センター新築工事 建築主体工事

図面名称	建具表-5	管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高	A-36
Scale	(A1版)： 1：50 (A3版)： 1：100	Date 2022.03		



2階サイン・家具・ブラインド配置図



1階サイン・家具・ブラインド配置図

Las Laboratory of Architectural Science	有限会社建築科学研究所	一級建築士事務所登録(7)871号 〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212 TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559				工事名称	（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事	図面名称	家具・ブラインド・サイン配置図	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高
								Scale	(A1版)： 1：150 (A3版)： 1：300	Date 2022.03	A－３７

ブラインドリスト

No.	取付場所	建具No.	名称	W	H	台数
C01	事務所	AW01	ヨコ型ブラインド	400	1,600	2
C02	事務所	AW02	ヨコ型ブラインド	2,700	1,500	1
C03	調理室	AW04	ヨコ型ブラインド	1,800	1,400	1
C04	調理室	AW05	ヨコ型ブラインド	1,650	1,860	2
C05	ｺﾜｰｷﾝｸﾞｽﾍﾟｰｽ	AW06	ロールスクリーン	2,300	1,700	3
C06	展示ギャラリー	AW07	ロールスクリーン	2,400	2,100	1
C07	展示ギャラリー	AW07	ロールスクリーン	1,800	2,100	2
C08	展示ギャラリー	AW08	ロールスクリーン	750	3,200	1
C09	南のリビング	AW09	ロールスクリーン	1,800	2,400	2
C10	南のリビング	AW09	ロールスクリーン	1,350	2,400	2
C11	会議室	AW10	ヨコ型ブラインド	900	2,400	1
C11	会議室	AW10	ヨコ型ブラインド	1,800	2,400	1
C12	会議室	AW11	ヨコ型ブラインド	800	1,700	2
C12	会議室	AW11	ヨコ型ブラインド	1,700	1,700	1
C13	会議室	SP02	ヨコ型ブラインド	2,100	2,400	2
C21	多目的ホール　2F	AW30	電動ヨコ型ブラインド高遮蔽型	2,150	2,000	2
C21	多目的ホール　2F	AW29	電動ヨコ型ブラインド高遮蔽型	2,150	2,000	2
C22	多目的ホール　2F	AW24	電動ヨコ型ブラインド高遮蔽型	2,250	1,400	6
C23	多目的ホール　2F	AW23	電動ヨコ型ブラインド高遮蔽型	2,150	2,000	2
C24	南のリビング　2F	AW28	電動ロールスクリーン	3,600	2,600	1
C25	北のリビング　2F	AW30	電動ロールスクリーン	2,300	2,000	1
C26	北のリビング　2F	ACW01	電動ロールスクリーン	2,300	1,900	1
C27	北のリビング　2F	ACW01	電動ロールスクリーン	1,800	2,000	3
C28	多目的ホール	SW	ロールスクリーン	900	5,000	1
C29	多目的ホール	SW	ロールスクリーン	600	5,000	1
C30	多目的ホール	SW	ロールスクリーン	1,800	5,000	1
C31	多目的ホール	SW	ロールスクリーン	900	3,000	1
C32	多目的ホール	-	ステージ幕カーテン（1.5倍巾）	6,000	5,000	2

電動ヨコ型ブラインド高遮蔽型：ローリーESS高遮蔽タコスⅡ（タチカワブラインド）

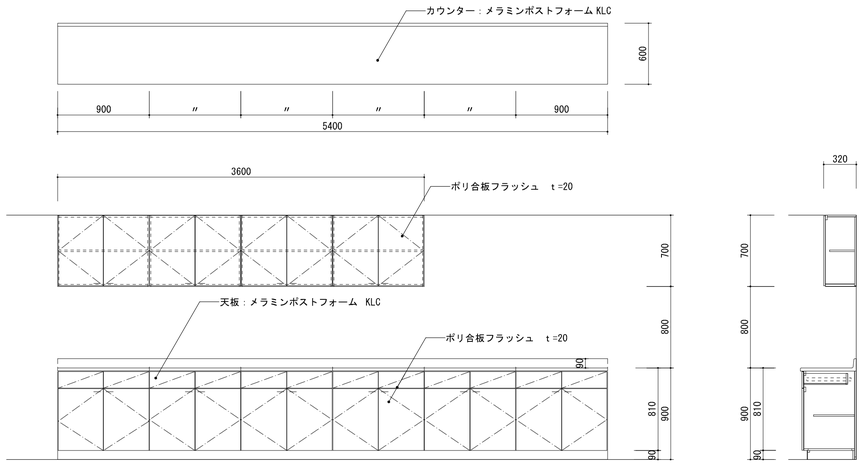
サインリスト

No.	取付場所	名称	数量	備考
1	館名サイン	ステンレス箱文字	1	
		10文字　厚み20mm		
2	受付名版	アクリル板　150×600	1	
		カッティングシート貼り		
3	通用口表示板	アクリル板　300×600	1	
		カッティングシート貼り		
4	子育てサロン　表示板	アクリル板　300×600	1	
		カッティングシート貼り		
5	室名板	既製品利用	12	
		60×150		
6	ピクトサイン	既製品利用	7	
		60×150		

家具リスト

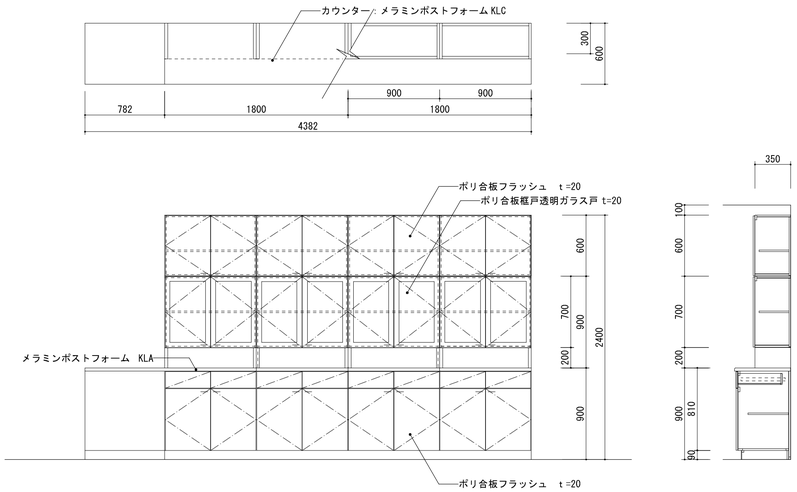
No.	取付場所	名称	W	D	H	台数	備考
K-01	調理室	電子レンジ調理台	5,400	600	900	1	
	調理室	吊戸棚	3,600	300	700	1	
K-02	調理室	食器棚	3,600	600(300)	2,400	1	
K-03	調理室	調理実習台（IHコンロ台）	2,400	1,100	850	2	教育教材メーカー既製品
	調理室	調理実習台（ガスコンロ台）	2,400	1,100	850	2	↑
K-04	北のリビング	カフェカウンター	2,200	900	900	1	
K-05	湯沸室	調理台・ガス台	1,800	550(350)	2,400	1	既製品
K-06	湯沸室	食器棚	900	550	1,800	1	↑
K-07	事務室	受付カウンター	2,250	600	t=30	1	
K-08	研修室	シューズボックス	1,500	400	900	1	
K-09	北のリビング	シューズボックス	800	400	1,200	2	
K-10	キッズサロン	手洗いカウンター	750	550	700	1	
K-11	キッズサロン	本棚	1,500	350	1,170	1	
K-12	キッズサロン	ベンチ	1,800	450	430	1	
K-13	図書・学習コーナー	独立型両面低書架	1,800	400	1,150	2	
K-14	図書・学習コーナー	独立型両面高書架	2,700	600	180	2	
K-15	図書・学習コーナー	書架（カウンター付本棚）	3,355	500(450)	900(700)	1	
K-16	ｺﾜｰｷﾝｸﾞｽﾍﾟｰｽ	パソコンカウンター	6,620	500	t=30	1	
K-17	多目的ホール	ニッチ飾り棚カウンター	900	400	t=30	1	
K-18	多目的ホール	ニッチ飾り棚カウンター	900	400	t=30	1	
K-19	多目的ホール	ニッチ飾り棚カウンター	900	400	t=30	2	
K-20	女子トイレ-1	ライニング天板	家具図参照				
↑	男子トイレ-1	↑	↑				
↑	↑	↑	↑				
↑	↑	↑	↑				
↑	女子トイレ-2	↑	↑				
↑	↑	↑	↑				
↑	男子トイレ-2	↑	↑				
↑	↑	↑	↑				
↑	↑	↑	↑				
↑	掃除用具入れ	↑	↑				
K-21	キッズサロン	シューズボックス	1,300	400	900	1	
K-22	北のリビング	飾棚・本棚	2,700	300	3,000	2	
K-23	南のリビング	可動飾棚（棚柱）	1,200	300	t=30	1	ロイヤル棚柱　L=1800　7本　棚受含

K-01 電子レンジ調理台・吊戸棚 1



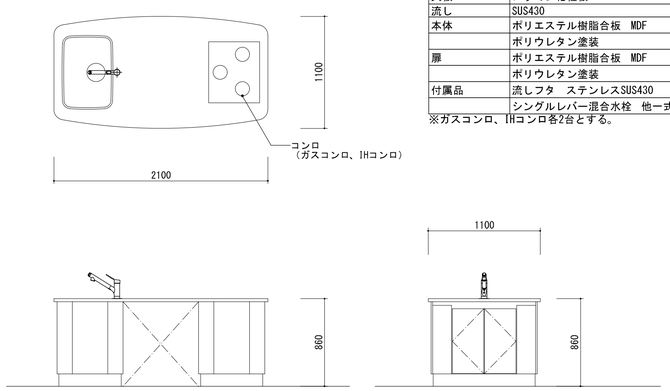
仕様	
調理台	
天板	メラミンポストフォーム　KLC
扉・引出し	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
	アルミ取手　L=150
中棚板	ポリ合板フラッシュ
金物	スライド丁番（自閉式）
	スライドレール（ソフトクロージング）
	SUSダボ@75
吊戸棚	
扉・側板	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
可動棚	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
金物	スライド丁番（自閉式）
	SUSダボ@75　耐震ラッチ
	アルミ取手　L=150

K-02 食器棚 1



仕様	
食器棚	
扉・引出し	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
可動棚	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
地袋天板	メラミンポストフォーム　KLA
中戸棚	
扉	ポリ框組透明ガラス t5　小口メラミン貼り
可動棚	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
金物	スライド丁番（自閉式）
	SUSダボ@75　耐震ラッチ
	アルミ取手　L=150

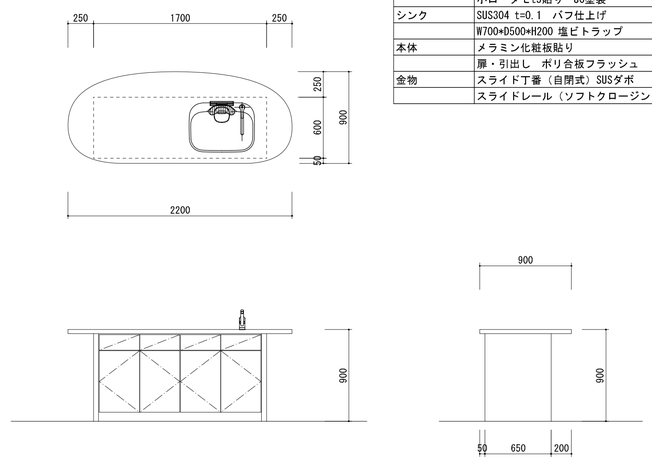
K-03 調理実習台（参考品番：ウチダ　MA-250） 4



仕様	
教育機材メーカー既製品	
参考品番	ガスコンロ：MA-251LIN-T 6-703-681
(ｳﾁﾀﾞ洋行)	IHコンロ　：MA-251LIN-T 6-703-683
天板	メラミン化粧板
流し	SUS430
本体	ポリエステル樹脂合板　MDF
	ポリウレタン塗装
扉	ポリエステル樹脂合板　MDF
	ポリウレタン塗装
付属品	流しフタ　ステンレスSUS430
	シングルレバー混合水栓　他一式

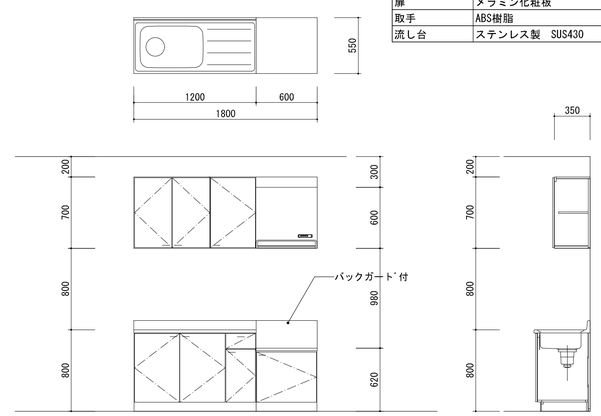
※ガスコンロ、IHコンロ各2台とする。

K-04 カフェカウンター 1



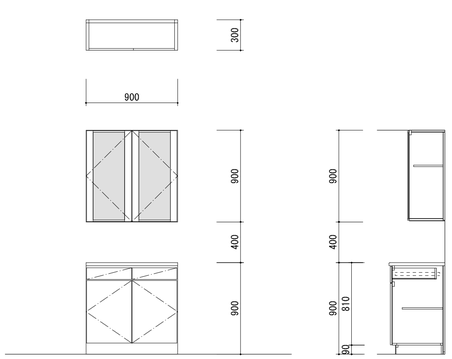
仕様	
天板	メラミン化粧合板　集成合板芯
	小口　タモt5貼り　UC塗装
シンク	SUS304 t=0.1　バフ仕上げ
	W700*D500*H200 塩ビトラップ
本体	メラミン化粧板貼り
	扉・引出し　ポリ合板フラッシュ
金物	スライド丁番（自閉式）SUSダボ
	スライドレール（ソフトクロージング）

K-05 調理台



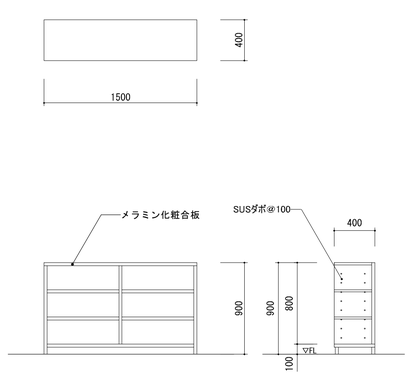
仕様	
クリナップ　クリンプレティ同等品	
調理台	ステンレス製　SUS430
扉	メラミン化粧板
取手	ABS樹脂
流し台	ステンレス製　SUS430

K-06 食器棚 1



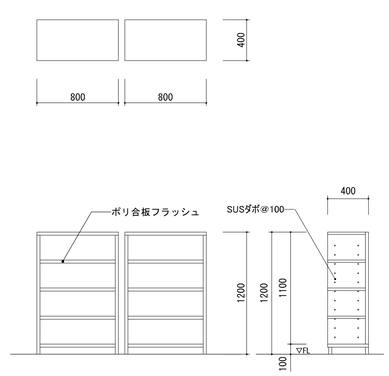
仕様	
収納ユニット	LIXIL/壁付型カウンタープラン
	ウォールキャビネット：シースルータイプ扉
	フロアキャビネット：1段引き出し

K-08 シューズ棚 1



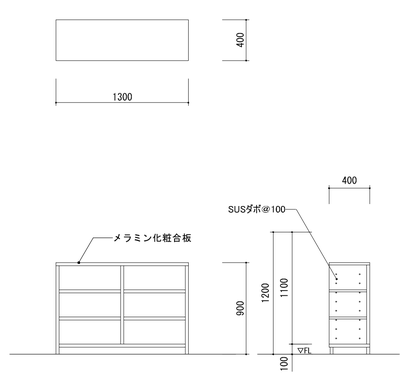
仕様	
天板	メラミン化粧合板　小口共
側板	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
中仕切り	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
棚板	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り

K-09 シューズ棚 1



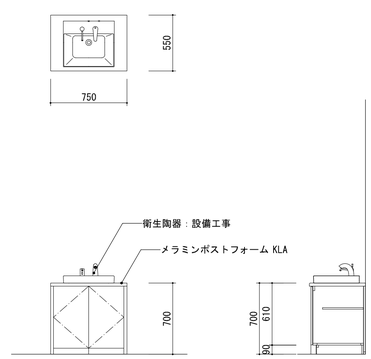
仕様	
天板	メラミン化粧合板　小口共
側板	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
中仕切り	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
棚板	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り

K-21 シューズ棚 1



仕様	
天板	メラミン化粧合板　小口共
側板	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
中仕切り	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
棚板	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り

K-10 手洗いカウンター 1



仕様	
天板	ポストフォームKLA
扉	メラミン化粧板
側板	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
可動棚	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
手洗いボウル	参考品番　LS722CM（500*450*120）

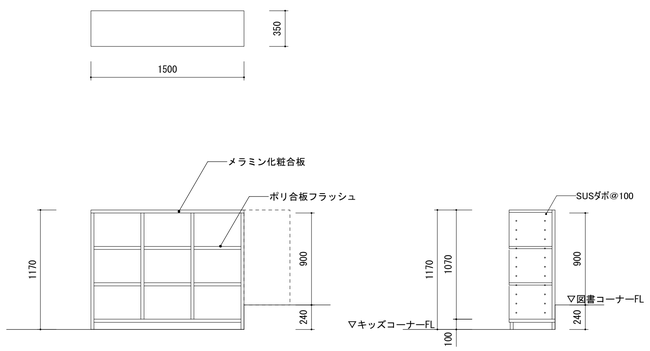
Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称　（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事

図面名称	家具図-1	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高
Scale	(A1版)：1/30　(A3版)：1/60	Date 2022.03	A-39

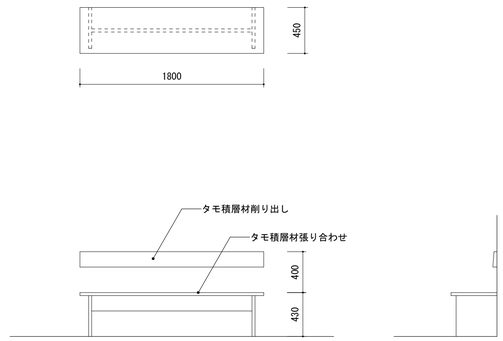
K-11 本棚 1

仕様	
天板	メラミン化粧合板
側板・可動棚	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り
金物	SUSダボ



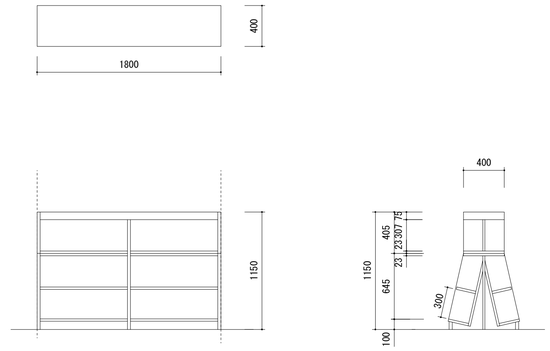
K-12 木製ベンチ 1

仕様	
座板	タモ積層材 t40
脚パネル	タモ積層材 t40 UC塗装
補強幕板	タモ積層材 t40 UC塗装
背板	タモ積層材 t40 UC塗装



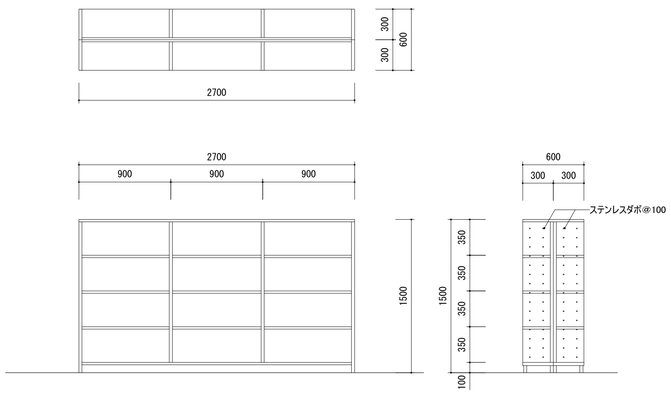
K-13 独立型両面低書架 2

仕様	
本棚	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り



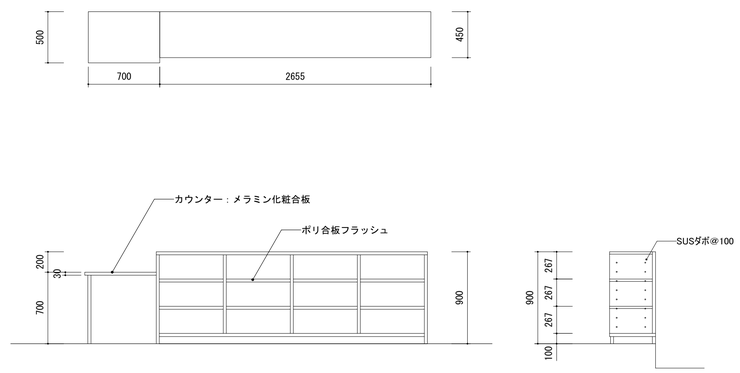
K-14 独立型両面高書架 2

仕様	
本棚	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り



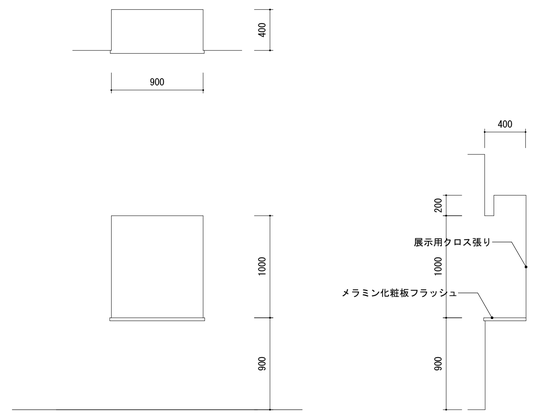
K-15 書架（カウンター付本棚） 1

仕様	
カウンター付き本棚	
カウンター	メラミン化粧合板 集成合板芯 t30
本棚	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り



K-17 L-18 K-19 ニッチ飾棚カウンター 3

仕様	
棚板	メラミン化粧板フラッシュ
	小口 タモt30貼り UC塗装

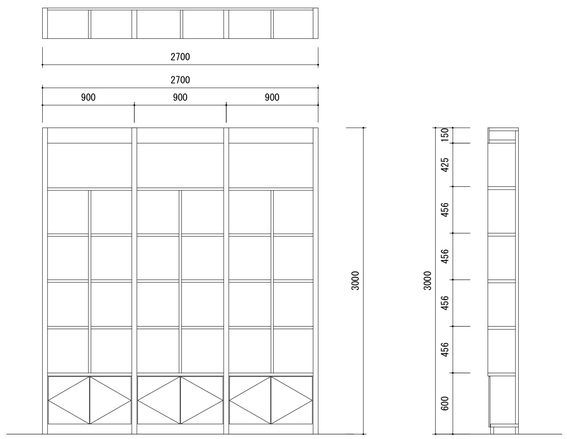


K-20 ライニング面台 1

室名		長さ(mm)	奥行	厚み	数量	備考
男子トイレ-1	洗面カウンター	1,000	120	20	1	
	小便器	1,970	120	20	1	
	トイレブース	930	120	20	1	
女子トイレ-1	洗面カウンターA	1,580	120	20	1	
	洗面カウンターB	1,000	120	20	1	
	トイレブース	1,020	120	20	2	
男女トイレ2	洗面カウンター	1,710	120	20	2	
男子トイレ-2	小便器	3,383	120	20	1	
	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	987.5	120	20	1	
女子トイレ-2	トイレブース	1,073	120	20	4	
掃除用具入れ		167	120	20	1	
		830	120	20	1	

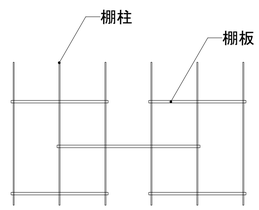
K-22 飾棚・本棚 2

仕様	
天板	メラミン化粧合板 集成合板芯
側板	ポリ合板フラッシュ/小口メラミン貼り



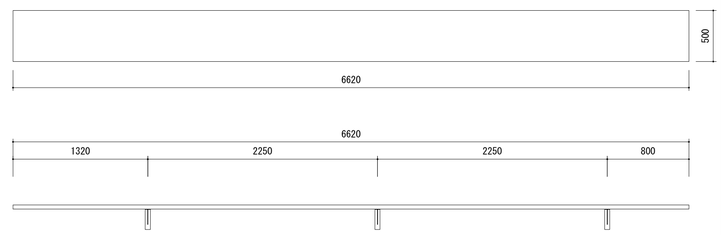
K-23 可動飾棚 1

仕様	
天板	メラミン化粧合板
ロイヤル棚柱 L＝1800 7本 棚受	



K-16 パソコンカウンター 1

仕様	
天板	タモ集成板 t=30 ウレタン塗装

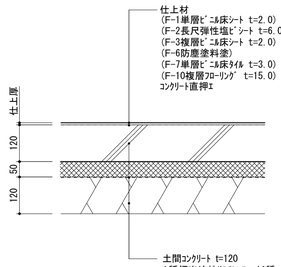


Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

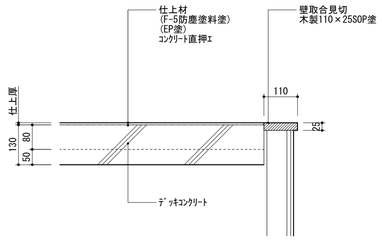
工事名称 （仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業 建築主体工事

図面名称	家具図-2	管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高	A-40
Scale	(A1版)：1/30 (A3版)：1/60	Date 2022.03		

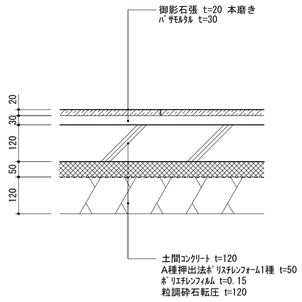
F-1 F-3 F-9 F-2 F-5 F-10	1階床薄物仕上	A1：1/10 A3：1/20



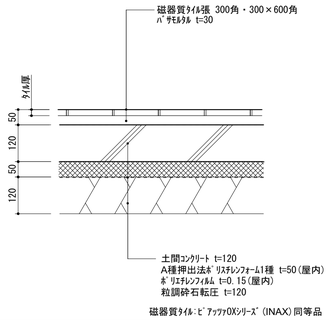
fs-1	2階床仕上	A1：1/10 A3：1/20



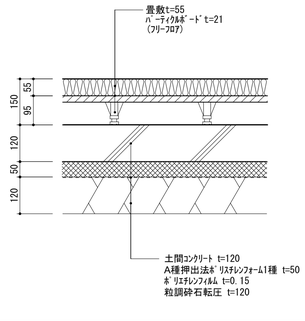
汚垂石	床御影石張	A1：1/10 A3：1/20



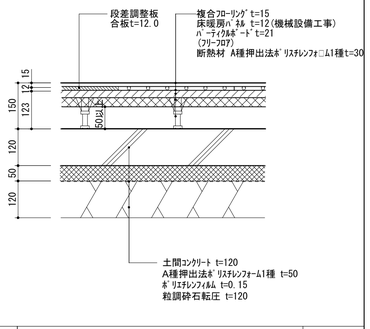
F-1 Q R S	磁器質ﾀｲﾙ張	A1：1/10 A3：1/20



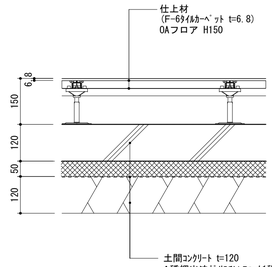
F-7	畳敷	A1：1/10 A3：1/20



F-10	複合フローリング張(ｷｯｽﾞｺｰﾅｰ床暖房)	A1：1/10 A3：1/20

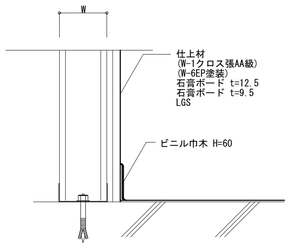


F-6	OAフロア	A1：1/10 A3：1/20

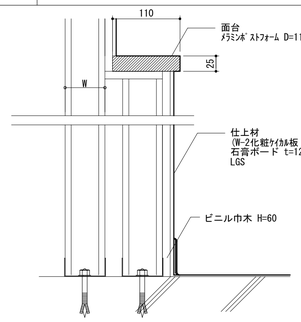


OAフロア:IBフロア AZ3000-DP(ナカ工業)同等品

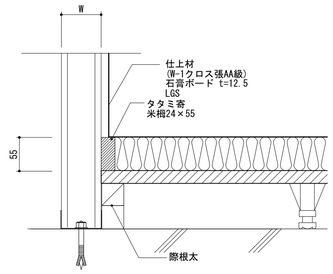
B-1	ビニル巾木 (LGS下地)	A1：1/5 A3：1/10
下地	石膏ボード (二重張)	



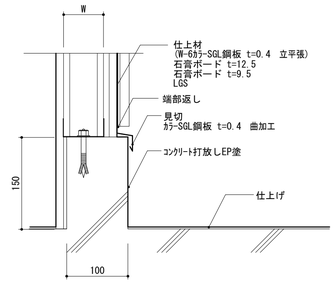
B-1	ビニル巾木 (LGS下地)	A1：1/5 A3：1/10
W-2	化粧ｹｲｶﾙ板	
M	面台	



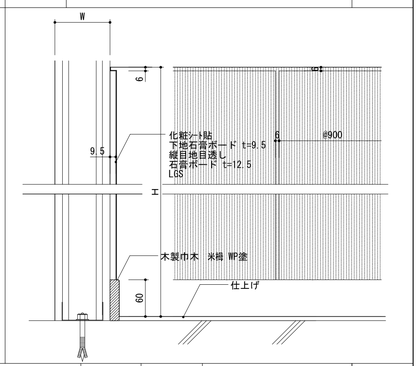
B-3	タタミ寄	A1：1/5 A3：1/10
下地	石膏ボード	



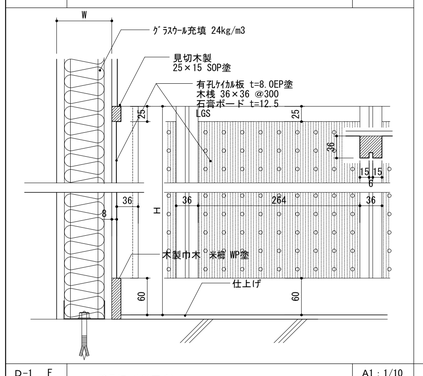
B-4	コンクリート打放しEP塗	A1：1/5 A3：1/10
W-5	ｶﾗｰSGL鋼板立平張	



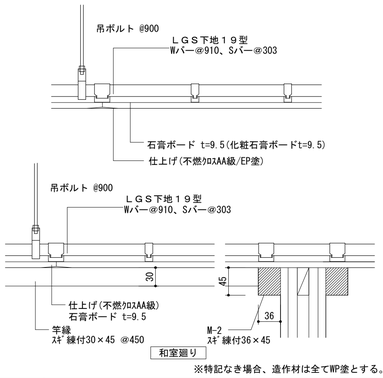
B-5	木製巾木	A1：1/5 A3：1/10
W-6	化粧ｼｰﾄ貼	



B-5	木製巾木	A1：1/5 A3：1/10
W-6	化粧ｼｰﾄ貼	

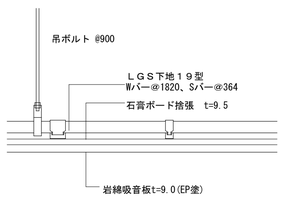


C-2 C-5 C-3 M-2	石膏ボード下地+不燃ｸﾛｽ貼 石膏ボード下地+AEP塗 化粧石膏ボード張	A1：1/5 A3：1/10

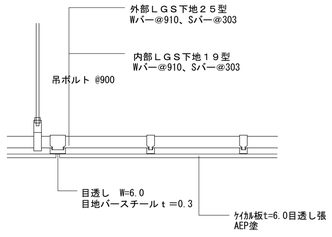


※特記なき場合、造作材は全てWP塗とする。

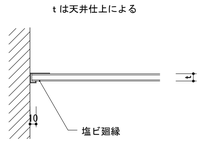
C-1	岩綿吸音板張	A1：1/5 A3：1/10



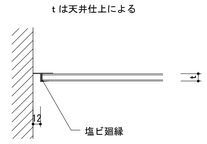
j	ケイ酸カルシウム板 目透し張り	A1：1/5 A3：1/10



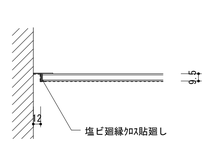
M-1	塩ビ廻縁（突付）内部	A1：1/5 A3：1/10



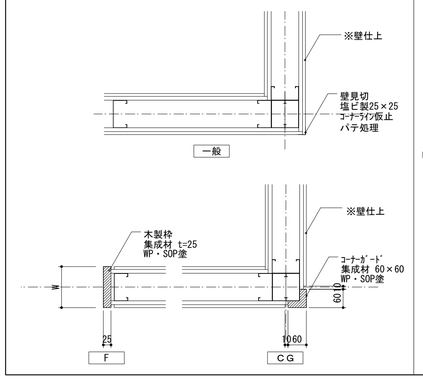
M-1a	塩ビ廻縁（目透）外部	A1：1/5 A3：1/10



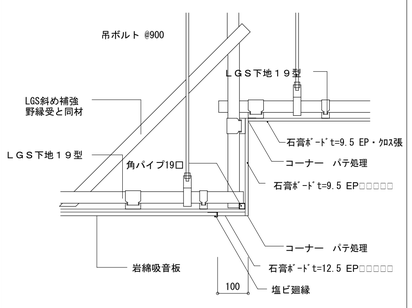
M-1b	塩ビ廻縁ｸﾛｽ貼廻し	A1：1/5 A3：1/10



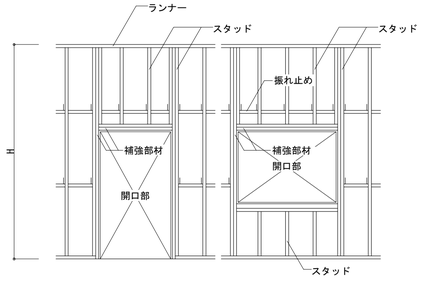
D-1 F CG	壁見切 (LGS下地)	A1：1/10 A3：1/20

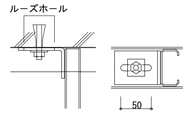


D-2	天井段差部	A1：1/10 A3：1/20



M-1	軽量鉄骨壁下地 開口補強要領	1/30



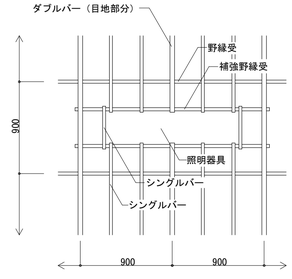


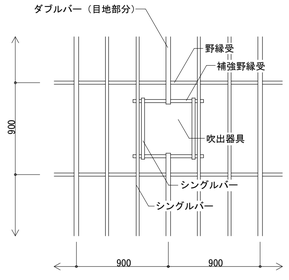
仕様　　上部スウェー構法

部材表	
H (m)	補強部材
H≦4.0	⊏ -60×30×10×2.3
4.0≦H≦4.5	⊏ -75×45×15×2.3
4.5≦H≦5.0	⊐ -75×45×15×2.3

補強部材取付金物	
補強部材	取付金物
⊏ -60×30×10×2.3	L-30×30×3
⊏ -75×45×15×2.3	L-50×50×4
⊏ -100×50×20×2.3	

M-2	軽量鉄骨天井下地 開口補強要領	1/30





※開口位置は天井伏による

LAS Laboratory of Architectural Science
有限会社建築科学研究所
一級建築士事務所登録(7)871号
〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212
TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559

工事名称 （仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業 建築主体工事

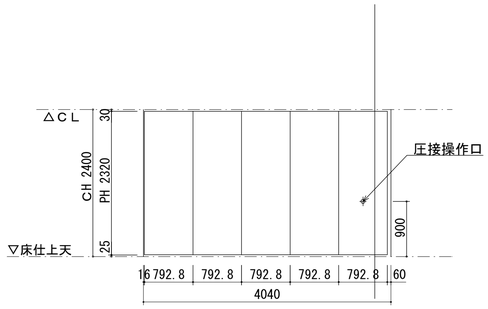
図面名称	部分詳細図	管理建築士	一級建築士 登録第182130号 原 英高	A-41
Scale	(A1版)：1/10 (A3版)：1/20	Date 2022.03		

移動間仕切　厚み65mm(遮音タイプ)　03 DP

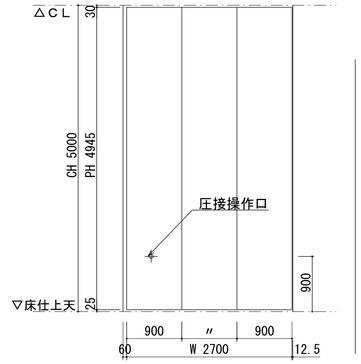
レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
ランナー仕様	走行輪	X-2型
	吊ボルト	M 16
パネル仕様	表面仕上	SGCC t=0.6
	表面材	せっこうボード9.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	鉄骨造
	フレーム	アルミ押出形材（アルマイト処理）
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式

移動間仕切　厚み80mm(遮音タイプ)　01 DP　04 DP

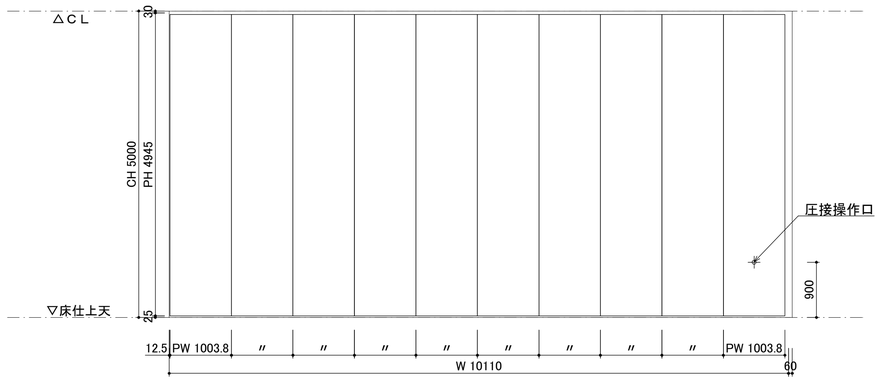
レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
ランナー仕様	走行輪	X-3型
	吊ボルト	M 16
パネル仕様	表面仕上	SGCC t=0.6
	表面材	せっこうボード12.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	鉄骨造
	フレーム	アルミ押出形材（アルマイト処理）
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式



DP-03

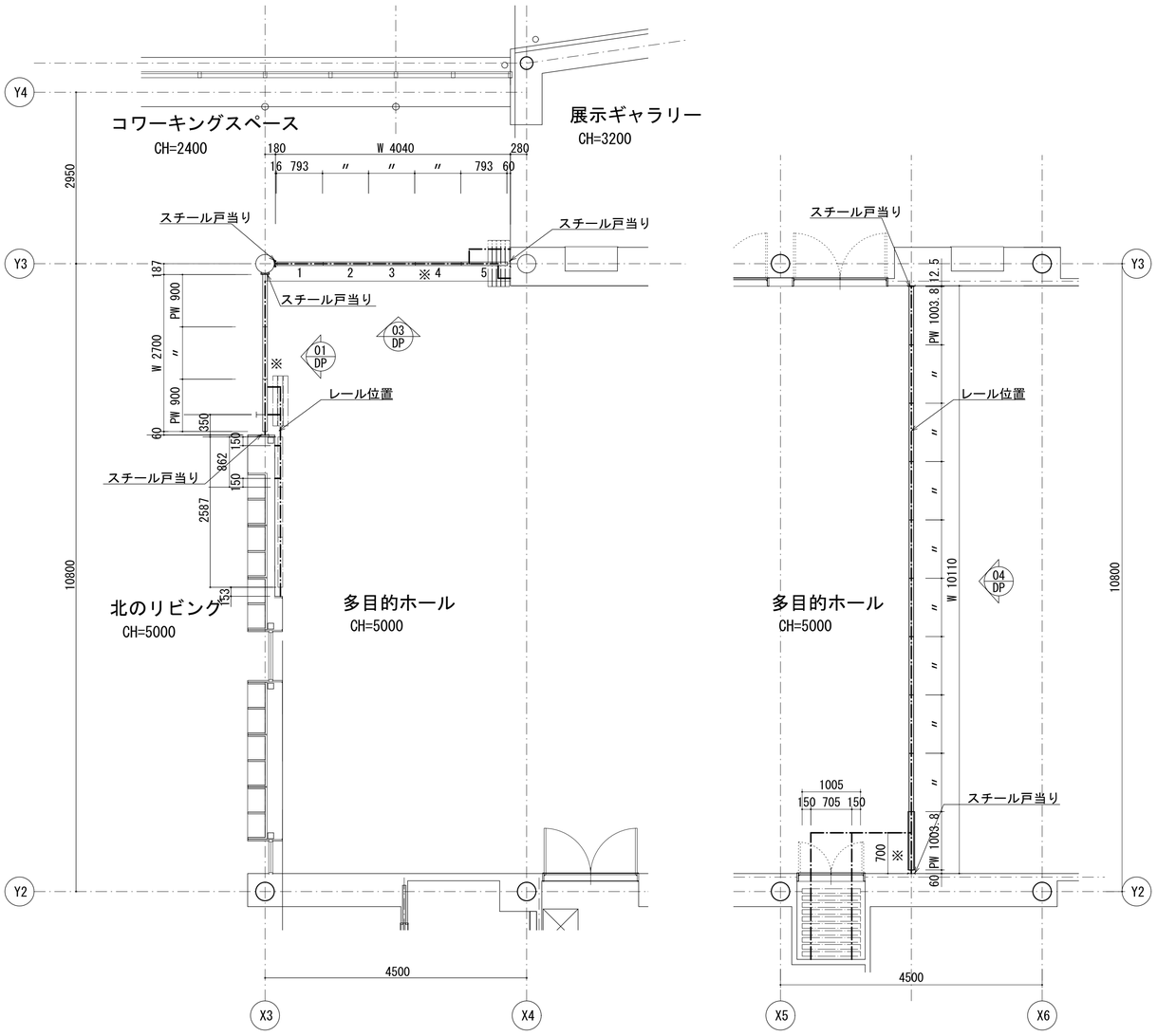


DP-04

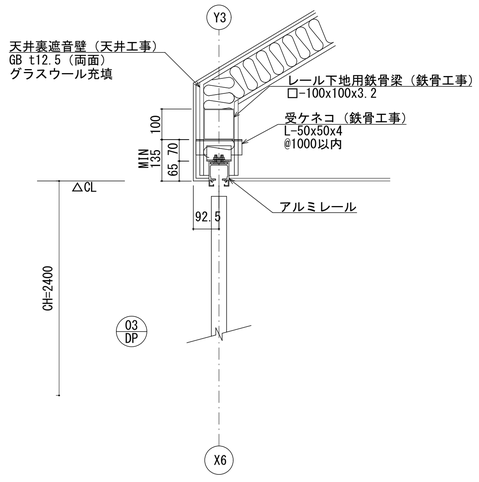


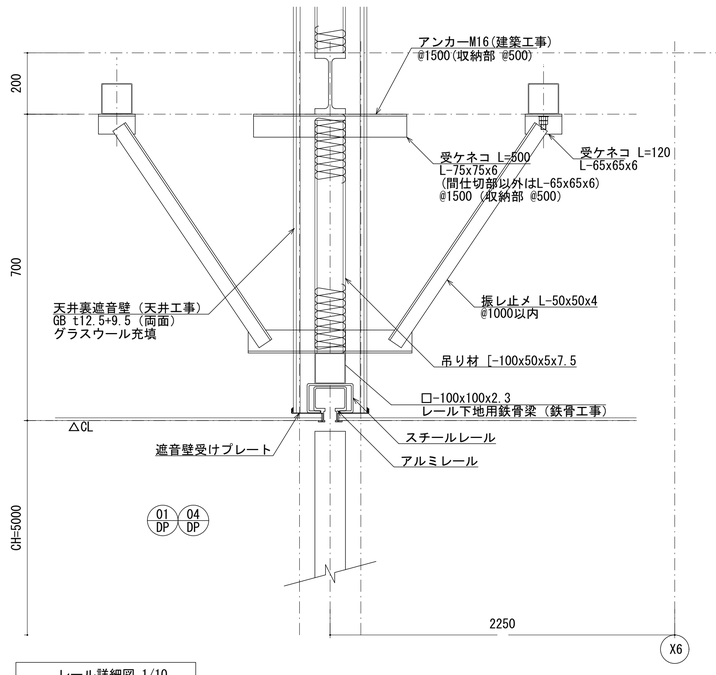
DP-01

パネル姿図 1/50



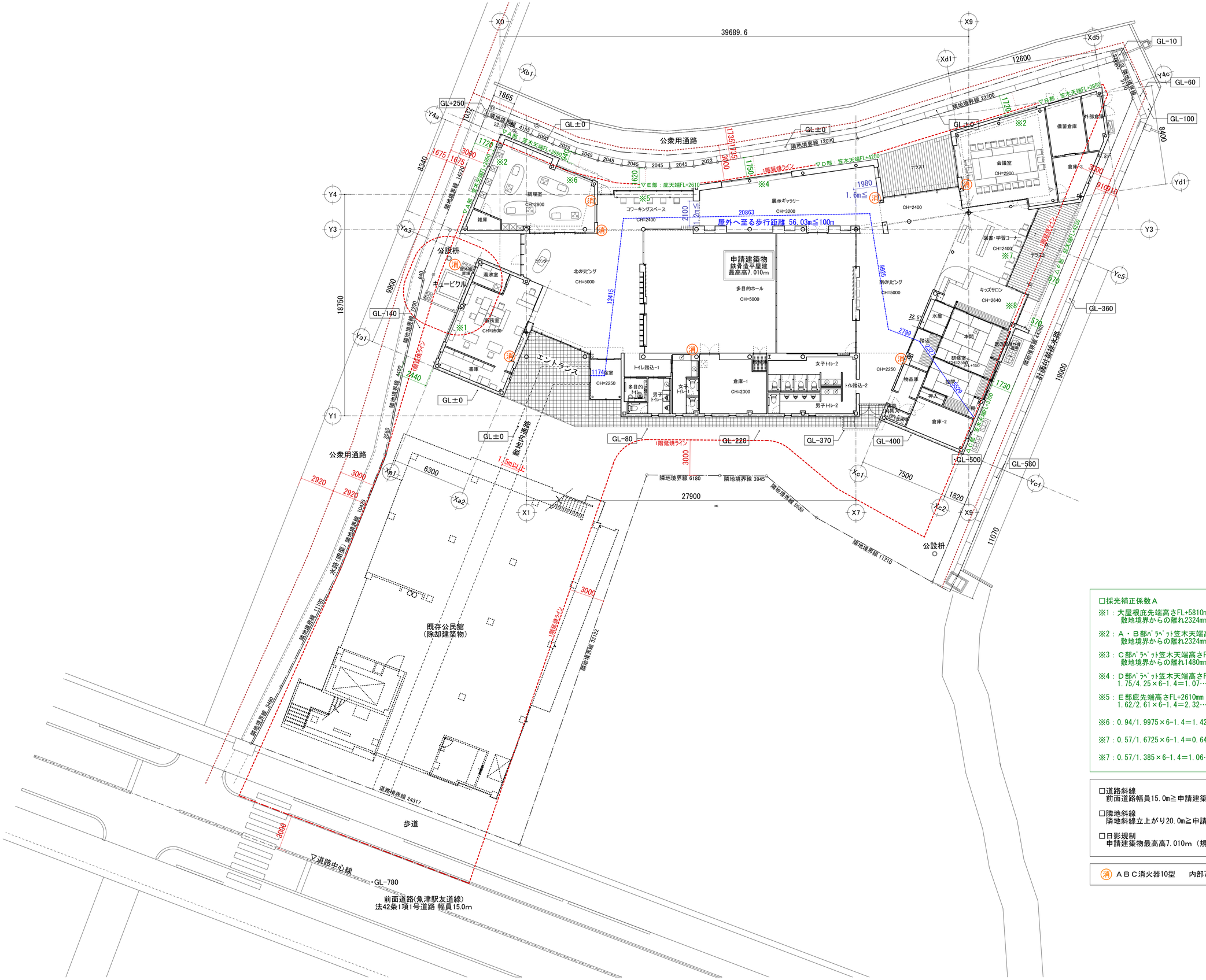
1階平面図 1/50
※印　操作口化粧プレート取付側





レール詳細図 1/10
※支持材の詳細は構造図による

有限会社建築科学研究所	一級建築士事務所登録(7)871号 〒937-0046　富山県魚津市上村本2-212 TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559	工事名称	（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事	図面名称	移動間仕切詳細図	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高
				Scale	(A1版)：1/50 (A3版)：1/100	Date 2022.03	A－42



□採光補正係数Ａ

※1：大屋根庇先端高さFL+5810mm　X/5.81×6-1.4=1…X=2.324
　敷地境界からの離れ2324mm以上　∴A=1以上満たしている

※2：Ａ・Ｂ部ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ笠木天端高さFL+3950mm　X/3.95×6-1.4=1…X=1.580
　敷地境界からの離れ2324mm以上　∴A=1以上満たしている

※3：Ｃ部ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ笠木天端高さFL+3700mm　X/3.70×6-1.4=1…X=1.480
　敷地境界からの離れ1480mm以上　∴A=1以上満たしている

※4：Ｄ部ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ笠木天端高さFL+4250mm
　1.75/4.25×6-1.4=1.07…　∴A=1以上満たしている

※5：Ｅ部庇先端高さFL+2610mm
　1.62/2.61×6-1.4=2.32…　∴A=1以上満たしている

※6：0.94/1.9975×6-1.4=1.42…　∴A=1以上満たしている

※7：0.57/1.6725×6-1.4=0.64…　∴A=0.64

※7：0.57/1.385×6-1.4=1.06…　∴A=1以上満たしている

□道路斜線
　前面道路幅員15.0m≧申請建築物最高高7.010m+0.750=7.760m∴かからない

□隣地斜線
　隣地斜線立上がり20.0m≧申請建築物最高高7.010m∴かからない

□日影規制
　申請建築物最高高7.010m（規制対象建築物10.0m<）∴かからない

消 ＡＢＣ消火器10型　内部7カ所　外部1ヶ所

N

LAS Laboratory of Architectural Science 有限会社建築科学研究所	一級建築士事務所登録(7)871号 〒937-0046 富山県魚津市上村木2-212 TEL 0765-22-8558 / FAX 0765-22-8559		工事名称	（仮称）魚津市本江地域交流センター建設事業　建築主体工事	図面名称	法規チェック図	管理建築士	一級建築士　登録第182130号　原　英高
					Scale	(A1版)：1/150 (A3版)：1/300	Date 2022.03	A－43